SPRINTER

CARIB

取扱書

よくお読みになってご使用ください。

取扱書は車の中に保管しましょう。

―よりよい商品をお届けするために―

お車についてのアンケートにご協力をお願いいたします。

Ⓟ－4

はじめに

このたびはスプリンターカリブをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書はスプリンターカリブを安全・快適にお使いいただくため、ドライバーの動作にそって各部の取り扱いを説明してあります。
また、お車の手入れ、万一のときの応急処置、快適ドライブ情報などについても記載してありますので、ご使用前に必ずお読みください。

- 「必読！これだけは知っておきましょう。」および ◆注 意、△処 置 はとくに重要な事項です。必ず読んで順守してください。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車が損傷するなどのおそれがあります。
- 本書のなかで使用されている記号は以下のようになっています。

◆注 意	注意していただきたいこと	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車が損傷するなどのおそれがあります。
△処 置	故障のときの処置方法	処置の内容にしたがわないと、車の損傷がひどくなったり、場合によっては事故につながったり、ケガをするおそれがあります。
アドバイス	知っておいていただきたいこと	いろいろな装備を使ううえで知っておいていただきたいことを記載しています。
★	グレード等により装備が異なる項目。装着されていない車もあります。	

- 点検・整備については「メンテナンスノート」に記載してありますのであわせてお読みください。
- トヨタ販売店で取りつけられた装備の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

- 車をゆずられるときは次のオーナーのために本書を車につけておいてください。
- 不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

郵便はがき

料金受取人払

名古屋東局
承認
3213

差出有効期間
平成9年6月
30日まで

切手を貼らずに
お出し下さい。

4 6 1 - 0 0

名古屋東郵便局
私書箱一一九号
トヨタ自動車株式会社
「お客様アンケート係」行

キリトリ線

問1	車名・ボデータイプ・グレード (例：クラウン・セダン・ロイヤルサルーン)		前使用車
	・ ・		車名 ボデータイプ グレード
	トランスミッション	1.オートマチック 2.マニュアル	排気量 . ℓ

問2	納車日	販売店名	支店・営業所名
	年 月 日		

問3		
	自動車登録番号 (ナンバープレートの番号)	
	車台番号	－

フリガナ			
ご住所	〒□□□-□□ TEL ( )		
フリガナ			
お名前		歳	1.男性 2.女性

キリトリ線

ご記入に際して

❶ご意見はご購入後**1ヶ月程度のご使用体験**をもとに、お願いいたします。

❷お買上げいただきましたお車（以下の質問では「この車」と呼ばせていただきます）を主に運転なさる方に、お願いいたします。

❸ご記入いただきましたら、ハガキ部分をキリトリ線から切り離して、ご投函下さい。

ご質問

●この車について

問1・この車の車名、ボデータイプ、グレード、トランスミッション。
また、この車のご購入前に使われていたお車がございましたらその車名、ボデータイプ、グレード、排気量（ℓ）もご記入下さい。

問2・この車が納車された日付、ご購入販売店名、支店または営業所名

問3・この車の**自動車登録番号**（**ナンバープレートの番号**）、**車台番号**
（お手元の**車検証**にてご確認の上ご記入下さい）
〔自動車登録番号の例〕 品川 33 と 1234
〔車台番号の例〕 JZS133-0123456
（JZS133：アルファベットと数値の組合せ／0123456：7桁の数値）

★裏面もお願いいたします

—よりよい商品をお届けするために— **お車についてのアンケートにご協力をお願いいたします。**

●**この車をご使用されての印象について**

問4・全般的にみて十分ご満足いただけましたでしょうか。

問4－1・この車で**ご満足**いただいた点と、もし**ご不満**な点があれば次の中から**番号**でお知らせ下さい。（いくつでも）

01. スタイル・外観	08. 乗りごこち	16. 計器類の見やすさ
02. 室内の静かさ	09. 走行安定性	17. ヒーター・エアコン
03. 室内の広さ、ゆとり	10. エンジン	18. オーディオ
04. トランク・荷室の広さ、使いやすさ	11. 燃費	19. シート
05. ボデー・塗装・外装の仕上げ、見栄え	12. トランスミッション	20. 各種装備品（除ヒーター・エアコン、オーディオ）
06. 室内の仕上げ、見栄え	13. ブレーキ	21. その他
07. 視界	14. ハンドルの操作性	
	15. ドア・ドアガラスの開閉のしやすさ	

問4－2・上記について、**ご意見**があれば**具体的**にお知らせ下さい。

●**この車の納車以降の故障・不具合について**

問5・納車されてから今日まで故障・不具合はありましたか。

問5－1・あった方に──その故障・不具合は次のどの項目に該当しますか。**番号**でお知らせ下さい。また、その**内容を具体的に**お知らせ下さい。

メカニカル	01. エンジン	02. トランスミッション	03. ブレーキ
	04. ハンドル	05. サスペンション（足まわり、タイヤ）	
室　内	06. シート	07. シートベルト	08. ドア関係
	09. インテリア関係	10. スイッチ類	11. 計器類
	12. オーディオ	13. ヒーター・エアコン	
室　外	14. ボデー	15. 塗装	16. バンパー
	17. ワイパー	18. ランプ	19. ミラー
	20. 装飾品（モール・グリル・マークなど）		
その他	21. 室内での異音	22. 振動、騒音	23. 雨もれ
	24. その他		

問5－2・あった方に──その故障・不具合について、**販売店での修理結果を項目別に**次の**番号**でお知らせ下さい。 1.直った 2.直らない 3.未修理

キ　リ　ト　リ　線

問4

1.非常に満足　2.ほぼ満足　3.どちらとも言えない　4.やや不満　5.非常に不満

問4－1　選んだ番号をご記入下さい。

・ご満足いただいた点 ──

・ご不満な点 ──

問4－2

問5　1.あった　2.なかった

問5－1

問5－2

項目番号	内　容（項目番号別にご記入下さい）	修理番号

キ　リ　ト　リ　線

シートベルトを締めましょう

ご協力ありがとうございました

目次

1 必読！これだけは知っておきましょう
7ページ

2 操作装置
25ページ

3 手入れ
99ページ

4 なるほどいいね！快適ドライブ
109ページ

5 万一のとき、あわてないために
119ページ

サービスデータ・さくいん
135ページ

目次

イラスト目次 …………………… 4
ああしたい、
こうしたいときの目次 … 6

1 必読！これだけは
知っておきましょう

お出かけまえのチェック …… 8
お子さまを乗せるときの
気くばり …………… 10
安全・快適ドライブ
のために ……… 12
走行中、異常に気づいたら … 14
駐停車するときは ………… 15
オートマチック車の
正しい運転のしかた …… 16
こんな点にも注意を ………… 22

2 操作装置

各部の開閉 ………………… 26
キー 26
ドア 26
電気式ドアロック 28
バックドア 29
ワイヤレスドアロック 30
パワーウインドゥ 31
ムーンルーフ 33
フューエルリッド 34
ボンネット 34
各部の調整 ………………… 36
フロントシート 36
リヤシート 38
ハンドル 38
インナーミラー（防眩ミラー） 39
電動リモコンミラー 40
シートベルトの着用 ………… 42
3点式シートベルト 43
2点式シートベルト 44
メーター、表示灯、警告灯の見方… 45
メーター 46
表示灯 47
警告灯 48
視界の確保 ………………… 52
ライトスイッチ 52
方向指示レバー 53
フォグランプスイッチ 53
ワイパー ＆ ウォッシャースイッチ 54
熱線入りフロントウインドゥシールドガラススイッチ 55
リヤウインドゥデフォッガー（曇り取り）スイッチ 56
非常点滅灯スイッチ 56
運転装置 ………………… 58
エンジンスイッチ 58
パーキングブレーキ 59
ホーン 59
マニュアルトランスミッション 60
オートマチックトランスミッション 60
ＡＢＳ 63
ＳＲＳエアバッグ 64
空調 ………………… 68
オートエアコン 69
プッシュ式エアコン 72
レバー式エアコン、ヒーター 75
オーディオ ………………… 77
オーディオの上手な使い方 77
アンテナ 77
カセット一体AM/FMラジオ 78
室内装備 ………………… 82
サンバイザー 82
室内灯 82
スポットライト 83
時計 83
シガレットライター 84

灰皿 84
グローブボックス 85
カップホルダー 85
小物入れ 86
コンソールボックス 86
フィールドモニター 87

ラゲージスペース …………… 90

トノカバー 90
リヤシート 90

フルタイム4WD …………… 92

オートマチック車にお乗りのかた 93
マニュアル車にお乗りのかた 95
(デフロック式)
マニュアル車にお乗りのかた 98
(ビスカスカップリング式)

3 手入れ

日頃の手入れ ……………… 100

外装の手入れ 101
内装の手入れ 103

消耗品の補給・交換 ……… 104

ウォッシャー液の補給 104
タイヤローテーション(タイヤ位置交換) 104
エンジンオイルについて 105
ヒューズの交換 106

4 なるほどいいね!
快適ドライブ

なるほどインフォメーション … 110

安全・安心マインド 110
高速道路の走り方 110
雨の日もクリアな視界で 111

夏の避暑対策 ……………… 112

冬のカーライフ …………… 113

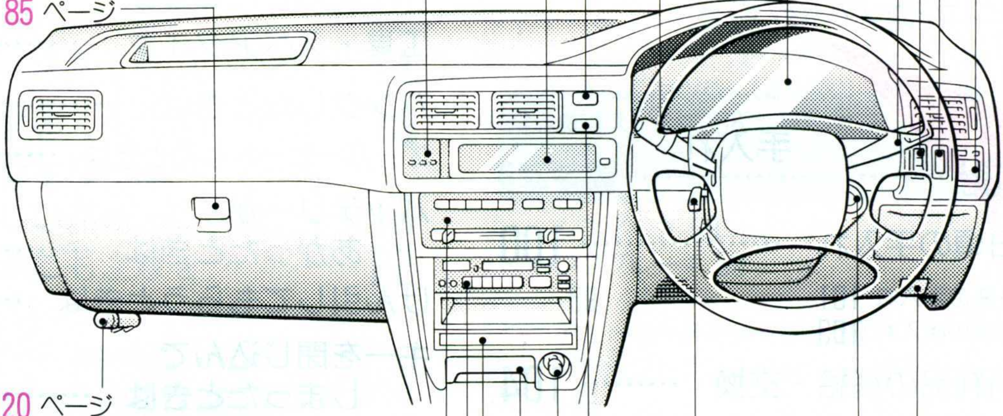
シーズン前の冬じたく 113
お出かけまえに 114
雪道走行 115
冬の駐車ノウハウ 118

5 万一のとき、
あわてないために

路上で故障したときは …… 120
エンストで始動できなく
なったときは … 121
走行中、警告灯が
点灯したときは ……… 122
工具・スペアタイヤ ……… 123
パンクしたときは ………… 128
オーバーヒートしたときは …… 131
バッテリーが
あがったときは ……… 132
けん引してもらうときは … 133
キーを閉じ込んで
しまったときは ……… 134
事故がおきたときは ……… 134

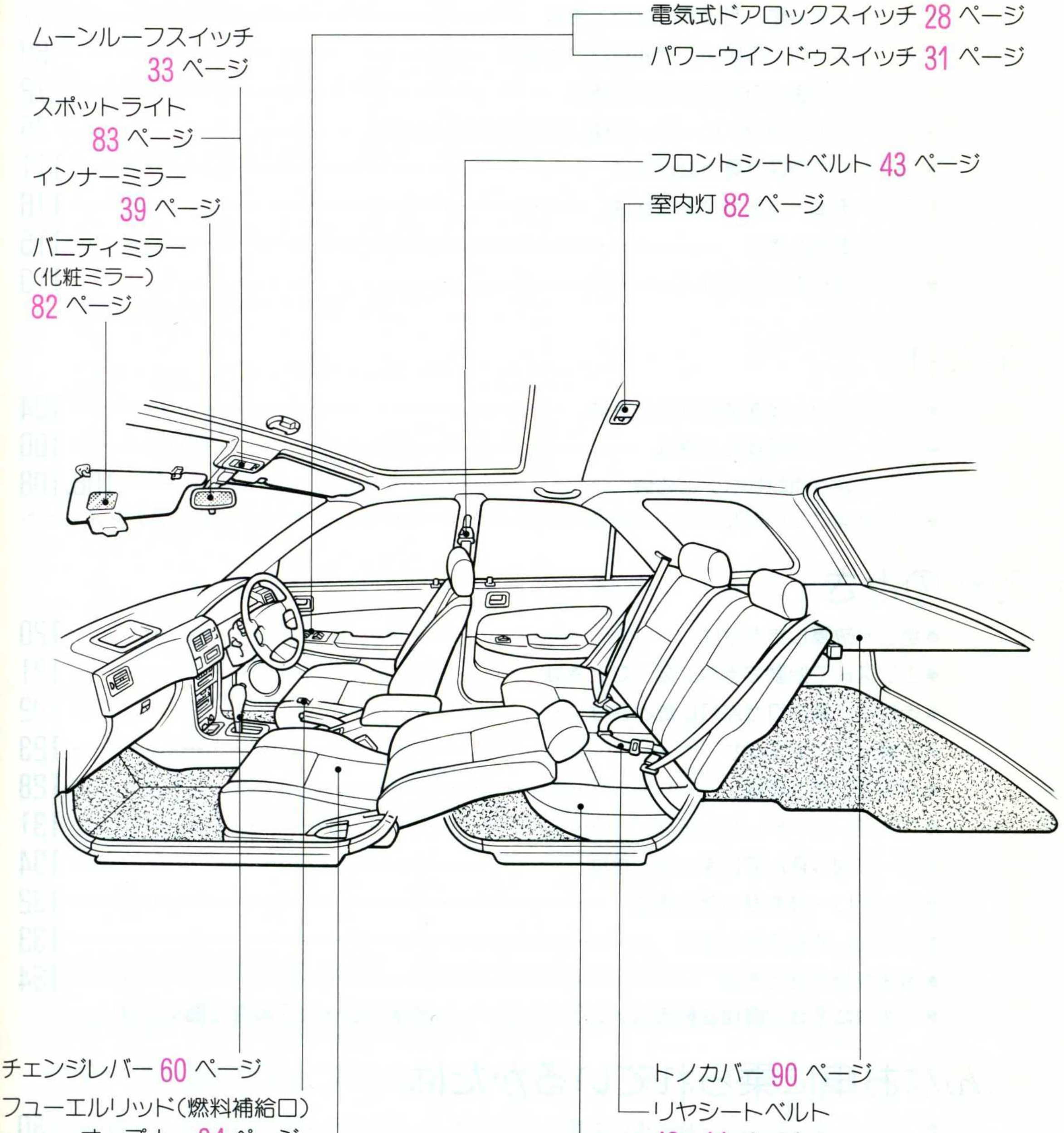
イラスト目次

電動リモコンミラースイッチ 40 ページ
センターデフコントロールスイッチ 93 ページ
センターデフロックスイッチ 95 ページ
バックドアロックスイッチ 29 ページ
ライトスイッチ 52 ページ
メーター 45 ページ
ワイパー＆ウォッシャースイッチ 54 ページ
非常点滅灯スイッチ 56 ページ
フィールドモニター 87 ページ
オーディオ 77 ページ
時計 83 ページ
グローブボックス 85 ページ



発炎筒 120 ページ
オートエアコン 69 ページ
プッシュ式エアコン 72 ページ
レバー式エアコン、ヒーター 75 ページ
オーディオ 77 ページ
カップホルダー 85 ページ
灰皿 84 ページ
シガレットライター 84 ページ
リヤウインドゥデフォッガー（曇り取り）スイッチ 56 ページ
チルトステアリング 38 ページ
エンジンスイッチ 58 ページ
ボンネットオープナー 34 ページ

※ 装備のちがい、注文装備等も含んでいます。



電気式ドアロックスイッチ 28 ページ
パワーウインドゥスイッチ 31 ページ
ムーンルーフスイッチ 33 ページ
スポットライト 83 ページ
インナーミラー 39 ページ
バニティミラー（化粧ミラー） 82 ページ
フロントシートベルト 43 ページ
室内灯 82 ページ
チェンジレバー 60 ページ
フューエルリッド（燃料補給口）オープナー 34 ページ
フロントシート 36 ページ
トノカバー 90 ページ
リヤシートベルト 43、44 ページ
リヤシート 38、90 ページ

ああしたい、こうしたいときの目次

快適ドライブ

- オーディオの使い方が知りたいときは …… 77
- オートエアコンの使い方が知りたいときは …… 69
- エアコンの使い方が知りたいときは …… 72
- レバー式エアコン、ヒーターの使い方が知りたいときは …… 75
- フロントガラスが曇ったときは …… 111
- タイヤチェーンをつけるときは …… 116
- 雪道を走るときは …… 115
- 高速道路を走るときは …… 110

手入れ

- ウォッシャー液を補給するときは …… 104
- ヒューズを交換するときは …… 106
- ランプ類が点灯しないときは …… 106,108
- 点検整備について知りたいときは ……メンテナンスノート

万一のとき

- 路上で故障したときは …… 120
- エンストで始動できなくなったときは …… 121
- 走行中、警告灯が点灯したときは …… 122
- 工具・スペアタイヤ …… 123
- パンクしたときは …… 128
- オーバーヒートしたときは …… 131
- キーを閉じ込んでしまったときは …… 134
- バッテリーがあがったときは …… 132
- けん引してもらうときは …… 133
- 事故がおきたときは …… 134

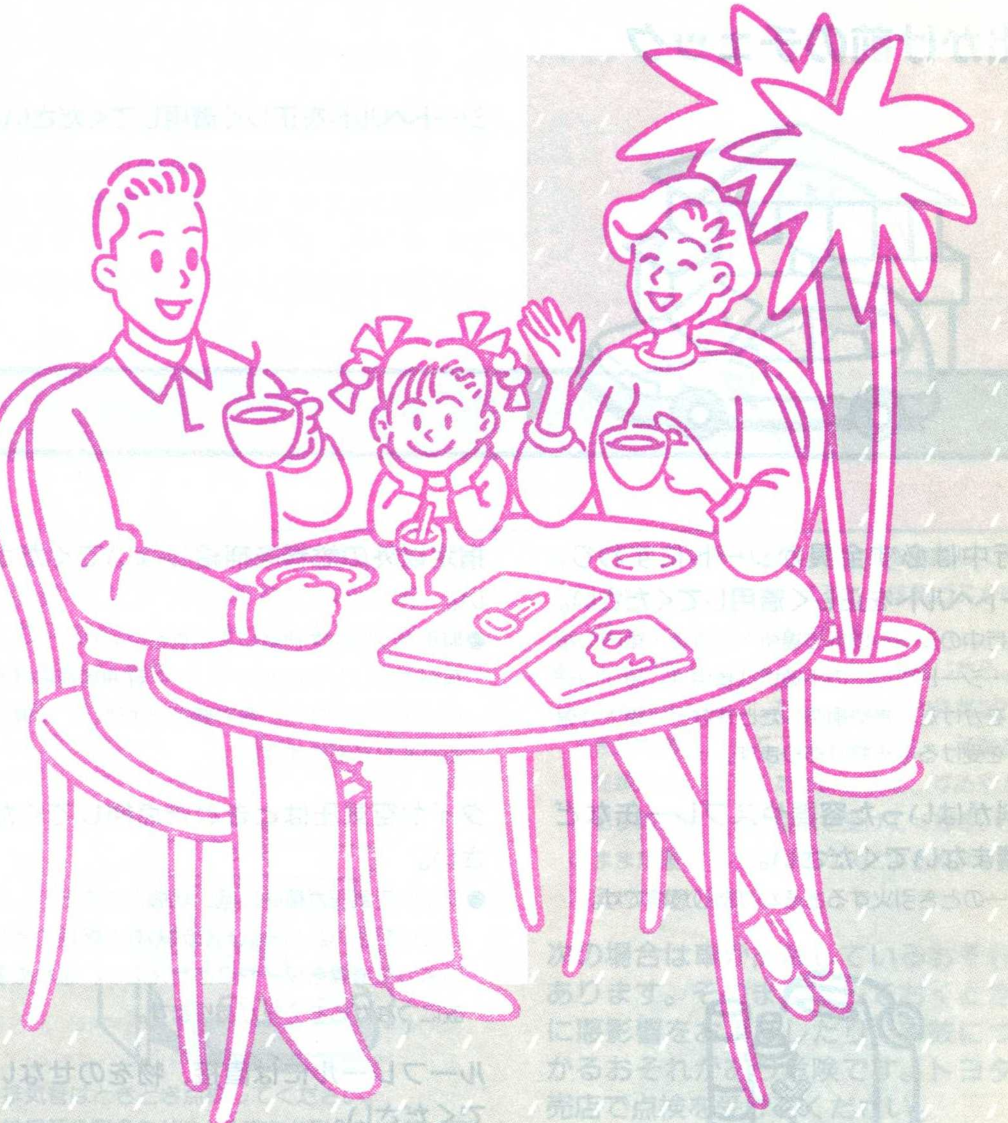
- こまったときの修理連絡先はメンテナンスノート巻末のサービス網をご覧ください。

こんなお車に乗られているかたは

- ワイヤレスドアロック装着車にお乗りのかたは …… 30
- ムーンルーフ付き車にお乗りのかたは …… 33
- オートマチック車にお乗りのかたは …… 16,60
- ＡＢＳ装着車にお乗りのかたは …… 63

1

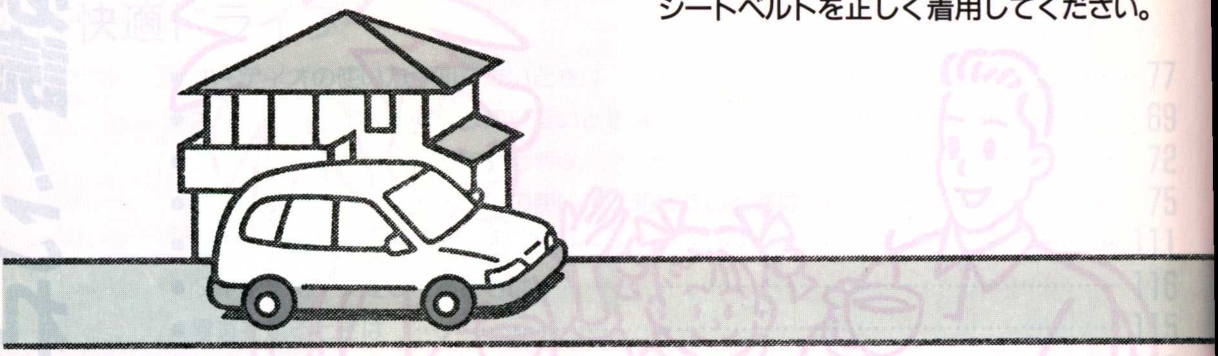
必読！これだけは知っておきましょう



お出かけ前のチェック …………………………………… 8
お子さまを乗せるときの気くばり ……………………… 10
安全・快適ドライブのために ………………………………… 12
走行中、異常に気づいたら ………………………………… 14
駐停車するときは ………………………………………… 15
オートマチック車の正しい運転のしかた ………… 16
こんな点にも注意を ……………………………………… 22

お出かけ前のチェック

シートベルトを正しく着用してください。

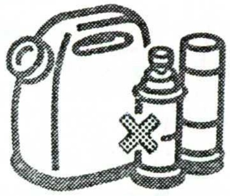


走行中は必ず全員がシートにすわり、シートベルトを正しく着用してください。

●走行中のシート以外の場所への乗車・車内の移動・シートベルトの不適切な着用は、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

燃料がはいった容器やスプレー缶などは積まないでください。

●万一のとき引火するおそれがあり危険です。



運転席足元に物を置かないでください。

●空缶などの物を置くとブレーキペダルの下にはさまりブレーキ操作ができなくなったり、アクセルペダルが戻らなくなるなどのおそれがあり危険です。

指定以外の燃料を補給しないでください。

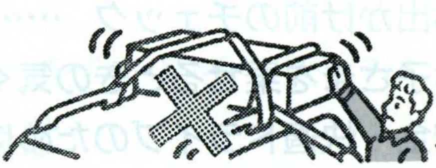
●無鉛ガソリンを補給してください。
有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油を補給すると、エンジンなどに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。

タイヤ空気圧はときどき点検してください。

●タイヤ空気圧が極端に低い状態のまま走行しないでください。バースト（破裂）など修理できないような損傷をタイヤにあたえたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルーフレールには直接、物をのせないでください。

●荷くずれを起こしたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

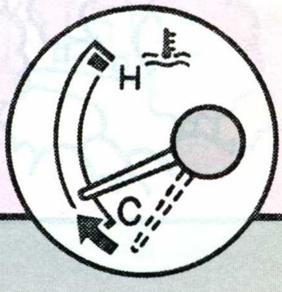


荷室に荷物を置くときは背もたれの高さをこえないでください。また、確実に荷物を固定してください。

●後方、側面の確認ができず思わぬ事故につながったり、急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、ケガをするおそれがあり危険です。

水温計の指針が動き出すまでは、極端にアクセルペダルをあおらないでください。

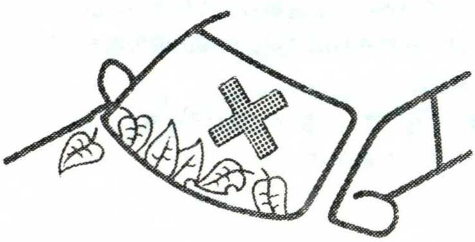
- 暖機不足の状態では触媒装置が焼損するおそれがあります。
- 暖機は水温計の指針が動き出す程度で十分です。



排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、排気ガスを吸い込むとガス中毒になるおそれがあり危険です。

- 換気が悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。とくに車庫内など囲まれた場所では、排気ガスが充満し、ガス中毒になるおそれがあり危険です。

- 排気管はときどき点検してください。
  排気管の腐食などによる穴やき裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気づいた場合は、必ずトヨタ販売店で点検整備を受けてください。そのまま使用すると排気ガスが車内に侵入し、ガス中毒になるおそれがあり危険です。
- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪、落ち葉などがついているときは取り除いてください。外気が導入できず、車内の換気が十分できなくなるおそれがあります。



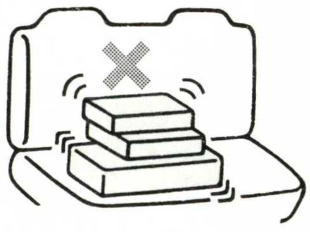
- バックドアが閉まっていることを確認してください。開けたまま走行すると、排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。
- 車内に排気ガスが侵入してきたと感じたら、すべての窓を全開にしたり、空調の内外気切り替えを外気導入にしてファンを強にし、新鮮な外気を車内にいれてください。また、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。そのまま放置すると、排気ガスによるガス中毒のおそれがあり危険です。

次の場合は車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。トヨタ販売店で点検を受けてください。

- いつもと違う音や臭いや振動がするとき
- ステアリング操作に異常を感じたとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油の漏れたあとが残っているとき

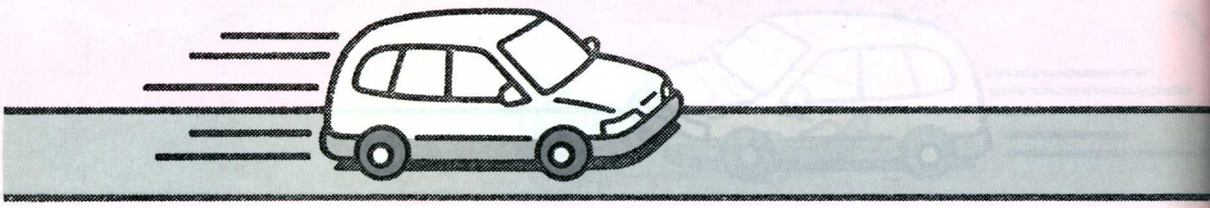
助手席や後席に荷物を積み重ねないでください。

- ブレーキをかけたときなどに荷物が移動し、荷物を損傷したり思わぬ事故につながるおそれがあります。



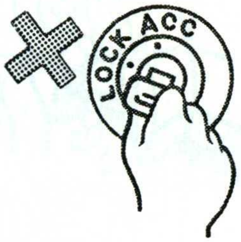
安全・快適ドライブのために

車間距離は十分とってください。　　急発進、急ブレーキは避けてください。



走行中はエンジンを切らないでください。

- エンジンがかかっていないとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- キーをLOCK位置にするとキーが抜けることがあります。キーが抜けるとハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。



ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。

- オイル潤滑不良を起こし、パワーステアリングポンプを損傷するおそれがあります。

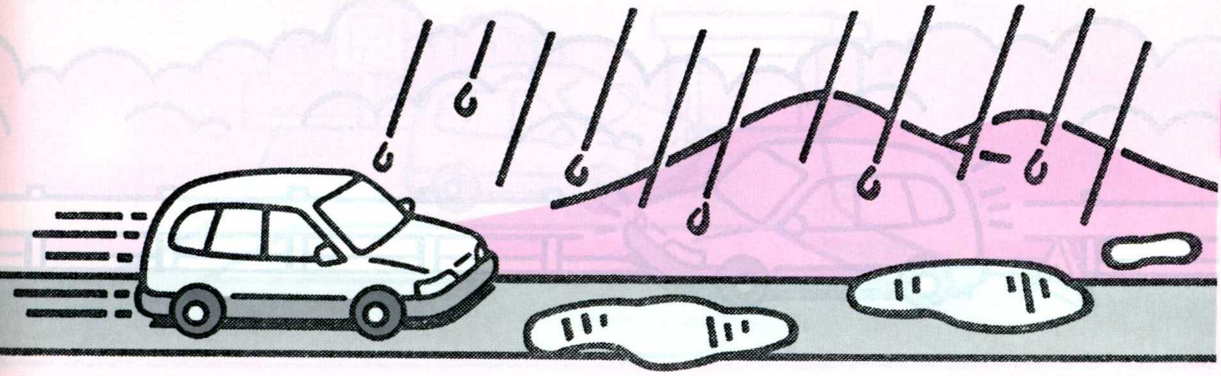
下り坂ではエンジンブレーキを併用してください。

- ブレーキペダルを踏み続けると、過熱によりブレーキの効きが悪くなるおそれがあり危険です。エンジンブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤにいれるほどよく効きます。１速ずつシフトダウンしてください。

ぬれた路面や積雪路、凍結路などのすべりやすい路面ではとくに慎重に走行してください。

- スピードをひかえめに運転し、急ブレーキや急激なエンジンブレーキは避けてください。
- 雪道走行の項目もご覧ください。
（115 ページ参照）

とくに雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいためご注意ください。



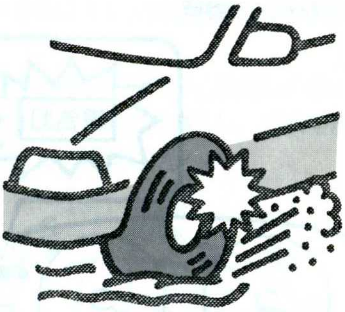
洗車後や水たまり走行後はブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。

●効きが悪い場合は、周囲の安全に十分注意して効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏んでください。

●ぬれたブレーキは効きが悪かったり、また、ぬれていない片方だけが効いてハンドルをとられるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときなどタイヤを高速で回転させないでください。

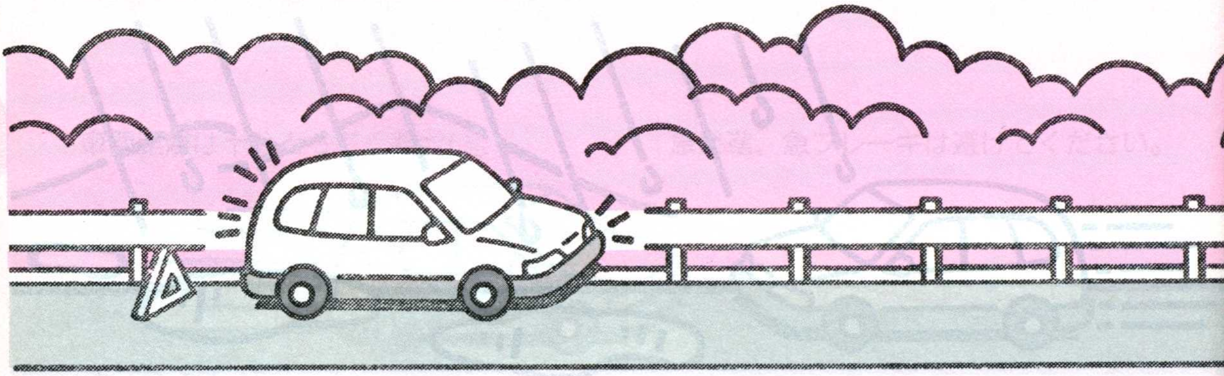
●タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱により思わぬ事故につながるおそれがあります。



ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。

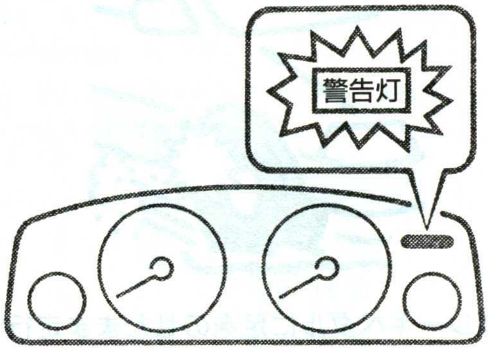
●ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

走行中、異常に気づいたら



警告灯が点灯したら、安全な場所に停車し、ただちに処置してください。

●点灯したまま走行すると思わぬ事故を引き起こしたり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。（122 ページ参照）



走行中にパンクやバースト（破裂）しても、あわてず対応してください。

●ハンドルをしっかり持ち徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。

●急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなるおそれがあります。

アドバイス

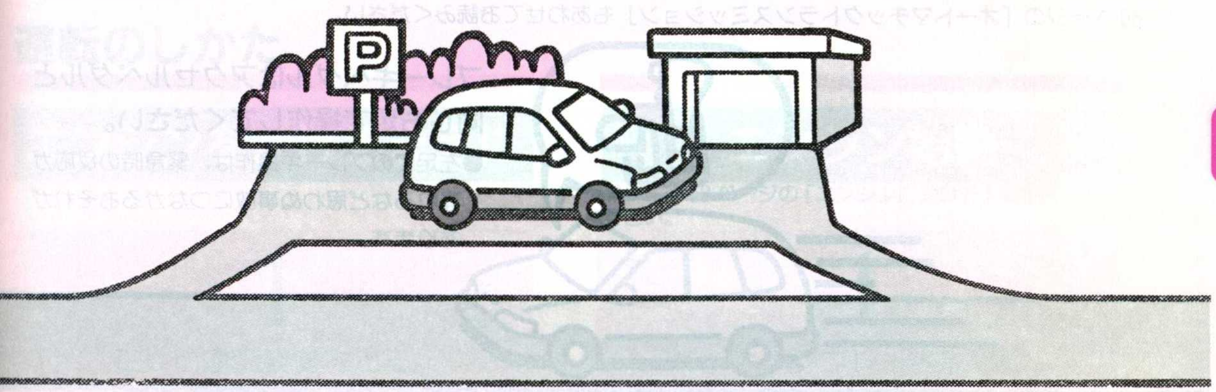
次のようなときはパンクやバーストが考えられます。

- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

車体床下に強い衝撃を受けたら、すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。

●ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷などが見つかった場合は、そのまま使用せずトヨタ販売店などにご連絡ください。

駐停車するときは



車から離れるときは、パーキングブレーキをかけ必ずエンジンを止め施錠してください。

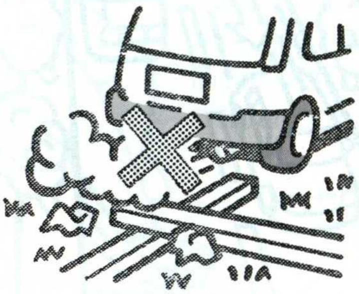
●無人で車が動き出したり、車両盗難のおそれがあります。また、施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

可燃物付近に車を止めたりしないでください。

●車両後方や排気管付近に燃えやすいものがあると火災になるおそれがあり危険です。

●木材、ベニヤ板などが車両後方にあるときは、車両後端を30㎝以上離して止めてください。すき間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり、火災になるおそれがあり危険です。

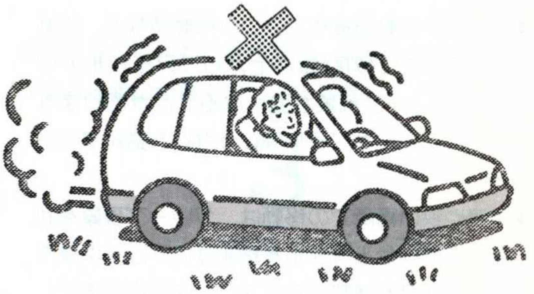
●枯れ草や紙くずなど燃えやすいものの上を走行したり、車を止めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。



仮眠するときは、必ずエンジンを止めてください。

●無意識にチェンジレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあり危険です。

●排気管が損傷していたり、風通しの悪い場所では、排気ガスが車内に侵入し、ガス中毒になるおそれがあり危険です。



車が雪でおおわれたときは、車のまわりから雪を取り除いてください。

●車のまわりにたまった排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。

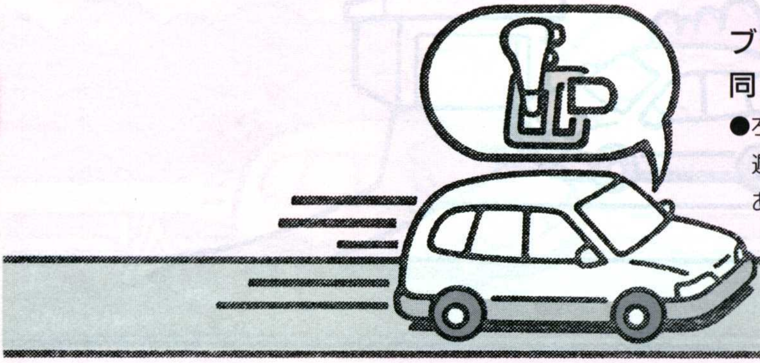
車を移動するときは、必ずエンジンを始動してください。

●坂道を利用しての移動は思わぬ事故につながるおそれがあります。

●エンジンがかかっていないとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の正しい運転のしかた

60 ページの「オートマチックトランスミッション」もあわせてお読みください。



ブレーキペダルはアクセルペダルと同じ右足で操作してください。

●左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の特性

■クリープ現象

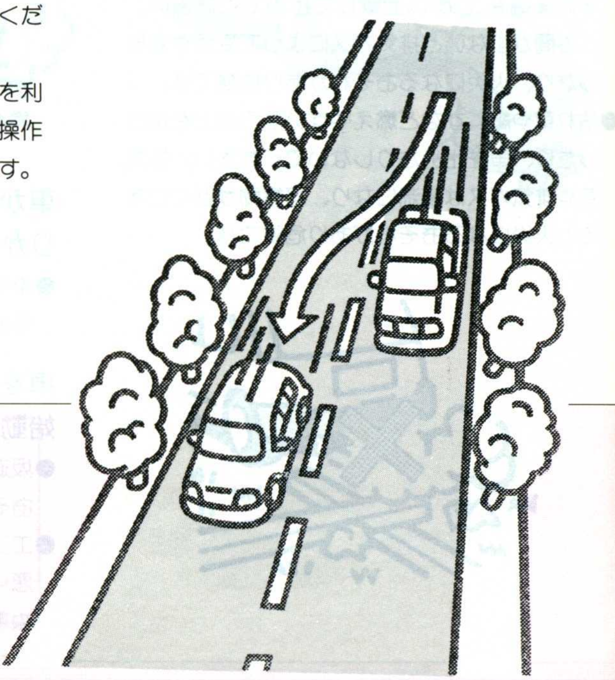
エンジンがかかっているとき、チェンジレバーがⓅⓃ以外の位置にあると、動力がつながった状態になりアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き出す現象をいいます。

- 停車中は、平坦路であっても車が動かないように、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時など、自動的にエンジンの回転が上がり（アイドルアップ）、クリープ現象が強くなることがありますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用し、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調整するとスムーズに行えます。

■キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、エンジンの回転数が上昇して急加速させることができます。これをキックダウンといいます。

- 追いこし時の急加速や高速道路での合流が楽に行えます。
- すべりやすい路面やカーブ走行中では、急激なアクセルペダルの操作は避けてください。



運転のしかた

エンジンをかけるまえに

1
正しい運転姿勢をとる。

ペダルが確実に踏め、ハンドル操作が楽にできるように、シートの位置を調整してください。

2
アクセルペダルの位置を確認。

3
ブレーキペダルの位置を右足で確認。

踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認し、足におぼえさせておくことが重要です。

エンジン始動

詳しくは 59 ページの「エンジンのかけ方」を参照してください。

1
パーキングブレーキを確認。

2
Ⓟの位置を目で確認。

Ⓝの位置でも始動できますが、**安全のため車輪が固定されるⓅの位置**で行ってください。

3
ブレーキペダルを右足で踏む。

4
エンジン始動。

発　進

1
ブレーキペダルを右足でしっかり踏んだまま。

チェンジレバーをⒹやⓇにいれると、クリープ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。発進時のレバー操作は、ブレーキペダルをしっかり踏み、車が動かないようにして行ってください。

エンジン始動直後やエアコン作動時などアイドルアップしているときは、車が動こうとする力がとくに強くなるため、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

2
チェンジレバーを前進はⒹ、後退はⓇにいれる。

注　意

> レバー操作は、絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

3
チェンジレバーの位置を目で確認。

4
パーキングブレーキをもどす。

5
ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み加速。

マニュアル車では、発進時のスピード調節を半クラッチ操作とアクセル操作を併用して行いますが、オートマチック車では、アクセル操作のみで行いますのでアクセル操作は慎重に行ってください。

■急な坂道の発進

チェンジレバーの位置を目で確認したら、

- まずアクセルペダルをゆっくり踏み、
- 車が動き出す感触を確認してから、
- パーキングブレーキをもどし発進。

運転のしかた

走　行

通常走行

チェンジレバーをⒹのまま走行。

アクセルとブレーキの操作だけで、加速・減速ができます。

急加速

アクセルペダルをいっぱいに踏み込む。

キックダウンし、急加速できます。

■上り坂をなめらかに走るには

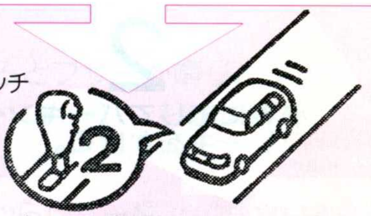
上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、意に反してキックダウンし、急にエンジン回転が上がることがあります。このようなときは、**あらかじめ❷にしておく**と、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

下り坂走行

エンジンブレーキを併用

下り坂をⒹのまま走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くスピードが出すぎてしまうことがあります。このようなときに、**フットブレーキを使いすぎると、ブレーキの効きが悪くなる**おそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では必ずエンジンブレーキを併用してください。

チェンジレバーを❷にいれて、エンジンブレーキを使います。



O／DスイッチをOFFにすることによっても軽いエンジンブレーキが得られます。高速道路の長い下り坂などで使うと有効です。

急な下り坂

より強いエンジンブレーキが必要な場合はⓁにいれる。

各シフト位置での速度限界

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

（単位：km／h）

シフト位置＼エンジン型式	4A−FE	7A−FE
L	55	55
2	100	100

注　意

走行中はⓃにしないでください。チェンジレバーをⓃにすると、**エンジンブレーキがまったく効かない**ため、思わぬ事故につながるおそれがあります。またⓃにしたままで走行するとトランスミッションの故障の原因となるおそれがあります。

停車

1

Ⓓのままブレーキペダルをしっかり踏んでおく。

エアコンは**温度変化により断続的に作動**します。作動中は自動的にアイドルアップし、クリープ現象が強くなりますので、車が動き出さないように、とくに注意してください。

2

必要に応じてパーキングブレーキをかける。

急な上り坂での停車はクリープ現象で前へ進もうとする力よりも、車が後退しようとする力の方が大きくなり、**車が後退することがあります。**
ブレーキペダルを踏み、しっかりとパーキングブレーキをかけてください。

停車時間が長くなりそうなときは、チェンジレバーをⓅまたはⓃにいれる。

■停車中の空ふかしは禁物

万一、ⓅⓃ以外にはいっていると思わぬ急発進の原因になります。

■停車後の再発進

チェンジレバーが**Ⓓの位置にあることをしっかり確認**してから、発進してください。

駐車

1

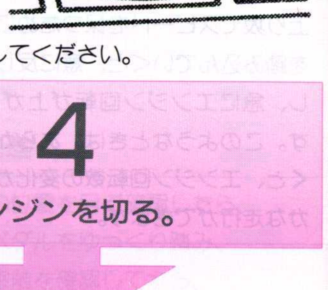
車を完全に止める。

2

ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキを確実にかける。

3

チェンジレバーをⓅにいれる。



Ⓟでは車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には、必ずチェンジレバーがⓅの位置にあることを確認してください。

4

エンジンを切る。

車を離れるときは必ずエンジンを切ってください。
エンジンをかけたままにしておくと、万一、チェンジレバーがⓅ以外にはいっていた場合、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

- 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしましょう。
- 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキ操作が確実にできるよう注意してください。
- 少し後退したあとなどはⓇにいれたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとはすぐⓃにもどすよう習慣づけましょう。
- 切り返しなどでⒹからⓇ、ⓇからⒹと何度もレバー操作をするときは、そのつどブレーキペダルをしっかり踏み、完全に車を止めてから行ってください。また、シフト位置も忘れずに確認してください。
- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でⒹのままアクセルをふかしながら止まってはいけません。トランスミッションが過熱し、故障の原因になります。
- 車輪が完全に止まらないうちに、チェンジレバーをⓅにいれるのはやめてください。無理な力がかかり、トランスミッションをいためることがあります。

シフトロックシステム

よく理解して正しい操作にお役立てください。

ブレーキペダルを踏んだ状態でなければⓅからレバー操作できません。

- エンジンスイッチが、ACCまたはLOCKのときは、ブレーキペダルを踏んでも操作できません。
- チェンジレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。

Ⓟ以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。

- エンジンスイッチからキーを抜くときは、チェンジレバーをⓅにいれてください。
（Ⓟ以外ではキーをACCからLOCKにまわせません。）

Ⓡにいれるとブザーが鳴ります。

- ブザーが鳴り、Ⓡにあることを運転者に知らせます。
- 車外の人には音は聞こえませんのでご注意ください。

万一、Ⓟからレバー操作できないときは

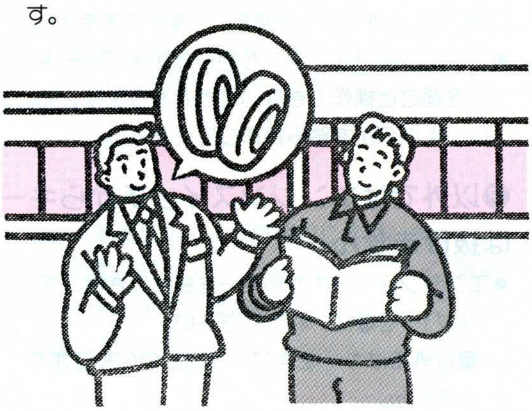
- ブレーキペダルを踏んだ状態で、シフトロック解除ボタンを押すとレバー操作できます。
- シフトロックシステム等の故障が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

こんな点にも注意を

違法改造は絶対にしないでください。

●車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●トヨタが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違法改造になることがあります。



●**SRSエアバッグ付き車**は、ハンドルの取りはずしや他の車両への取りつけは絶対にしないでください。SRSエアバッグを不適切にあつかうと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみケガをするおそれがあり危険です。

●次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。

・タイヤ、ディスクホイール、ホイール取りつけナットの交換。

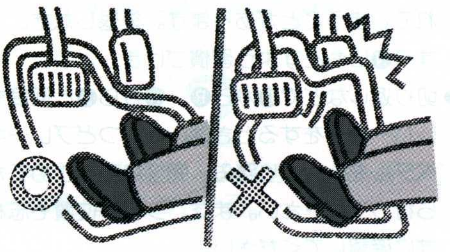
異なった種類や指定以外のものを使用すると走行に悪影響をおよぼしたり違法改造になることがあります。

・電装品、無線機などの取りつけ、取りはずし。

故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

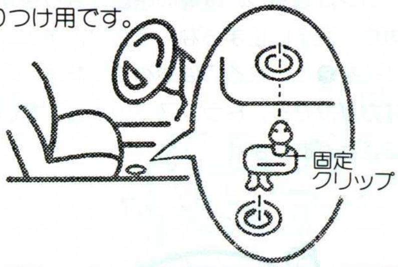
車に合わないフロアマットは使用しないでください。

●フロアマットはアクセルペダルに引っかからないよう、車に合ったものを正しく敷いてください。また、ずれないよう固定クリップなどで固定してください。アクセルペダルをおおったり、重ねて敷くとアクセル操作のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



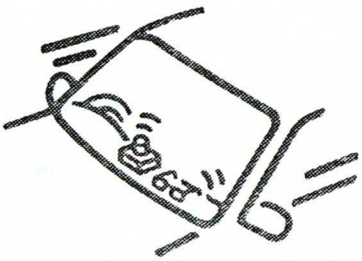
アドバイス

カーペットの穴は、トヨタ純正フロアマットのずれを防止するために使用する固定クリップ取りつけ用です。



インストルメントパネルやダッシュボードの上に物を置いたまま走行しないでください。

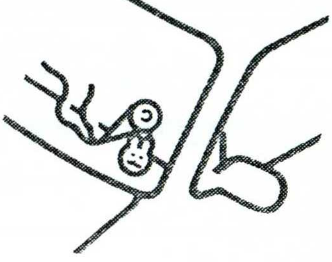
●運転者の視界をさまたげたり、発進時や走行中に動いて安全運転のさまたげになるおそれがあります。また、万一の事故の場合には、ケガの原因となるおそれがあります。



●灰皿を使用したあとは、マッチ、タバコの火を確実に消し、必ず閉めておいてください。開けたまま放置すると火災になるおそれがあり危険です。

●ラジエーターや補助タンクが熱いときは、キャップをはずさないでください。蒸気や熱湯が吹き出し危険です。

●窓ガラスなどには吸盤をつけないでください。吸盤がレンズの働きをして、火災になるおそれがあり危険です。



●ハンドフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転者は走行中に使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

●クラッチペダルに足をのせたまま走行したり、必要以上に長い時間、半クラッチ操作を行わないでください。
クラッチが早く摩耗したり、過熱し思わぬ事故につながるおそれがあります。

炎天下で駐車するときは車内にライターを放置しないでください。

●車室内が大変高温になるため、ライターが爆発するおそれがあります。

MEMO

2 操作装置

各部の開閉 ………………………… 26
キー 26
ドア 26
電気式ドアロック 28
バックドア 29
ワイヤレスドアロック 30
パワーウインドゥ 31
ムーンルーフ 33
フューエルリッド 34
ボンネット 34

各部の調整 ………………………… 36
フロントシート 36
リヤシート 38
ハンドル 38
インナーミラー（防眩ミラー） 39
電動リモコンミラー 40

シートベルトの着用 ………… 42
3点式シートベルト 43
2点式シートベルト 44

メーター、表示灯、警告灯の見方 45
メーター 46
表示灯 47
警告灯 48

視界の確保 ………………………… 52
ライトスイッチ 52
方向指示レバー 53
フォグランプスイッチ 53
ワイパー ＆ ウォッシャースイッチ 54
熱線入りフロントウインドゥシールドガラススイッチ 55
リヤウインドゥデフォッガー（曇り取り）スイッチ 56
非常点滅灯スイッチ 56

運転装置 ………………………… 58
エンジンスイッチ 58
パーキングブレーキ 59
ホーン 59
マニュアルトランスミッション 60
オートマチックトランスミッション 60
ＡＢＳ 63
ＳＲＳエアバッグ 64

空調 ……………………………… 68
オートエアコン 69
プッシュ式エアコン 72
レバー式エアコン、ヒーター 75

オーディオ ……………………… 77
オーディオの上手な使い方 77
アンテナ 77
カセット一体AM/FMラジオ 78

室内装備 ………………………… 82
サンバイザー 82
室内灯 82
スポットライト 83
時計 83
シガレットライター 84
灰皿 84
グローブボックス 85
カップホルダー 85
小物入れ 86
コンソールボックス 86
フィールドモニター 87

ラゲージスペース …………… 90
トノカバー 90
リヤシート 90

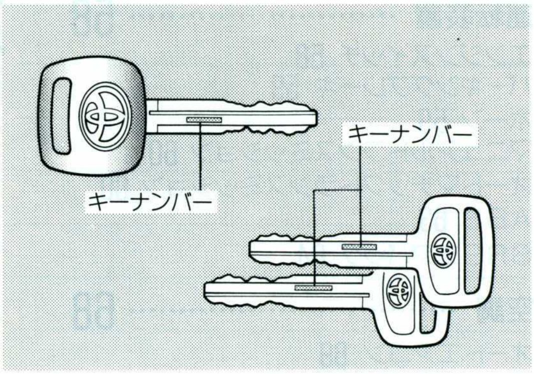
フルタイム4WD ……………… 92
オートマチック車にお乗りのかた 93
マニュアル車にお乗りのかた 95
（デフロック式）
マニュアル車にお乗りのかた 98
（ビスカスカップリング式）

開閉は、正しい操作で確実に。

各部の開閉

キー

キーナンバーをひかえておいてください。
万一紛失した場合、トヨタ販売店で純正のキーを作ることができます。



ドア

注意

●車から離れるときは、必ずエンジンを止めパーキングブレーキをかけて施錠してください。無人で車が動き出したり、車両盗難のおそれがあります。法的にも義務づけられています。また、施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

●走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。ドアが確実に閉まっていないと走行中にドアが突然開き思わぬ事故につながったり、運転者や同乗者が車から投げ出されるおそれがあり危険です。

アドバイス

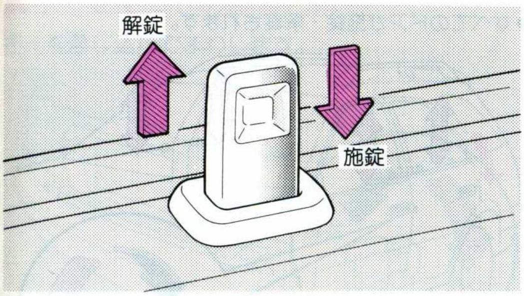
キーなしでドアを施錠するときは、キーを持っていることを確認してから行ってください。車内にキーを閉じこめてしまうおそれがあります。

■キーを使っての施錠と解錠(フロントドア)

差し込んでまわします。

■ロックボタンでの施錠と解錠

押すと施錠、引くと解錠されます。

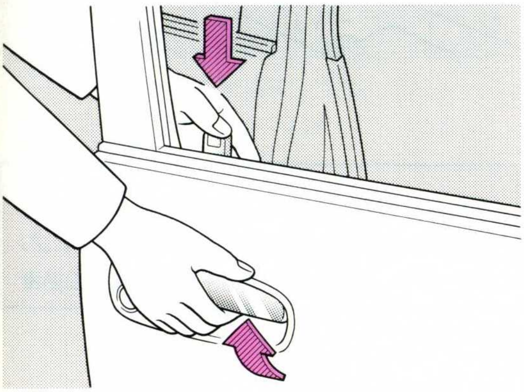


アドバイス

> 電気式ドアロック付き車の運転席側ドアは、ロックボタンが押し込まれていてもドアレバーを引くとドアが開きます。

■キーを使わずに施錠するには

- フロントドアはロックボタンを押し、ドアハンドルを引き上げたままドアを閉めます。
- リヤドアはロックボタンを押しドアを閉めます。



■キー抜き忘れ防止チャイム

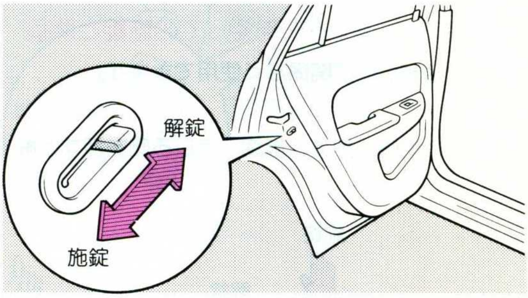
エンジンスイッチをＬＯＣＫまたはＡＣＣの位置にして運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りキーの抜き忘れを警告します。

チャイルドプロテクター

レバーを施錠側にしてドアを閉じると、ロックボタンの位置に関係なく、車内からリヤドアを開けることはできませんので、お子さまを乗せるときにご使用ください。

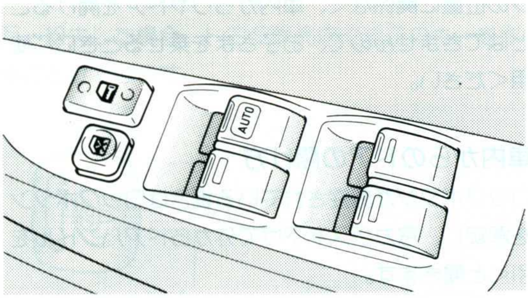
車内からのドアの開け方

ロックボタンが施錠されている場合はロックボタンを解錠し、窓ガラスを下げて外からドアハンドルを引くと開きます。



電気式ドアロック★

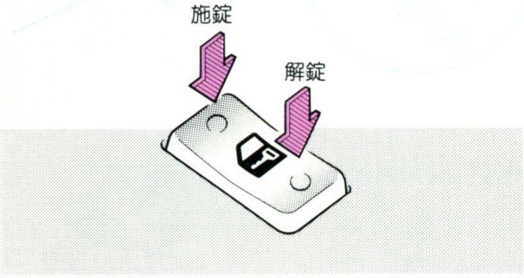
すべてのドアの施錠・解錠が同時にできます。



■ドアロックスイッチを使っての施錠と解錠

エンジンスイッチに関係なく使用できます。

スイッチの前側を押すと施錠、うしろ側を押すと解錠されます。



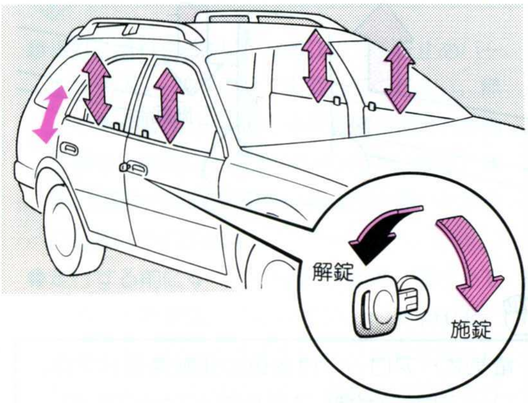
アドバイス

> スイッチを押し続けると作動しないことがあります。いったんスイッチから指を離し、押しなおしてください。

■キーを使っての施錠と解錠

運転席ドアにキーを差し込んでまわします。

● すべてのドアが施錠・解錠されます。

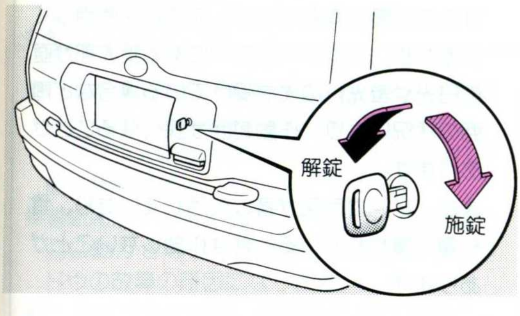


★印はグレード等により装着の有無が異なります。

バックドア

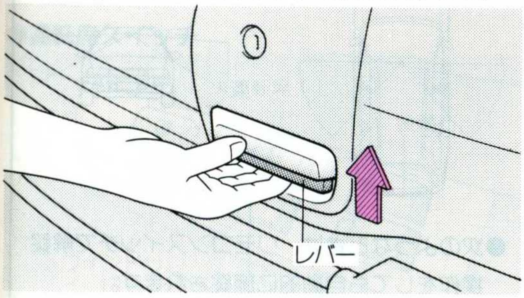
■キーを使っての施錠と解錠

キーを差し込んでまわします。



■開け方

レバーを引いたままバックドアを持ち上げます。



注 意

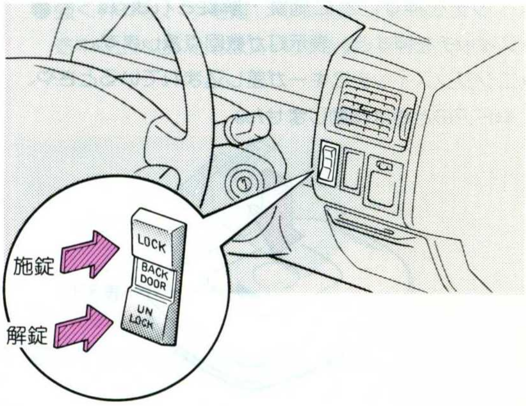
バックドアを開けたまま走行しないでください。バックドアが車外の物などに当たり思わぬ事故につながるおそれがあります。

■電気式バックドアロックを使っての施錠と解錠

電気式ドアロック付き車を除く

エンジンスイッチに関係なく使用できます。

LOCK側を押すと施錠、UN−LOCK側を押すと解錠されます。



アドバイス

スイッチを押し続けると作動しないことがあります。いったんスイッチから指を離し押しなおしてください。

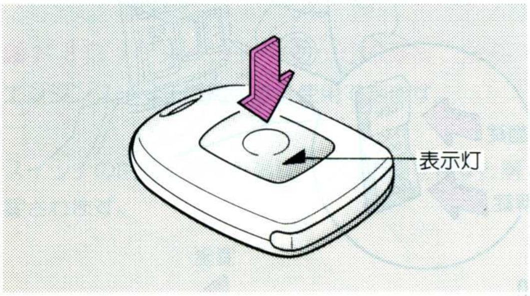
ワイヤレスドアロック★

離れたところ（約1ｍ）からドアの施錠・解錠ができます。

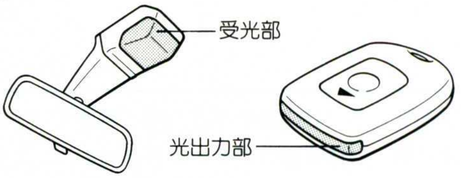
リモコンスイッチ

スイッチを押すごとに施錠・解錠されます。

- スイッチを押すと、表示灯が数回点滅します。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときや、半ドアのときは作動しません。

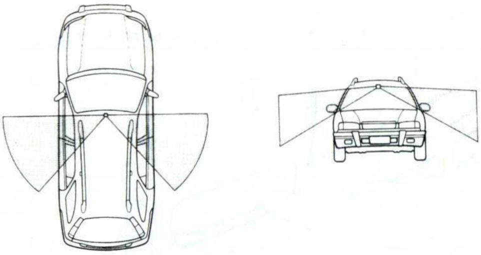


ワイヤレスドアロックを使用するときは、リモコンスイッチの光出力部をインナーミラーにある受光部に向けて使用してください。また、光出力部と受光部の間に障害物などがないようにしてください。



アドバイス

- ワイヤレスドアロックは下図の角度から操作するのが最も有効ですが、赤外線を使用しているため、インナーミラーにある受光部が直射日光や蛍光灯の光を受けている場合など周囲の状況により、作動範囲が狭くなることがあります。
  また、ドアガラスが著しく汚れていたり、雪や霜で覆われているときは作動しないことがあります。



- 次のようなときは、リモコンスイッチで解錠操作をしても自動的に施錠されます。
  - 約30秒以内にドアを開けないとき
  - 運転席ドアが解錠されているとき
- リモコンスイッチ表示灯の点滅する光が、暗くなったり点滅しなくなったときは、電池の消耗が考えられます。トヨタ販売店でリモコンスイッチを交換してください。

処 置

リモコンスイッチを押しても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

注 意

リモコンスイッチは、分解したり、強い衝撃をあたえたり、水洗いなどをしないでください。スイッチの故障の原因になります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

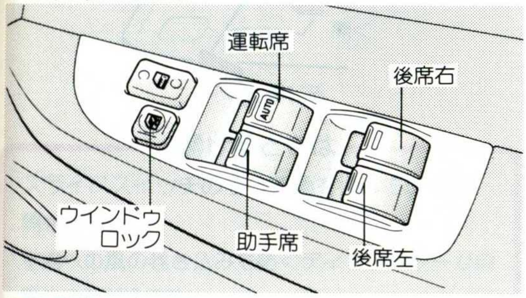
パワーウインドゥ★

各ドアには、それぞれのパワーウインドゥスイッチがあります。

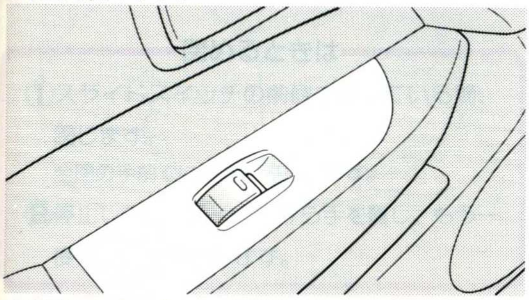
注 意

- ドアガラスを閉じるときは、他の人の手や頭などをはさまないように注意してください。ドアガラスにはさまれてケガをするおそれがあり危険です。
- 運転席スイッチと他のスイッチを同時に逆方向に動かさないでください。パワーウインドゥの故障の原因になります。
- ドアガラスの全開、全閉後に同じ方向にスイッチを操作し続けないでください。パワーウインドゥの故障の原因になります。

●運転席スイッチ

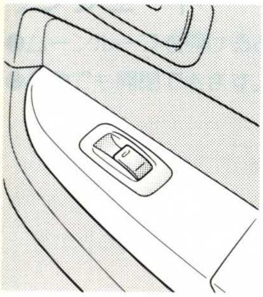


●助手席スイッチ

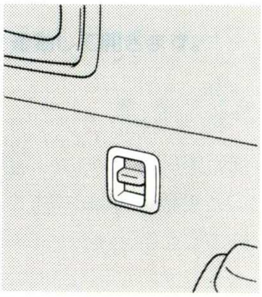


●後席スイッチ

Z Touring



V Touring、S Touring



開閉のしかた

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

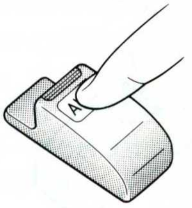
開けるときは

■運転席窓ガラス

●スイッチを軽く押している間、作動します。

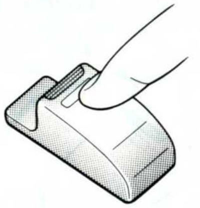
●強く押すと、手を離しても自動で全開します。

途中で止めたいときはスイッチを軽く引き上げます。



■助手席窓ガラス

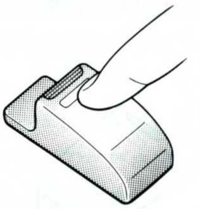
●スイッチを押している間、作動します。



■後席窓ガラス

Z Touring

●スイッチを押している間、作動します。



V Touring、S Touring

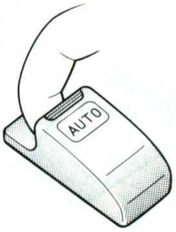
●スイッチを下側に押している間、作動します。

閉めるときは

■運転席窓ガラス

●スイッチを軽く引き上げている間、作動します。

●強く引き上げると、手を離しても自動で全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを軽く押します。



■助手席窓ガラス

●スイッチを引き上げている間、作動します。

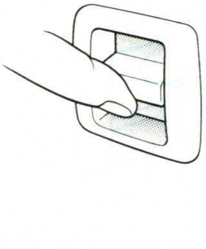
■後席窓ガラス

Z Touring

●スイッチを引き上げている間、作動します。

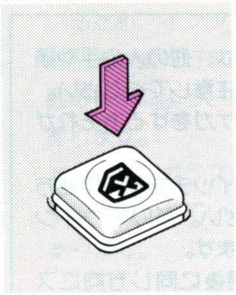
V Touring、S Touring

●スイッチを上側に押している間、作動します。



ウインドゥロック

お子様を乗せるときはウインドゥロックスイッチをONにしてください。助手席、後席窓ガラスを動かなくすることができます。

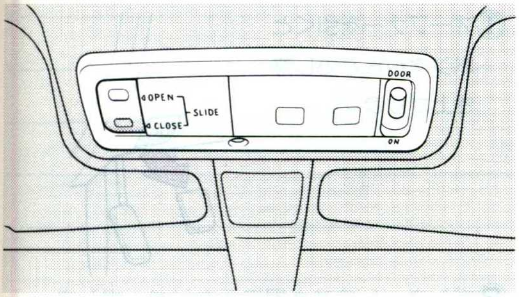


スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。
ONのときロックされます。

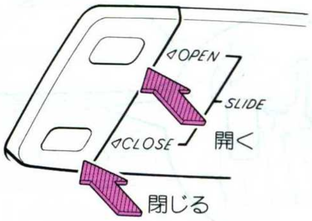
ON	
OFF	

ムーンルーフ★

エンジンスイッチがONのとき使用できます。



スライド開閉のしかた



開けるときは

スライドスイッチのうしろ側を押している間、開きます。

室内への風の巻き込みを防ぐディフレクターが自動的に上がります。

閉めるときは

①スライドスイッチの前側を押している間、閉じます。

全閉の手前でいったん停止します。

②停止したら、スイッチから手を離し、もう一度スイッチを押します。

サンシェード

●ムーンルーフを開けると連動して開きます。

●手動でも開閉できます。

注 意

●ルーフを閉じるときは、他の人の手や顔などをはさまないように注意してください。ルーフにはさまれてケガをするおそれがあり危険です。

●走行中はルーフから手や顔を出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキをかけたときにケガをするおそれがあり危険です。

●開口部に腰かけないでください。ルーフがへこんだり、万一のとき車から投げ出されるおそれがあり危険です。

●ルーフから荷物がはみ出さないようにしてください。車外のものなどに当たるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ルーフに水や雪がある状態で開けないでください。室内がぬれるばかりか、突然の水や雪におどろき思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ムーンルーフを全開、全閉したあとにスイッチを押し続けないでください。ムーンルーフの故障の原因になります。

アドバイス

車から離れるときや洗車時には、完全に閉じていることを確認してください。

処 置

スイッチを押しても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

フューエルリッド（燃料補給口）

注　意

●エンジン回転中に燃料を補給しないでください。火災になるおそれがあります。

●燃料を補給するときは、タバコを吸うなど火気を近づけないでください。燃料は引火しやすいため、火災になるおそれがあり危険です。

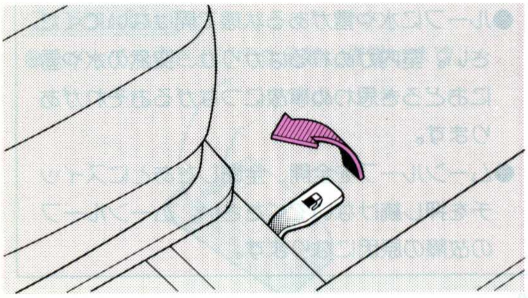
●急激にフューエルキャップを開けないでください。燃料補給口部より吹き返しが発生するおそれがあります。

●フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料が漏れ、火災になるおそれがあり危険です。

●車に合ったトヨタ純正のフューエルキャップ以外は使用しないでください。燃料漏れを起こすおそれがあり危険です。

燃料タンク容量は 50 ℓ です。

フューエルリッドオープナーを引くと開きます。

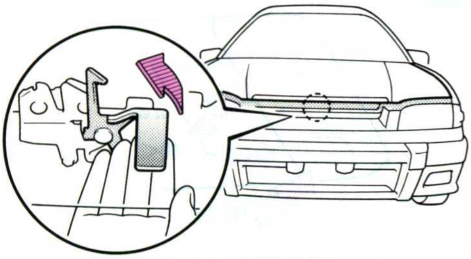


ボンネット

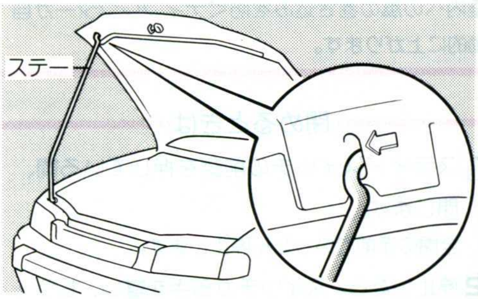
開けるときは

①オープナーを引くとボンネットが少し浮き上がります。

②ボンネットのすき間に手をいれ、ボンネットフックをはずして持ち上げます。



③ボンネットステーをステー穴に差し込んでボンネットを固定します。



閉めるときは

①ボンネットステーをはずし、ボンネットを閉めます。

②前端を押さえつけロックします。

注　意

走行前にボンネットが確実にロックされていることを必ず確認してください。ロックせずに走行するとボンネットが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

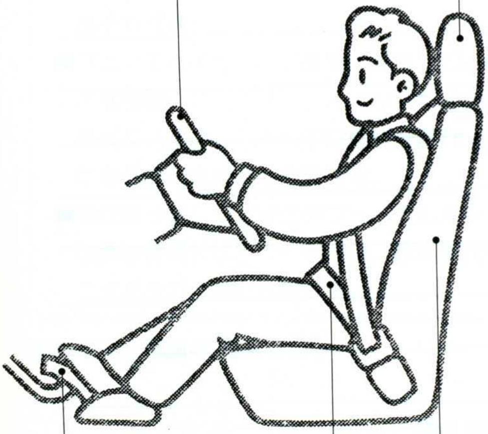
MEMO

正しい位置がベストポジション。

各部の調整

フロントシート

次の事項に注意してシートを調整します。

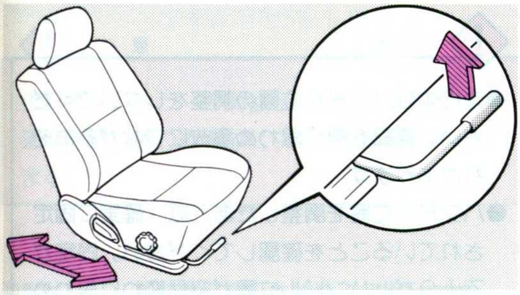


注　意

- 走行中は運転席シートの調整をしないでください。シートが突然動き運転を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調整したあとは、シートを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントシートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されなかったり、ロック機構の故障の原因になります。
- 背もたれと背中の間にクッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、衝突したときシートベルトなどの拘束保護装置の効果が十分に発揮されないおそれがあり危険です。
- シートを調整するときは同乗者や荷物に当てないように注意してください。同乗者がケガをしたり、荷物をこわしたりするおそれがあります。
- シートを調整しているときは、シートの下や動いている部分の近くに手を近づけないでください。指や手をはさみケガをするおそれがあり危険です。

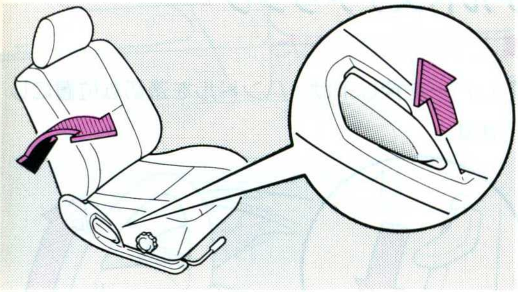
前後位置調整

レバーを引いたまま調整します。



リクライニング調整

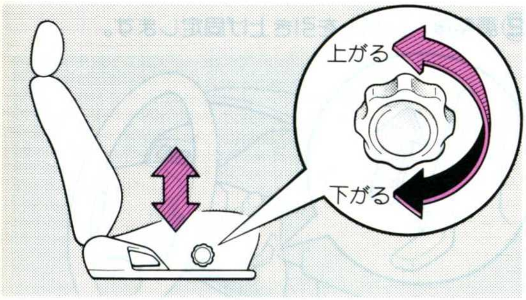
レバーを引いたまま調整します。



クッションの上下調整★

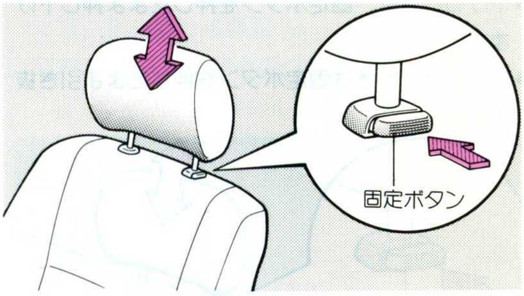
運転席

ハンドルをまわして調整します。



ヘッドレスト調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。



注 意

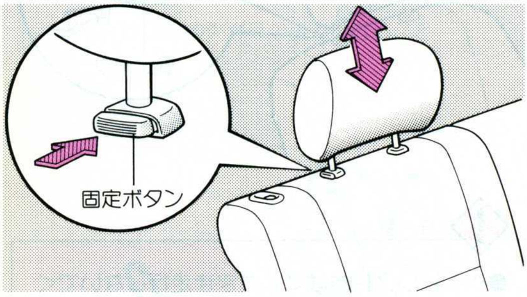
- ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。
- 前席のヘッドレストを後席に取りつけないでください。前後のヘッドレストを間違って取りつけると、ヘッドレストを固定することができず思わぬ事故につながるおそれがあります。ヘッドレストを取りつけるときは、カチッという音がして固定されたことを確認してください。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

リヤシート

ヘッドレスト調整★

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。
- 取りはずすときは固定ボタンを押したまま引き抜きます。



注 意

- ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。
- 後席のヘッドレストを前席に取りつけないでください。前後のヘッドレストを間違って取りつけると、ヘッドレストを固定することができず思わぬ事故につながるおそれがあります。ヘッドレストを取りつけるときは、カチッという音がして固定されたことを確認してください。

ハンドル

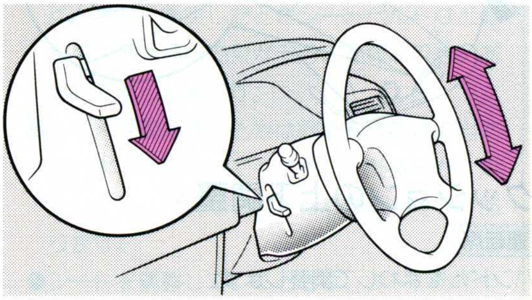
注 意

- 走行中はハンドル位置の調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり思わぬ事故につながるおそれがあります。

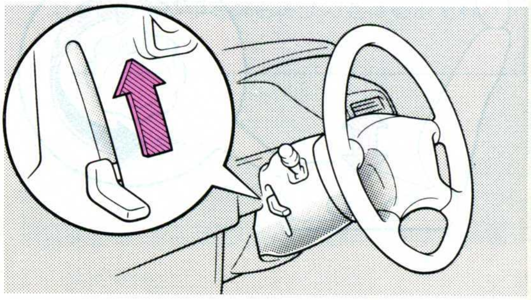
チルトステアリング★

■上下調整のしかた

①レバーを押し下げ、ハンドルを適切な位置にします。



②調整後、レバーを引き上げ固定します。



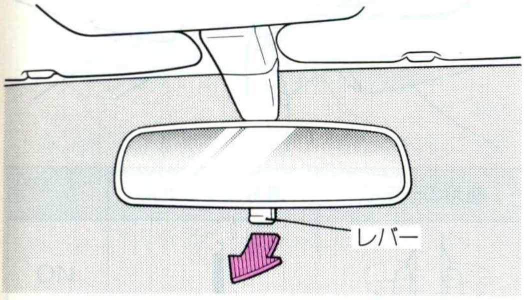
インナーミラー（防眩ミラー）★

注 意

走行中は、ミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

通常はレバーを前方に押した状態で使用します。

後続車のヘッドライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。



電動リモコンミラー★

注　意

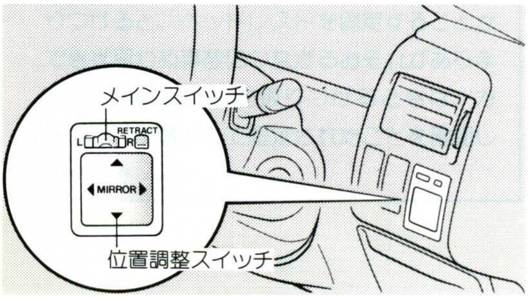
- ●走行中は、ミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●ミラーを倒したまま走行しないでください。ミラーによる後方確認ができず事故につながるおそれがあります。
- ●ドアミラーはフェンダーミラーと比べ次の点で異なります。同じ感覚で運転すると車をぶつけたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。十分注意して運転してください。
  - ・ミラーの張り出しが約 10 ㎝大きくなります。
  - ・ミラーに映る物の距離感覚が違います。(ドアミラーの方が物が近くに見えます。)

調整のしかた

エンジンスイッチがＡＣＣまたはＯＮのとき使用できます。

①メインスイッチを調整したい側に押します。

②位置調整スイッチでミラーの角度を調整します。

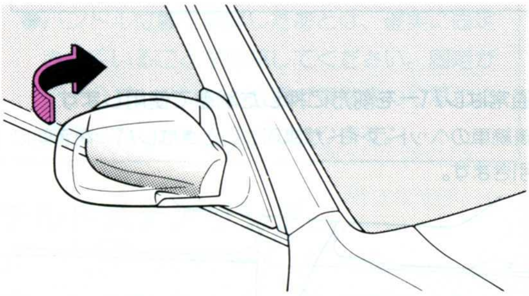


ドアミラーの倒し方

ミラーを後方に倒すことができます。

電動格納式ドアミラー付き車を除く

走行するときは“カチッ”と音がするところまで必ずもどしてください。

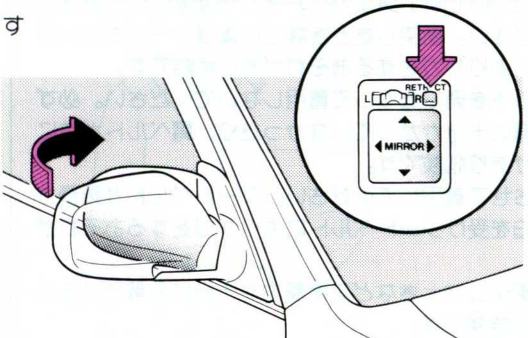


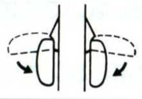
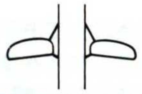
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

電動格納式ドアミラー付き車

エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります



	スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		

■後方に倒すときは

スイッチをONにします。

■もどすときは

スイッチをOFFにします。

アドバイス

- ●エンジンスイッチがLOCKのときは、手動で操作することができます。
- ●次の場合は、ミラーを手動で操作しても、ミラーはスイッチの状態になります。
  - ●エンジンスイッチがACCまたはONのとき
  - ●手動で操作したあとにACCまたはONにしたとき

注意

ミラーが動いているときは手を触れたりしないでください。手をはさんだり、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

正しい着用があなたの身を守る。

シートベルトの着用

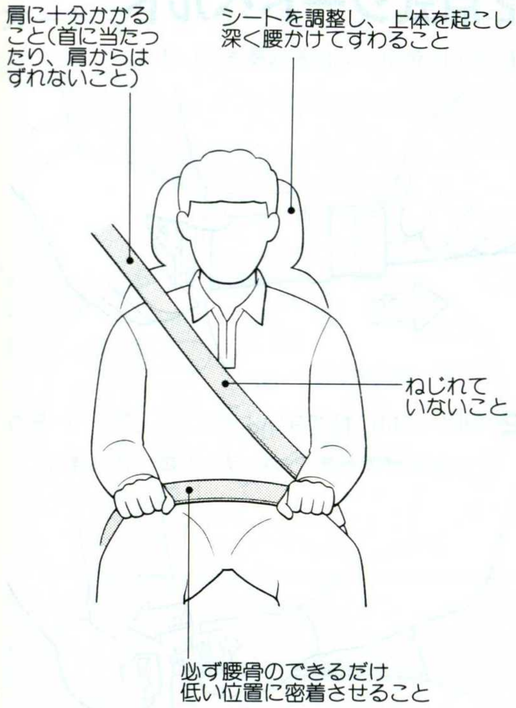
シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。
次の注意、使用方法にしたがって走行前に運転者は必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

注意

- 車に乗る場合は、全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにケガをするおそれがあり危険です。
- シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。衝突したときなどに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。
- ３点式シートベルトの肩ベルトは、首に当たったり脇の下を通したりして着用しないでください。必ず肩に十分かかるように着用してください。肩ベルトが肩に十分かかっていなかったり、肩ベルトが首に当たっていると衝突したときなどにケガをするおそれがあり危険です。
- シートベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。シートベルトが腰骨からずれていると衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受けシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。
- シートベルトがねじれたまま着用しないでください。衝突したときなどに衝撃力を十分に分散させることができずシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。
- バックルには異物がはいらないよう注意してください。異物がはいるとプレートがバックルに完全にはまらない場合があり、十分な効果を発揮しないおそれがあります。異物がはいって取れない場合は、すぐにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- シートベルトは１人用です。２人以上で１本のベルトを使用しないでください。衝突のときなどベルトが正常に働かず、ケガをするおそれがあり危険です。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても、急ブレーキや衝突したときなどに十分に支えることができずお子さまがケガをするおそれがあり危険です。
- シートベルトが首やあごに当たる場合や腰骨にかからないような小さなお子さまはチャイルドシート、ジュニアシートを使用してください。使用しない場合、衝突のときなど強い圧迫を受けシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。また、ひとりすわりのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。
  なお、ベビーシートやチャイルドシート、ジュニアシートについてはトヨタ販売店にご相談ください。
  〈選択の目安〉

	体重(kg)	身長(cm)	参考年齢
ベビーシート	～10未満	75以下	～12ヵ月
チャイルドシート	7～18未満	105以下	6ヵ月～4才
ジュニアシート	15～32以下	135以下	4才～10才

- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- 妊娠中の女性や疾患のあるかたがシートベルトを着用する場合は、衝突のとき腹部などに強い圧迫を受けるおそれがありますので、医師にご相談のうえご使用ください。
- ほつれ、すりきれができたり、正常に作動しなくなったシートベルトはすぐに交換してください。また、事故により強い衝撃を受けたり、傷のついたシートベルトは使用しないですぐに新品と交換してください。そのまま使用すると衝突などのとき正常に働かず、十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- シートベルトの改造や取りつけ・取りはずしなどをしないでください。ベルトの効果が十分に発揮しないおそれがあります。シートベルトの取りつけ・取りはずし、交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。
- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、十分な効果が発揮できなくなるおそれがあります。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。

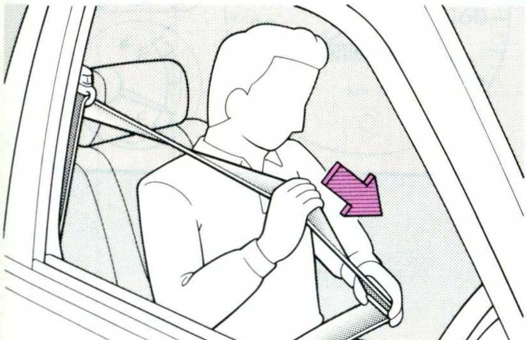


3点式シートベルト

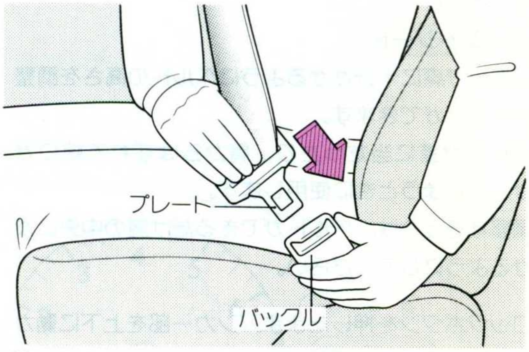
身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

①プレートを持って引き出し、ねじれていないことを確かめます。

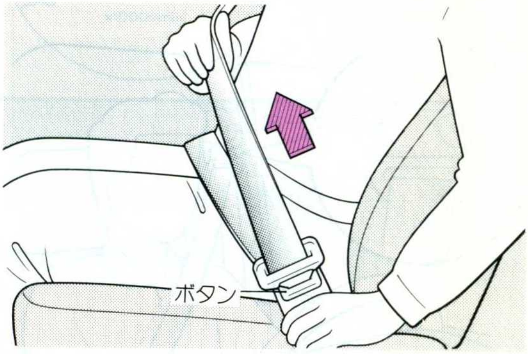
シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。



②プレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。



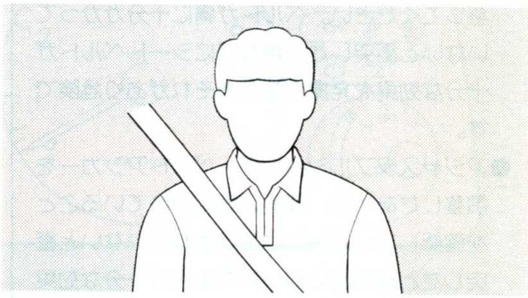
③ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。



④肩ベルトは必ず肩に十分かかるようにします。

このとき、ベルトが首に当たったり、肩からはずれないようにしてください。フロントシートでベルトが首に当たったり、肩からはずれてしまうときは、アジャスタブルショルダーベルトアンカーでベルトの高さを調整します。

アジャスタブルショルダーベルトアンカーの使い方は次ページをご覧ください。



⑤はずすときはバックルのボタンを押します。

アジャスタブルショルダーベルトアンカー

フロントシート

ベルトが肩に十分かかるようにベルトの高さを調整することができます。
ベルトが首に当たったり、肩からはずれて腕にかかってしまうときに使用します。
調整するときは、ベルトができるだけ肩の中央にかかるようにしてください。

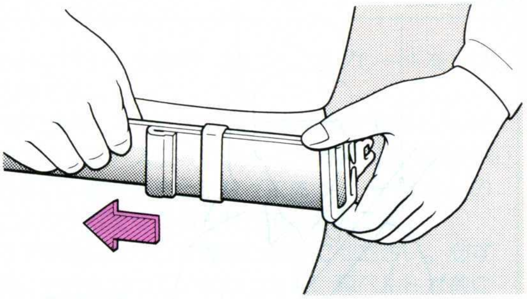
ロックボタンを押したままアンカー部を上下に動かし最適な位置で手を離します。
カチッと音がし、確実に固定されていることを確認します。

注 意

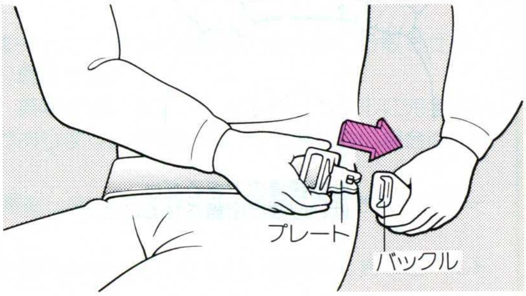
- シートベルトが首に当たらないように、また肩に十分かかるようできるだけ高い位置にアジャスタブルショルダーベルトアンカーを調整してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。
- アジャスタブルショルダーベルトアンカーを調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。

2点式シートベルト

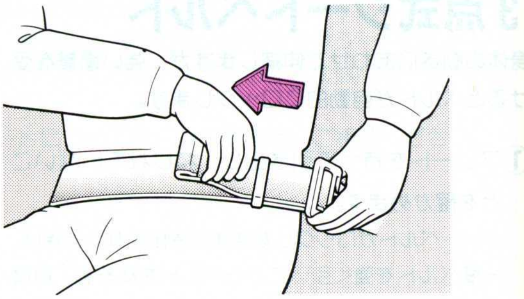
①ベルトを引いて必要な長さにします。



②ベルトにねじれがないようにし、プレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。



③ベルトを引いて必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。

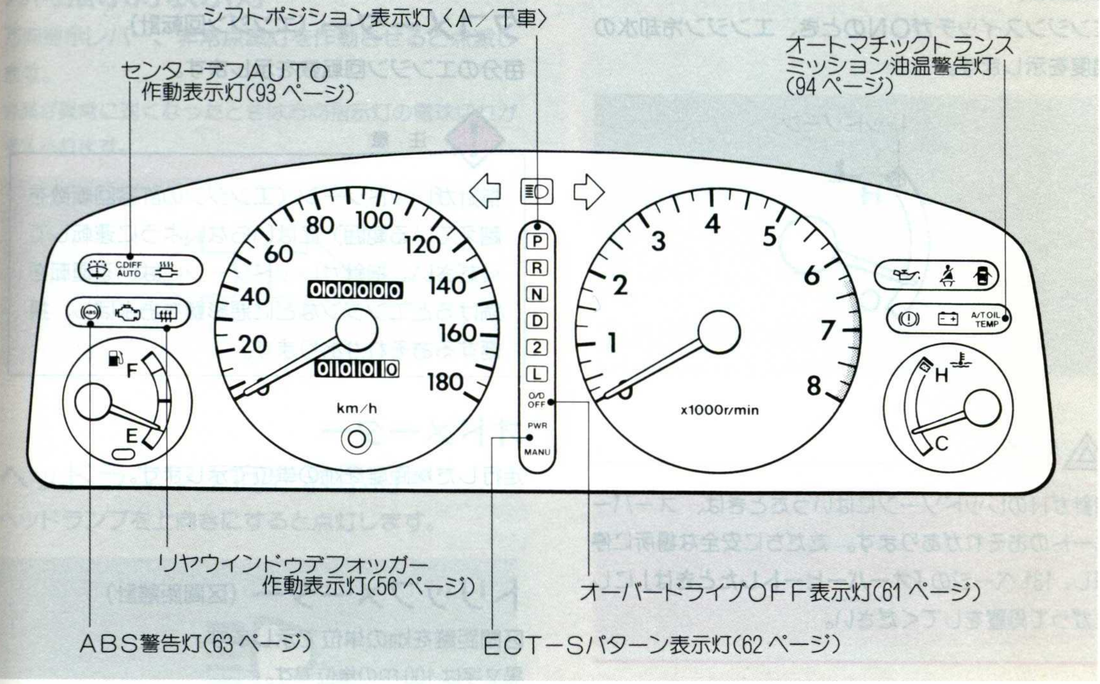


④はずすときはバックルのボタンを押します。

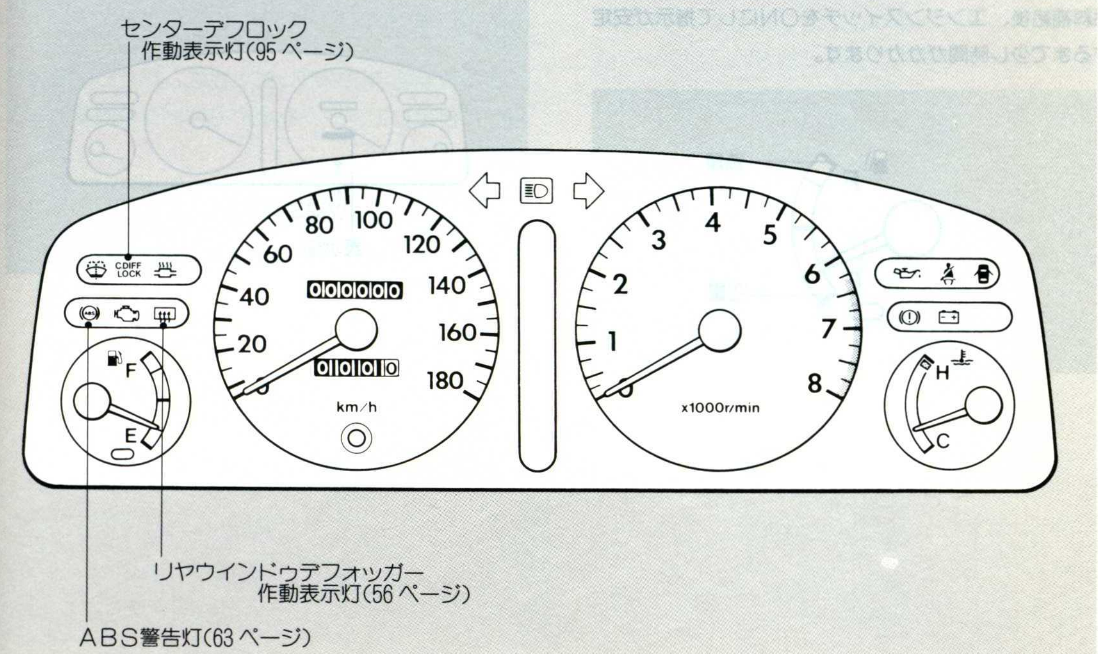
計器類は車の状態を知らせてくれるサイン。

メーター、表示灯、警告灯の見方

オートマチックトランスミッション車



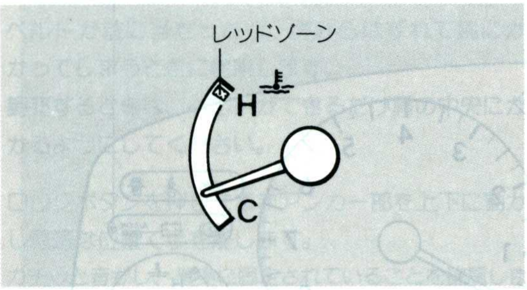
マニュアルトランスミッション車



メーター

水温計

エンジンスイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。



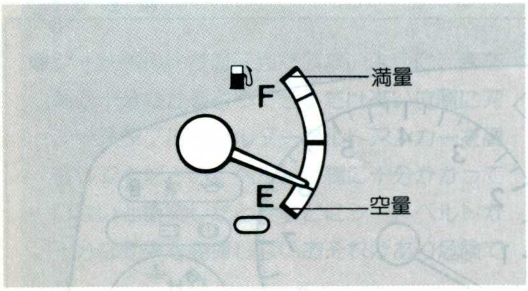
△ 処　置

指針がHのレッドゾーンにはいったときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、131ページの「**オーバーヒートしたときは**」にしたがって処置をしてください。

燃料計

燃料残量を示します。

燃料補給後、エンジンスイッチをONにして指示が安定するまで少し時間がかかります。



スピードメーター

車両の走行速度を示します。

タコメーター（エンジン回転計）

毎分のエンジン回転数を示します。

注　意

指針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数を越えている範囲）にはいらないように運転してください。指針がレッドゾーンにはいる運転を続けるとエンジンなどに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。

オドメーター

走行した総距離を㎞の単位で示します。

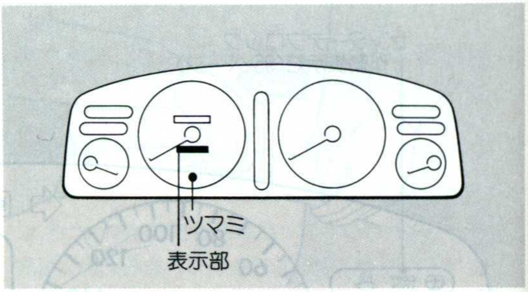
トリップメーター（区間距離計）

区間距離を㎞の単位で示します。

黒文字は100ｍの単位です。

0にもどすには

ツマミを押します。

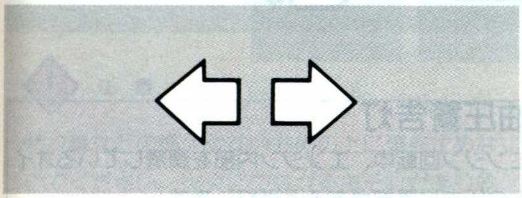


表示灯

方向指示灯表示灯

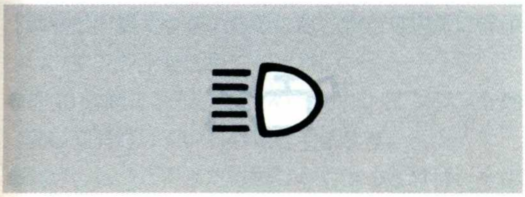
方向指示レバー、非常点滅灯を作動させると点滅します。

点滅が異常に速くなったときは方向指示灯の電球切れが考えられます。



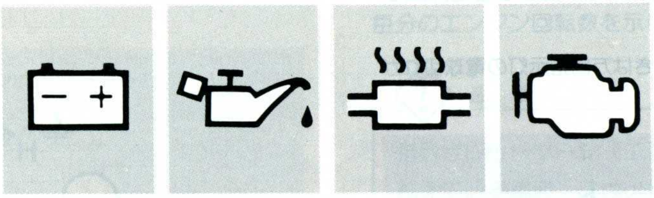
ヘッドランプ上向き表示灯

ヘッドランプを上向きにすると点灯します。



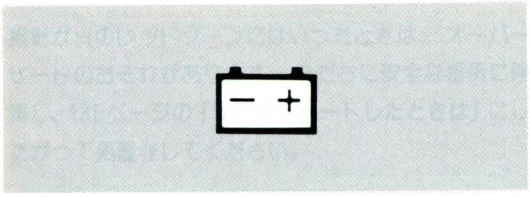
警告灯

下図の警告灯は、エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけて消灯すれば正常です。
エンジンがかかっているときに警告灯が点灯したときは、異常を知らせていますので次の処置が必要です。



充電警告灯

エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。このとき、排気温警告灯、オートマチックトランスミッション油温警告灯（オートマチック車）も異常の有無にかかわらず同時に点灯します。



処 置

エンジン回転中に点灯したときは、ファンベルトの切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。

油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力に異常があると点灯します。

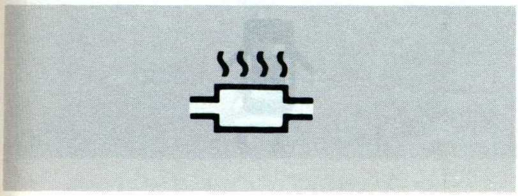
「油圧警告灯」はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ず運行前にオイルレベルゲージにより行ってください。
（点検方法は**「メンテナンスノート」**を参照してください。）

処 置

エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車しエンジンを止めて、トヨタ販売店へご連絡ください。

排気温警告灯

エンジン回転中、触媒装置の温度が異常に高くなると点灯します。



注 意

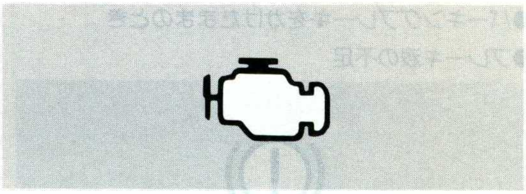
枯れ草などの燃えやすいものの上に車を止めないでください。火災につながるおそれがあり危険です。

処 置

- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに枯れ草などの燃えやすいもののない安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。
- 約 10 分間エンジンを止めたあと、エンジンを始動して消灯していれば走行できます。
- 消灯しないときまたは再び点灯するときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で点検を受けてください。

エンジン警告灯

エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。



処 置

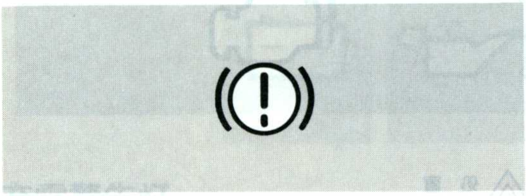
エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

ブレーキ警告灯

エンジンスイッチがONで次のような場合に点灯します。

●パーキングブレーキをかけたままのとき

●ブレーキ液の不足



処置

●エンジン回転中にパーキングブレーキを解除しても点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。

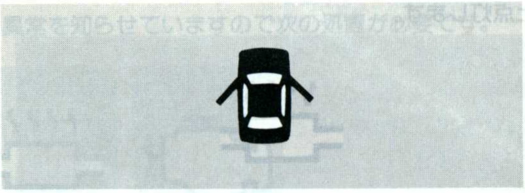
●この場合ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。

走行中、異音(キーキー音)が発生したときは

ブレーキ(ブレーキパッド)の摩耗が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

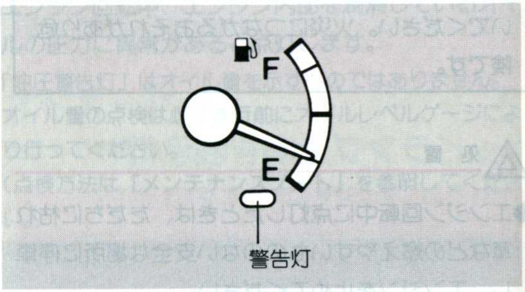
半ドア警告灯

ドアが確実に閉まっていないときに点灯します。



燃料残量警告灯

エンジンスイッチがONのとき約８ℓ以下になると点灯します。



処置

点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。

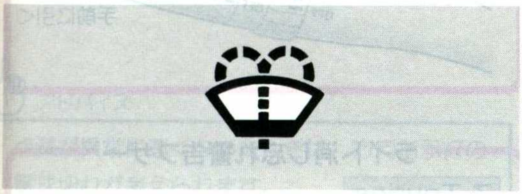
シートベルト警告灯

エンジンスイッチをONのとき運転席シートベルトを着用していないと点灯します。

ウォッシャー液量警告灯

Z Touring、V Touring

エンジン回転中、ウォッシャータンク内のウォッシャー液が規定量以下になると点灯します。



クリアな視界でセーフティドライブ。

視界の確保

注 意

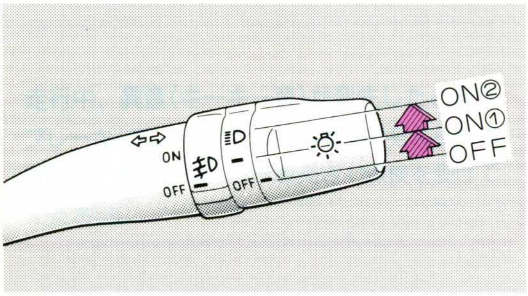
完全に充電されたバッテリーでも、エンジンを停止した状態で長時間ライト類を点灯しないでください。バッテリーあがりをおこし、エンジンの始動ができなくなります。

ライトスイッチ

エンジンスイッチに関係なく使用できます。

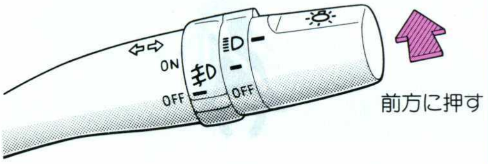
レバーをまわすとON①、ON②の位置で、下表○印のランプが点灯します。

灯 火 名	ON①	ON②
ヘッドランプ	ー	○
車幅灯、尾灯	○	○
番 号 灯	○	○
計器照明灯	○	○

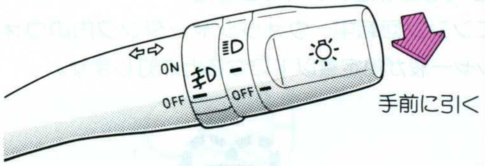


ヘッドランプを遠くまで照らすには

レバーを前方に押します。
ヘッドランプが上向きのときは計器内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



ライトスイッチがOFFでもレバーを手前に引いている間、ヘッドランプが上向きとなります。
計器内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



ライト消し忘れ警告ブザー

Z Touring

ライトスイッチがONのまま、エンジンスイッチからキーを抜いて運転席側ドアを開くとブザーが鳴りランプ類の消し忘れを警告します。

方向指示レバー

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

●レバーを上または下へ操作すると、左または右側の方向指示灯が点滅します。計器内にある方向指示灯表示灯も点滅します。

レバーはハンドルをもどすと自動的にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

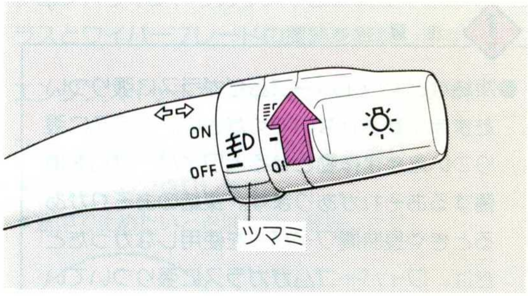
●車線変更などのときには、レバーを軽く上または下へ押さえている間、それぞれの方向指示灯および方向指示灯表示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

アドバイス

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。

フォグランプスイッチ★

ライトスイッチがONのとき使用できます。
ツマミをまわします。



★印はグレード等により装着の有無が異なります。

ワイパー&ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

注　意

●凍結などでワイパーゴムがガラスに張りついたまま作動させないでください。ガラスに張りついたまま作動させるとワイパーゴムを損傷するおそれがあります。凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに張りついていないことを確認してください。
●ガラスが乾いているときにワイパーを作動させないでください。ガラスを傷つけるおそれがあります。必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。
●寒冷時は、ウインドゥガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントガラスに凍りつき視界不良をおこすおそれがあります。
●ウォッシャー液が出ないとき、長時間そのままで作動させないでください。ポンプが故障するおそれがあります。

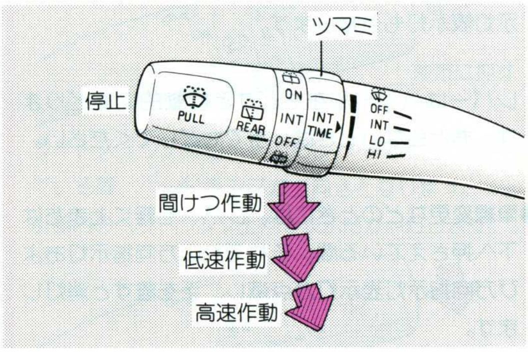
アドバイス

●ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。その場合は、一度ワイパースイッチをOFFにし、10分ほどして再度スイッチをONにしてください。
●積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてエンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。

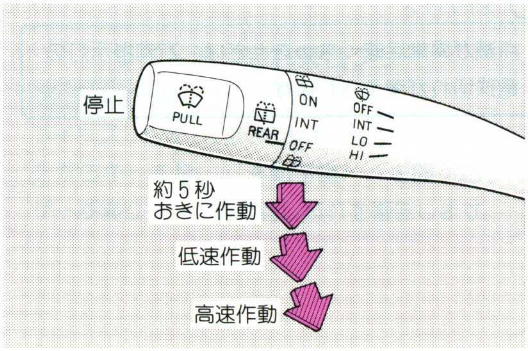
フロント

■間けつ時間調整式ワイパー★

ＩＮＴ位置のときツマミをまわすと、間けつ時間を約3～12秒の間で調整できます。



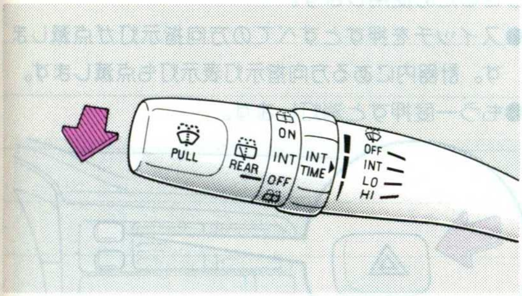
■間けつワイパー★



★印はグレード等により装着の有無が異なります。

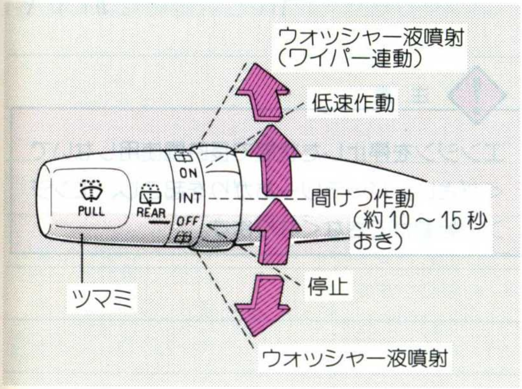
■ウォッシャー液の噴射方法

レバーを手前に引きます。
Z-Touring はワイパーが数回作動します。



リヤ

ツマミを図のようにまわすと作動します。



■ウォッシャー液の噴射方法

- ツマミをＯＦＦの位置から下の 側にまわすとウォッシャー液が噴射されます。
- 低速作動中にウォッシャー液を噴射させるときはONの位置から上の 側にまわします。

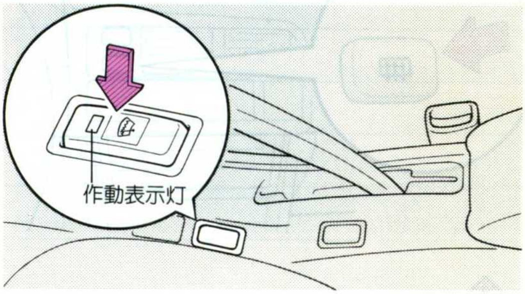
熱線入りフロントウインドゥシールドガラススイッチ★

フロントウインドゥガラス下部の表面を暖めて、ガラスとワイパーブレードの凍結を解除します。

エンジンスイッチがＯＮのとき使用できます。

スイッチを押すと約 15 分間作動します。

- 作動表示灯が点灯します。
- 途中で止めたいときはもう一度押します。



注 意

連続して使用することは、できるだけ避けてください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。

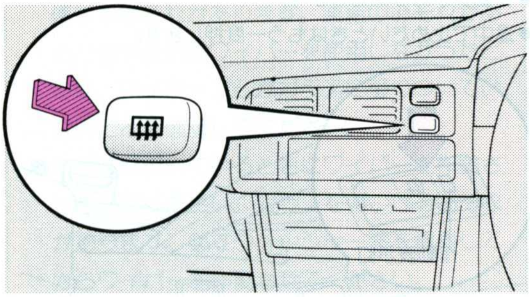
リヤウインドゥデフォッガー(曇り取り)スイッチ

リヤウインドゥガラスの曇りを取ります。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

●スイッチを押すと作動します。
- ●計器内の作動表示灯が点灯します。

●もう一度押すと停止します。



注 意

連続して使用することは、できるだけ避けてください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。

アドバイス

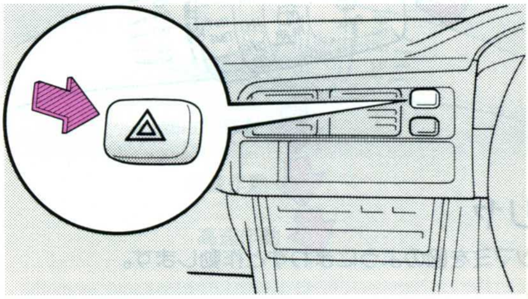
リヤウインドゥガラスの曇りが消えたら、スイッチは必ず切ってください。スイッチをいれたままにしておくと、バッテリーあがりの原因になります。

非常点滅灯スイッチ

故障などでやむをえず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。

●スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。計器内にある方向指示灯表示灯も点滅します。

●もう一度押すと消灯します。



注 意

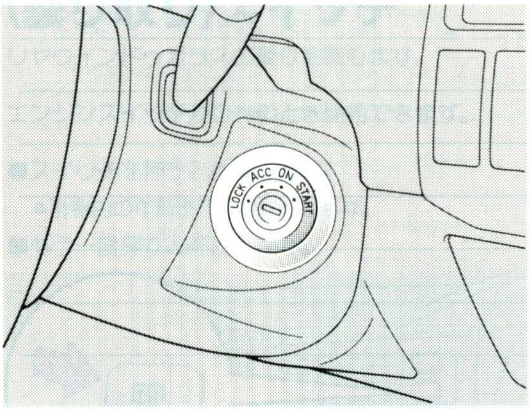
エンジンを停止した状態で長時間使用しないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

MEMO

正しい操作がスムーズな走りの基本。

運転装置

エンジンスイッチ



各位置の働き

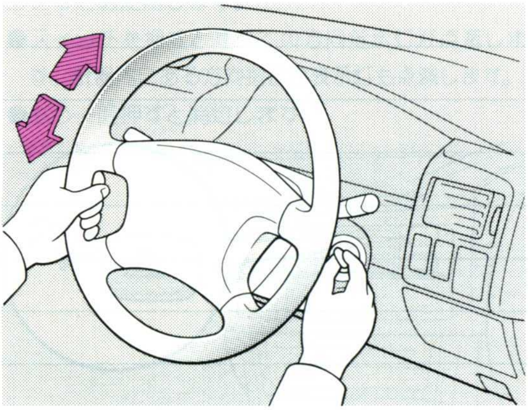
LOCK（ロック）	**キーを抜き差しできる位置。** キーを抜くとハンドルがロックされます。
ACC（アクセサリー）	**エンジン停止時、次のものが使用できる位置。** オーディオ、シガレットライター、電動リモコンミラー
ON（オン）	**エンジン回転中の位置。**
START（スタート）	**エンジンを始動する位置。**

注 意

> エンジン停止時はエンジンスイッチをＬＯＣＫにしてください。エンジンスイッチをＯＮまたはＡＣＣのまま放置すると、バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。

LOCKからACCにまわすとき

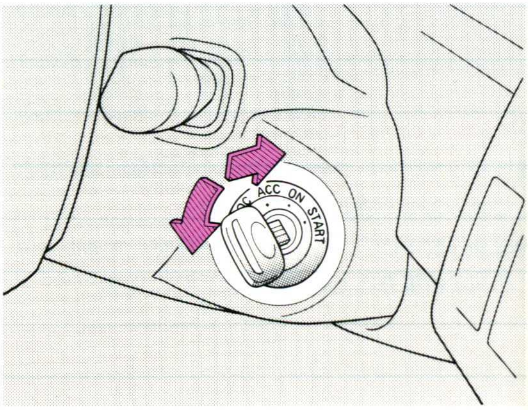
キーがまわりにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーをまわします。



ACCからLOCKにまわすとき

キーを押しながらまわします。

オートマチック車は、チェンジレバーがⓅの位置にないとまわせません。

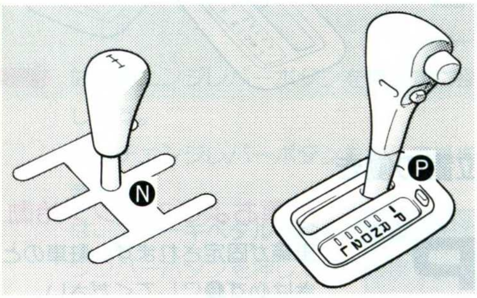


エンジンのかけ方

エンジンをかけるまえに

①パーキングブレーキをかけていることを確認します。

②チェンジレバーを、マニュアル車はⓃ、オートマチック車はⓅの位置（Ⓝでも始動できますが、安全のためⓅで行ってください。）にあることを確認します。



エンジンのかけ方

①エンジンスイッチをスタート位置にまわしエンジンを始動します。
アクセルペダルを踏まずに行います。

②エンジンがかかったらしばらく暖機運転をします。
暖機が終われば自動的にエンジン回転が下がります。

パーキングブレーキ

注 意

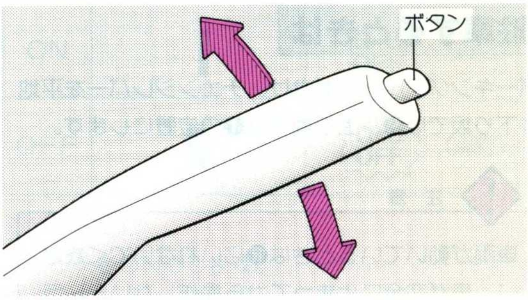
パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。
ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

駐車するときは

ボタンを押さずにレバーをいっぱいまで引きます。

もどすときは

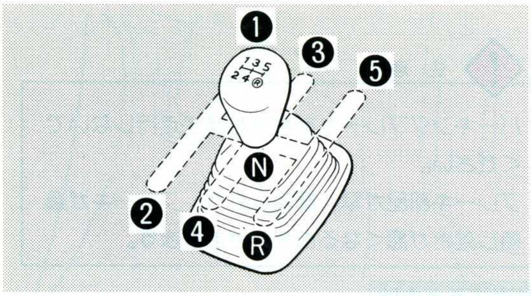
レバーを少し引き上げながら先端のボタンを押さえて、もどします。



ホーン

周辺部を押します。

マニュアルトランスミッション



Ⓡにいれるときは

❺→Ⓡへは直接いれることができません。
いったんⓃにしてからⓇへいれます。

駐車するときは

パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーを平地や下り坂ではⓇ、上り坂では❶の位置にします。

注 意

車両が動いているときはⓇにいれないでください。車が完全に止まってから操作しないとトランスミッションを損傷するおそれがあります。

各シフト位置での速度限界

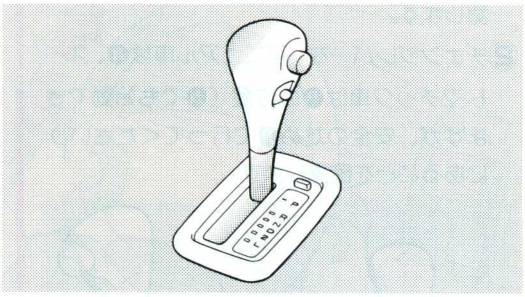
エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

（単位：km/h）

シフト位置 ＼ エンジン型式	4A−FE	7A−FE
1速	40	40
2速	70	70
3速	110	105
4速	155	145

オートマチックトランスミッション

16ページの「オートマチック車の正しい運転のしかた」もあわせてお読みください。



各位置の働き

P（パーキング）
駐車およびエンジン始動
車輪が固定されます。駐車のときは必ずⓅにしてください。（Ⓟでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。）

R（リバース）
後退
ブザーが鳴りⓇにあることを運転者に知らせます。

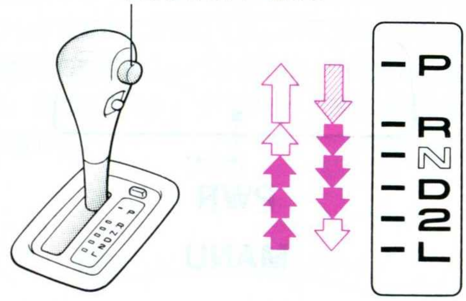
N（ニュートラル）
動力が伝わらない状態
Ⓝでもエンジンは始動できますが、安全のためⓅで行ってください。

D（ドライブ）
通常走行
スピードに応じてギヤが自動的にかわります。

2（セカンド）
下り坂走行
エンジンブレーキが必要な場合に使います。

L（ロー）
急な下り坂走行
強力なエンジンブレーキが必要な場合に使います。

チェンジレバーの動かし方



➡ は、チェンジレバーボタンを**押さずに**操作します。

⇨ は、チェンジレバーボタンを**押して**操作します。

⇨（斜線）は、**ブレーキペダルを踏んだまま、**チェンジレバーボタンを押して操作します。

注 意

➡の操作はレバーボタンを押さずに操作してください。いつもレバーボタンを押して操作していると意に反してⓅ、ⓇまたはⓁにいれてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- エンジンスイッチがACCまたはLOCKのときにブレーキペダルを踏んでもⓅからレバー操作できません。
- Ⓟからレバー操作するときに、チェンジレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。

各シフト位置での速度限界

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

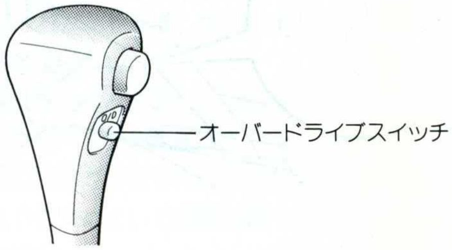
（単位：km/h）

シフト位置 ＼ エンジン型式	4A−FE	7A−FE
L	55	55
2	100	100

オーバードライブ（O／D）スイッチ

ギヤ比の高い4速ギヤ（オーバードライブギヤ）を備えています。

スイッチをONにしておくとⒹの位置で走行中、4速ギヤにはいり、燃費性能と静粛性を高めます。



	スイッチの状態	表示灯
ON		O/D OFF （消灯）
OFF		O/D OFF （点灯）

■通常走行

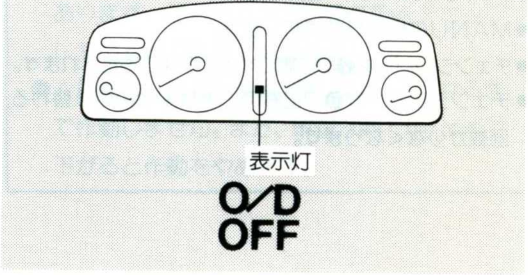
スイッチをONにします。

■坂道走行

スイッチをOFFにすると下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。

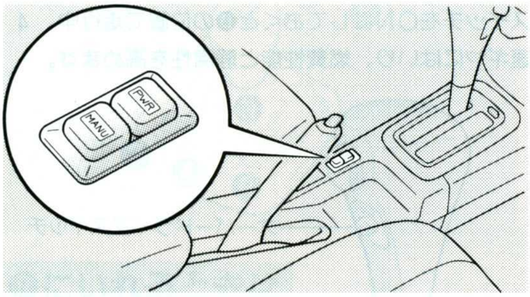
上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。

■オーバードライブOFF表示灯



ECT－Sパターンセレクトスイッチ★

走行・使用条件にあわせて走行パターンを選択できます。



■通常走行

スイッチを両方とも押さない状態にします。

- 表示灯は点灯しません。
- スイッチが押し込まれているときは、そのスイッチをもう一度押します。

■スポーティ走行

パワフルな運転や山間地での運転などに使用します。

PWRのスイッチを押します。
PWRの表示灯が点灯します。

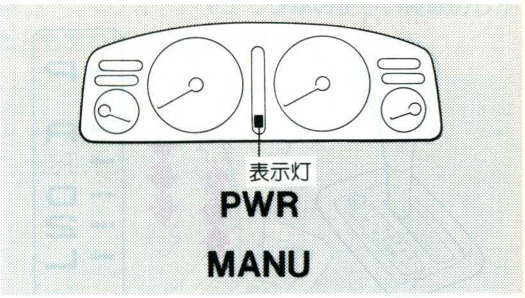
■マニュアル走行

雪道など、すべりやすい路面で発進するときに使用します。

MANUのスイッチを押します。

- MANUの表示灯が点灯します。
- チェンジレバーを❷の位置にすると２速に固定されます。
- チェンジレバーが❶の位置のときはギヤの切り替わる回数が少なくなります。

■パターン表示灯



処　置

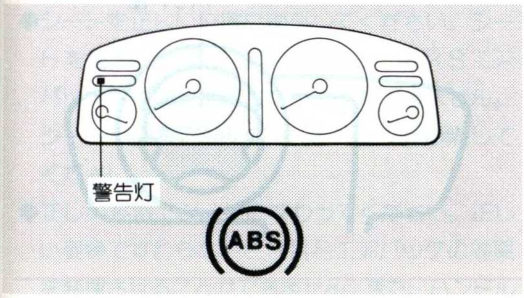
走行中（オーバードライブスイッチがONのとき）オーバードライブOFF表示灯が点滅したときは、装置の異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

ABS★

急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。ABSは、このような制動時の車輪のロックを自動的に防止することにより、車両の方向安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

■ABS警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

処　置

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき

警告灯が点灯しているときは、ABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。

なお、走行中に点灯しても、その後消灯し再度点灯しなければ正常です。

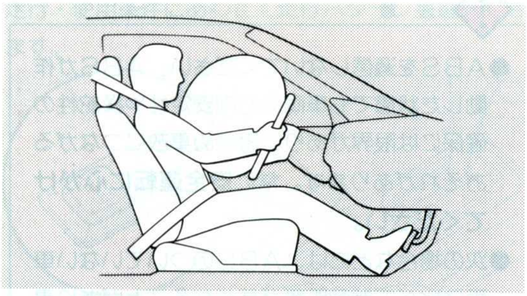
注　意

- ABSを過信しないでください。ABSが作動した状態でも車両の方向安定性や操舵性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に**安全運転に心がけてください。**
- 次の場合などには、ABSのついていない車両に比べて制動距離が長くなることがあり事故につながるおそれがあります。とくに速度をひかえめにして**車間距離を十分とってください。**
  - ・ジャリ道、新雪路を走行しているとき
  - ・タイヤチェーンを装着しているとき
  - ・道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
  - ・凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき

アドバイス

- ブレーキペダルを踏んだとき、作動音とともにペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。さらにブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- エンジン始動時や始動後の発進直後にエンジンルームからモーター音等が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- ABSは、発進後車速が約10㎞/hになるまで作動しません。また、車速が約5㎞/hまで下がると作動をやめます。

SRSエアバッグ



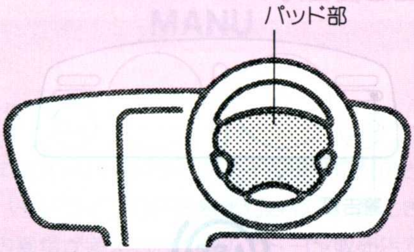
ＳＲＳ*エアバッグは、運転者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて乗員の顔、頭や胸などの上体に作用する衝撃力を分散、緩和させる機能をもちます。

シートベルトは必ず着用してください。（42ページ参照）

＊ＳＲＳはSupplemental Restraint Systemの略で、乗員保護補助装置の意味

処置

- ＳＲＳエアバッグは一度ふくらむと再使用できません。必ずトヨタ販売店で交換してください。
- ＳＲＳエアバッグが収納されているパッド部に傷がついていたり、ひび割れがあるときはトヨタ販売店で交換してください。



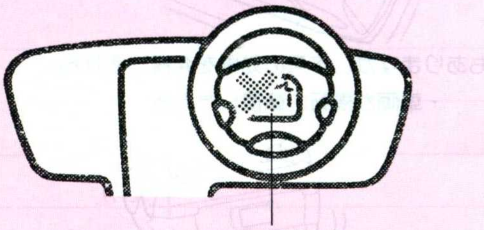
注 意

●**シートベルトを正しく着用してください。**
SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置でシートベルトに代わるものではありません。
シートベルトを正しく着用しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。
シートベルトの着用については42ページを参照してください。

●シートを正しい位置に調整してください。シートを正しい位置に調整しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。
シートの調整については36ページを参照してください。

●正しい姿勢でシートにすわってください。正しい姿勢ですわらないとSRSエアバッグの効果を発揮させることができません。また、ハンドルに近づきすぎると、SRSエアバッグがふくらんだときにケガをするおそれがあり危険です。
正しい姿勢については36ページを参照してください。

●パッド部をカバーやステッカーなどでおおわないでください。また、パッド部を手で強くたたくなどの衝撃をあたえないでください。パッド内にはエアバッグユニットが組み込まれているため、誤ってふくらんだり、正常に作動しなくなるおそれがあります。



●SRSエアバッグがふくらんだあとに、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。
SRSエアバッグがふくらんだあとは、構成部品が大変熱くなっていますので、やけどをするおそれがあり危険です。

●SRSエアバッグの取りつけ・取りはずし、分解などをしないでください。また、SRSエアバッグを修理するときは必ずトヨタ販売店で行ってください。SRSエアバッグを不適切にあつかうと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみケガをするおそれがあり危険です。

●サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあり危険です。

●車両前部にグリルガードやウインチなどを装着する場合は、必ずトヨタ販売店にご相談ください。車両前部の改造をするとSRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあり危険です。

●車やSRSエアバッグを廃棄するときは必ずトヨタ販売店にご相談ください。SRSエアバッグが思いがけなく作動し、ケガをするおそれがあり危険です。

アドバイス

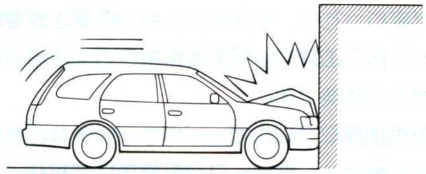
●衝突により車両前部が大きく変形しても、衝撃吸収ボデー構造※により乗員への衝撃は大きくならない場合がありますので、車両の変形、損傷とＳＲＳエアバッグの作動とは必ずしも一致しません。

※衝撃吸収ボデー構造は、衝突時の衝撃をボデーの前部を変形させることにより吸収します。

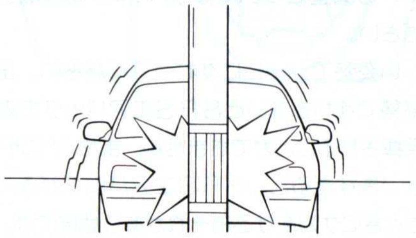
●ＳＲＳエアバッグは強い前面衝突時において、シートベルトが体を拘束する働きとあわせて乗員の顔、頭や胸などの上体が受ける重大な傷害を軽減する装置です。したがってシートベルトを正しく着用している乗員が重大な傷害を受けるおそれのない衝突では、ＳＲＳエアバッグは作動しにくくなっています。

●ＳＲＳエアバッグは衝突によりボデーが車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。例えば、次のようなボデーが受ける衝撃が弱い場合には、ＳＲＳエアバッグは作動しません。

・衝突時に変形、移動しないコンクリートのような固い壁に約 20 ㎞/ｈ以下の速度で正面衝突したとき



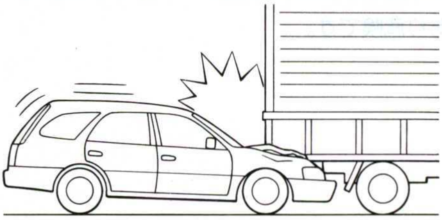
・衝突時に変形、移動しない電柱や立木などに約 30 ㎞/ｈ以下の速度で正面衝突したとき



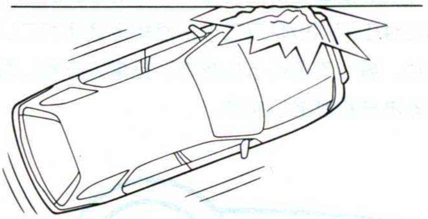
●衝突したものが変形したり移動した場合は、衝突による衝撃が緩められるため、ＳＲＳエアバッグの作動する車速は高くなります。例えば、停車中の同程度の重さの車への衝突の場合には、約 50 ㎞/ｈ程度の速度であってもＳＲＳエアバッグは作動しないことがあります。

●次のような場合も衝突による衝撃が緩められるため、ＳＲＳエアバッグが作動しないことがあります。

・トラックの荷台下へもぐりこみ衝突したとき

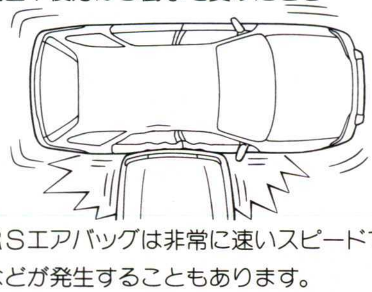


・前方の斜めの方向から衝撃を受けたとき



●次のような場合はＳＲＳエアバッグが作動する場合もありますが、本来の効果を発揮しません。

・側面や後方から衝撃を受けたとき



・車両が横転、転覆したとき

●ＳＲＳエアバッグは非常に速いスピードでふくらむため、ＳＲＳエアバッグとの接触により打撲やすり傷などが発生することもあります。

●ＳＲＳエアバッグが作動すると作動音とともに白い煙のようなガスが発生しますが火災ではありません。また人体への影響もありません。

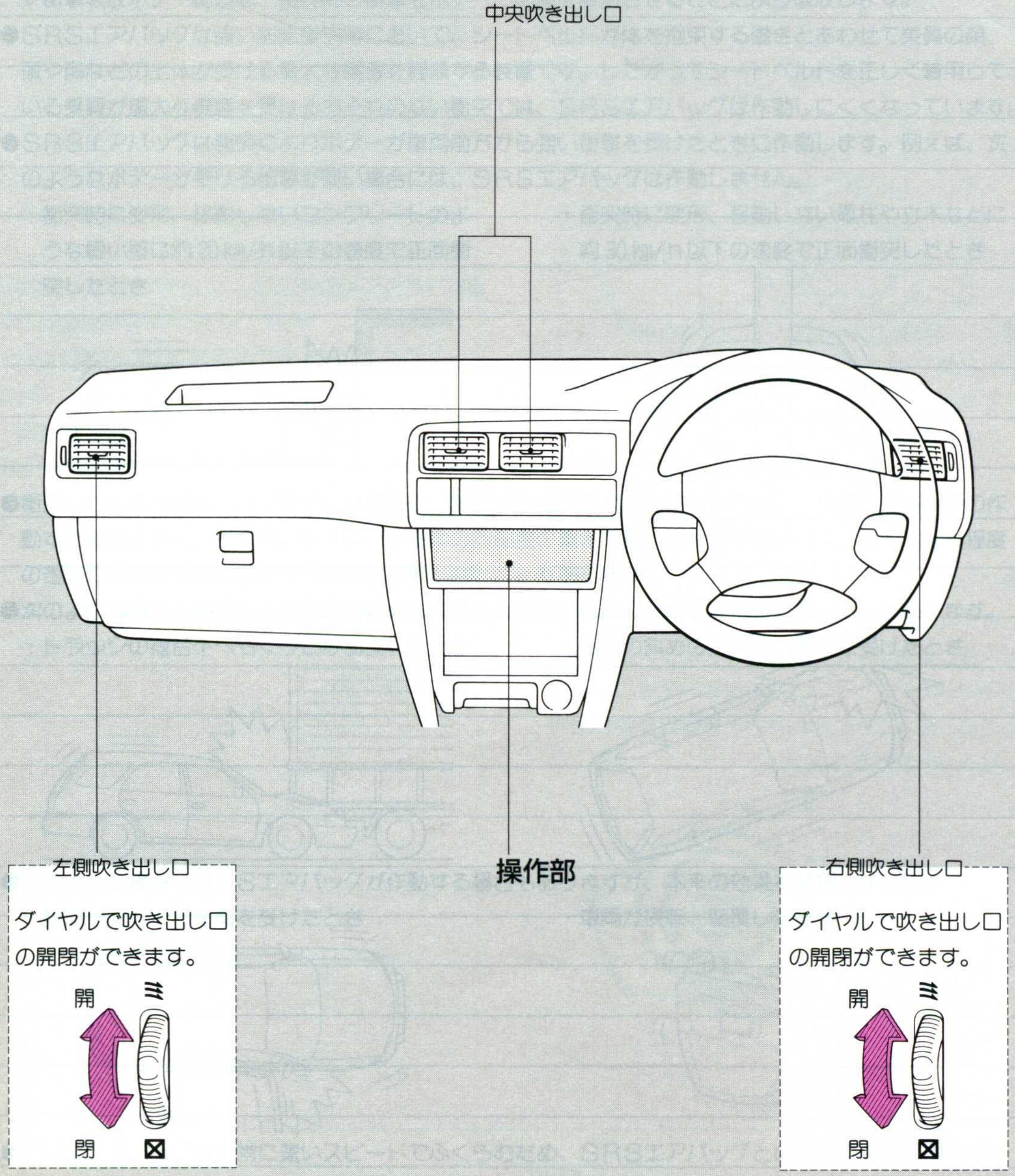
●一度作動したＳＲＳエアバッグは、２回目以降の衝突では再作動しません。

MEMO

さわやか室内、快適ドライブ。

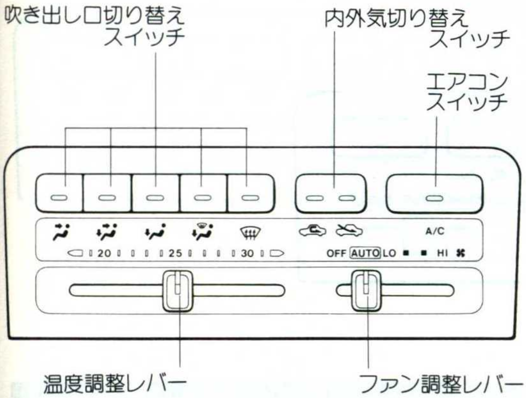
空調

吹き出し口は風向きをかえることができます。



オートエアコン★

通常の使い方



①温度調整レバーを希望温度にします。

設定温度を極端に変更しても希望温度に達する時間はかわりません。

②吹き出し口切り替えスイッチを押し、お好みの位置にします。

③ファン調整レバーをAUTOの位置にします。

風量が自動調整されます。

④エアコンスイッチを押します。

冷房・除湿機能が作動します。

⑤内外気切り替えスイッチを押し（外気導入側）にします。

以上の操作で常に快適な状態に保つことができます。

アドバイス

> トンネル内や渋滞など外気がよごれているときや早く冷暖房したいときは内外気切り替えスイッチを押して（内気循環側）にしてください。

作動を止めたいときはファン調整レバーをOFFの位置にします。

ガラスの曇りを取るには

①吹き出し口切り替えスイッチのを押します。

にすれば曇りを取るのと同時に足元にも送風できます。

②内外気切り替えスイッチを（外気導入側）にします。

温度、風量は好みに合わせて調整してください。

アドバイス

> ①②の操作に加えて、次の操作を行うと、より早くガラスの曇りが取れます。
> - ●エアコンを作動させる。（エアコンスイッチを押す。）
> - ●風量を増す。（ファン調整レバーを操作する。）
> - ●設定温度を上げる。（温度調整レバーを操作する。）

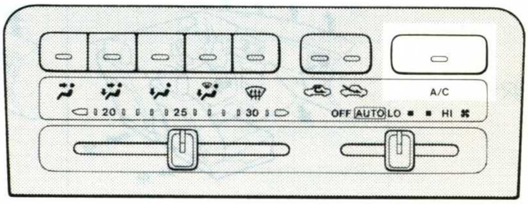
各スイッチの使い方

■エアコンスイッチ

エアコン（冷房、除湿機能）の作動・停止ができます。ファン調整レバーが作動中のときエアコンを作動させることができます。

スイッチを押すごとに作動と停止に切り替わります。

作動中は表示灯が点灯します。



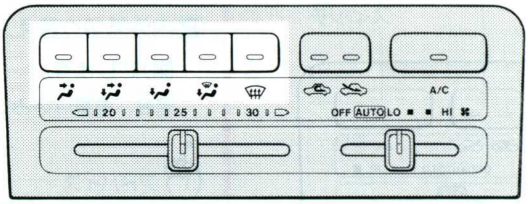
アドバイス

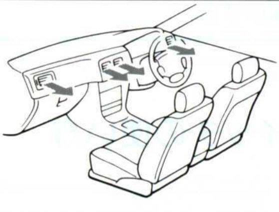
> 外気温が0℃近くまで下がると作動しません。

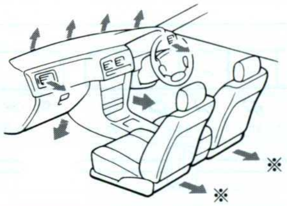
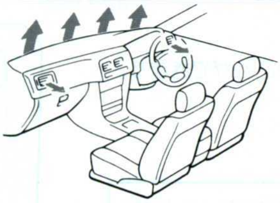
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

■吹き出し口切り替えスイッチ

使用目的にあった吹き出し口を選択することができます。



使用目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき	足元に送風したいとき
スイッチ			
吹き出し口			

使用目的	足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき	窓ガラスの曇りを取りたいとき
スイッチ		
吹き出し口		

※寒冷地仕様車のみ

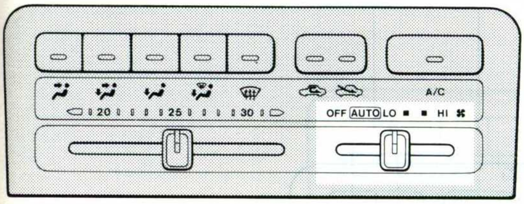
アドバイス

●吹き出し口を または にして窓ガラスの曇りを取るときは、内外気切り替えスイッチを （外気導入側）にします。

●吹き出し口切り替えスイッチを の位置にし、温度調整レバーを中間温度で使用すれば、暖められた風が足元から、比較的温度の低い風が中央および左右から吹き出します。

■ファン調整レバー

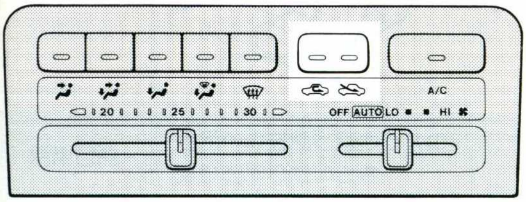
風量を切り替えることができます。

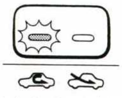


AUTO：風量を自動調整し希望温度に保ちます。
LO：弱風
■：中風
HI：強風
OFF：停止

■内外気切り替えスイッチ

外気導入（外気を車内にいれる）、内気循環（外気をしゃ断する）の切り替えができます。



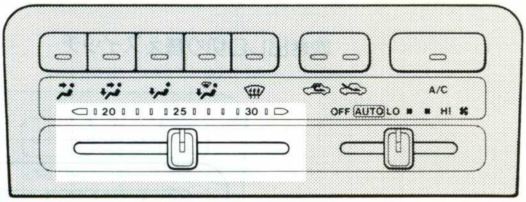
表示灯	使用目的
（外気導入側）	通常走行時
 （内気循環側）	トンネルや渋滞など外気がよごれているときや早く冷暖房したいとき

注意

長時間、内気循環にしないでください。ガラスが曇りやすくなります。

■温度調整レバー

設定温度を 18℃ ～ 32℃ の間で調整できます。



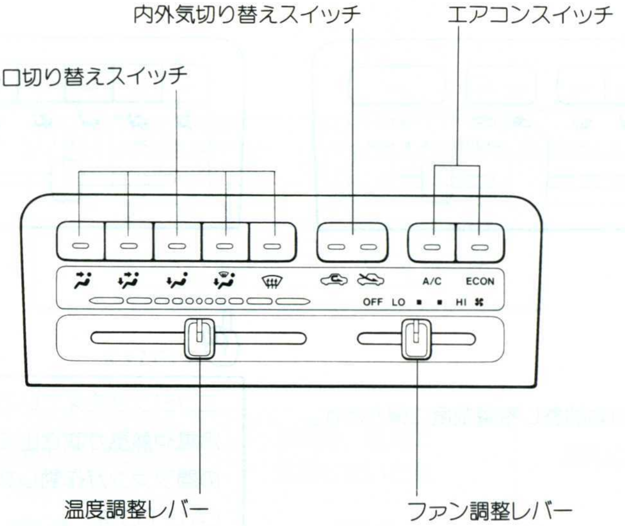
アドバイス

エンジンが冷えているときや気温が高いときは冷風や熱風が吹き出るのを防ぐため、しばらくの間ファンが作動しないことがあります。（AUTO時）

処置

冷房・除湿効果が悪いときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

プッシュ式エアコン★

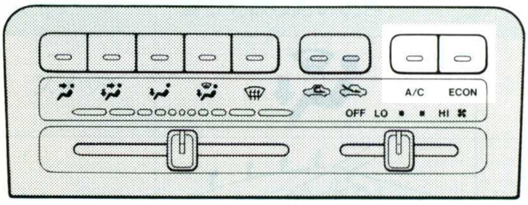


各スイッチの使い方

■エアコンスイッチ

エアコン(冷房、除湿機能)の作動・停止ができます。ファン調整レバーが作動中のときエアコンを作動させることができます。

スイッチを押すごとに作動と停止に切り替わります。
作動中は表示灯が点灯します。



A／C　：急速に冷房や除湿がしたいとき
ECON：通常の冷房や除湿がしたいとき

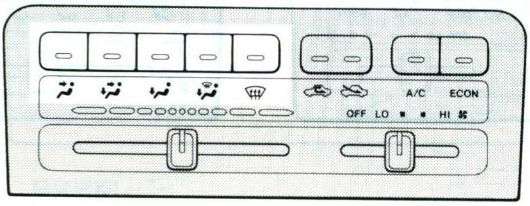
アドバイス

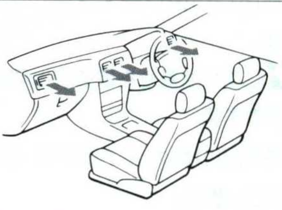
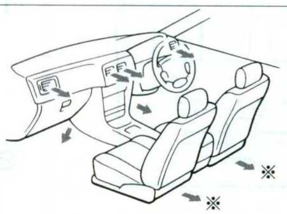
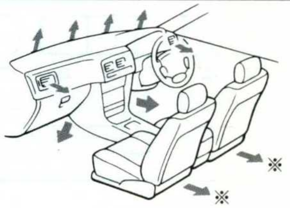
外気温が0℃近くまで下がると作動しません。

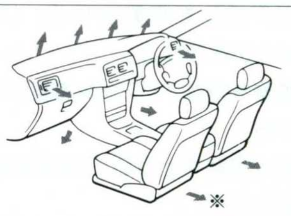
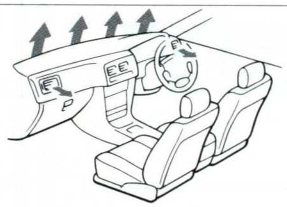
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

■吹き出し口切り替えスイッチ

使用目的にあった吹き出し口を選択することができます。



使用目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき	足元に送風したいとき
スイッチ			
吹き出し口		 ※	 ※

使用目的	足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき	窓ガラスの曇りを取りたいとき
スイッチ		
吹き出し口	 ※	

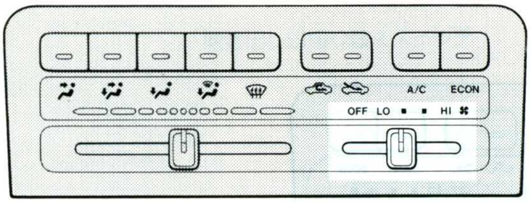
※寒冷地仕様車のみ

アドバイス

- ●吹き出し口を　または　にして窓ガラスの曇りを取るときは、内外気切り替えスイッチを（外気導入側）にします。
- ●吹き出し口切り替えスイッチを　の位置にし、温度調整レバーを中間温度で使用すれば、暖められた風が足元から、比較的温度の低い風が中央および左右から吹き出します。

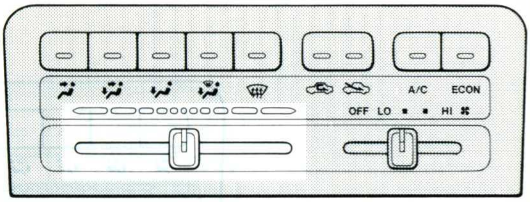
■ファン調整レバー

風量を４段階に切り替えることができます。



■温度調整レバー

低温から高温まで無段階に調整できます。

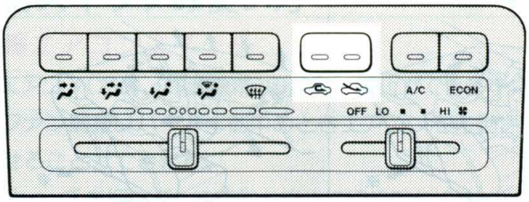


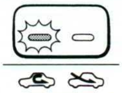
△ 処　置

冷房・除湿効果が悪いときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

■内外気切り替えスイッチ

外気導入（外気を車内にいれる）、内気循環（外気をしゃ断する）の切り替えができます。



表示灯	使用目的
（外気導入側）	通常走行時
 （内気循環側）	トンネルや渋滞など外気がよごれているときや早く冷暖房したいとき

注　意

長時間、内気循環にしないでください。ガラスが曇りやすくなります。

ガラスの曇りを取るには

①吹き出し口切り替えスイッチの（デフロスター）を押します。

（足元・デフロスター）にすれば曇りを取るのと同時に足元にも送風できます。

②内外気切り替えスイッチを（外気導入側）にします。

温度、風量は好みに合わせて調整してください。

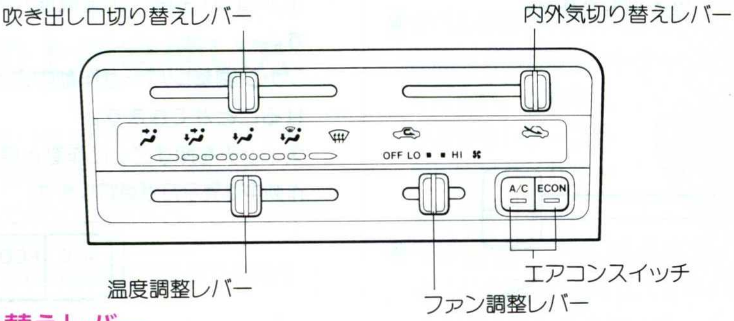
アドバイス

①②の操作に加えて、次の操作を行うと、より早くガラスの曇りが取れます。

- エアコンを作動させる。（エアコンスイッチを押す。）
- 風量を増す。（ファン調整レバーを操作する。）
- 設定温度を上げる。（温度調整レバーを操作する。）

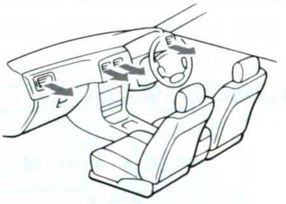
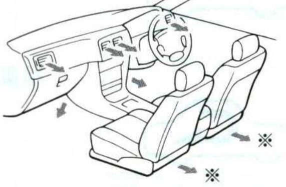
レバー式エアコン、ヒーター★

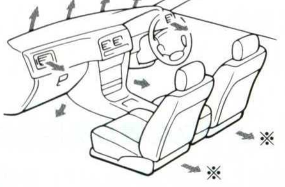
各レバーの使い方



■吹き出し口切り替えレバー

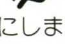
使用目的にあった吹き出し口を選択することができます。

使用目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき	足元に送風したいとき
レバー位置			
吹き出し口		 ※ ※	※ ※

使用目的	足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき	窓ガラスの曇りを取りたいとき
レバー位置		
吹き出し口	 ※ ※	

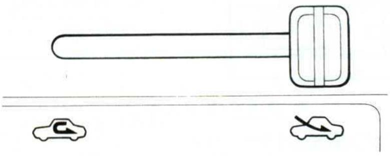
※寒冷地仕様車のみ

アドバイス

●吹き出し口を  または にして窓ガラスの曇りを取るときは、内外気切り替えレバーを （外気導入側）にします。
●吹き出し口切り替えレバーを の位置にし、温度調整レバーを中間温度で使用すれば、暖められた

■内外気切り替えレバー

外気導入（外気を車内にいれる）、内気循環（外気をしゃ断する）の切り替えができます。



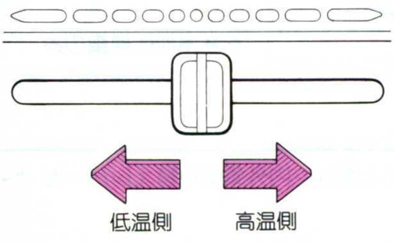
使用目的	レバー位置
外気を導入している状態で通常はこの位置でお使いください。	
外気をしゃ断している状態でトンネルや渋滞など外気がよごれているときや早く冷暖房したいとき	

注 意

長時間、内気循環にしないでください。ガラスが曇りやすくなります。

■温度調整レバー

低温から高温まで無段階に調整できます。



■エアコンスイッチ

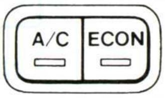
エアコン付き車

エアコン（冷房、除湿機能）の作動・停止が出来ます。

ファン調整レバーが作動中のときエアコンを作動させることができます。

スイッチを押すごとに作動と停止に切り替わります。

作動中は表示灯が点灯します。



Ａ／Ｃ　：急速に冷房や除湿がしたいとき

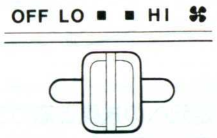
ＥＣＯＮ：通常の冷房や除湿がしたいとき

アドバイス

外気温が0℃近くまで下がると作動しません。

■ファン調整レバー

風量を4段階に切り替えることができます。



処 置

冷房・除湿効果が悪いときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

ガラスの曇りを取るには

①吹き出し口切り替えレバーをにします。
　にすれば曇りを取るのと同時に足元にも送風できます。

②内外気切り替えレバーを（外気導入側）にします。
　温度、風量は好みに合わせて調整してください。

カーライフを元気にするパートナー。

オーディオ

エンジンスイッチがＡＣＣまたはＯＮのとき使用できます。

オーディオの上手な使い方

注意

走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。

安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。

ラジオ

ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

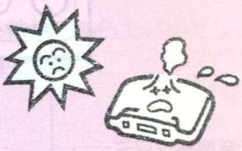
カセット

ヘッド周辺部(ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー)はよごれやすいので１カ月に１回程度はクリーニングテープでクリーニングしてください。

注意

- ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるカセットテープを使用しないでください。回転不良やカセットテープを取り出せなくなるおそれがあります。

- カセットテープは、90分以下用のものをご使用ください。90分をこえる長時間用テープはテープの厚さが非常に薄いため、カセットデッキに巻き込むおそれがあります。
- カセットテープは、直射日光を避けて保管してください。テープがひずみ使用できなくなるおそれがあります。



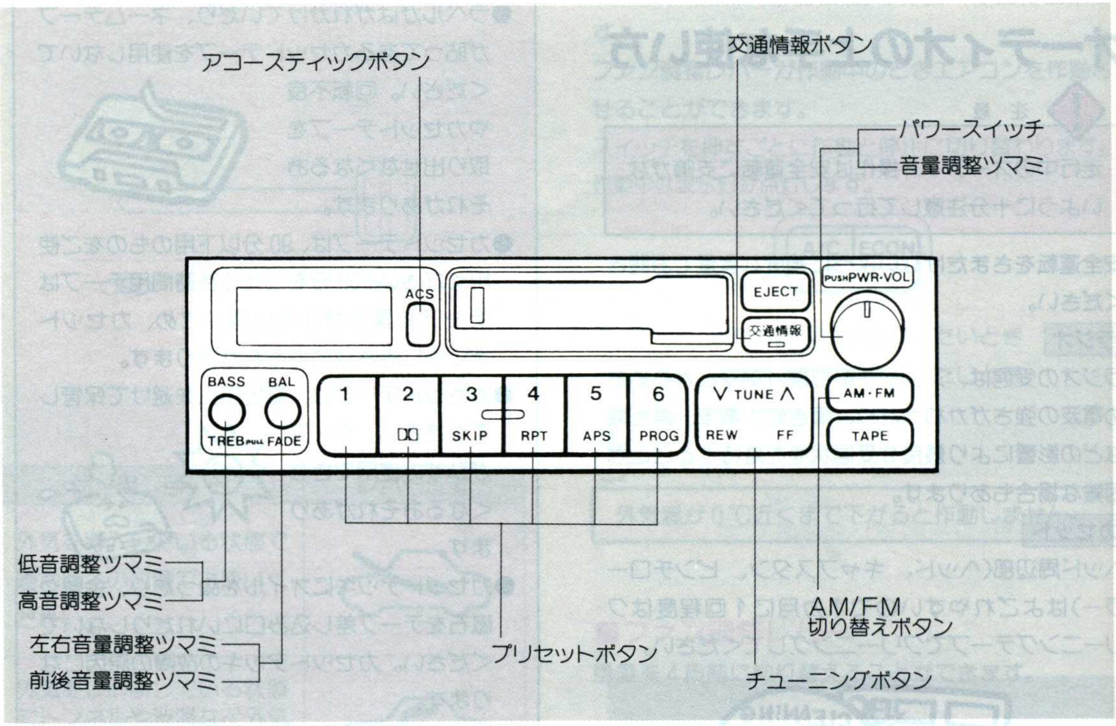
- カセットデッキにオイルをぬったり、金属や磁石をテープ差し込み口にいれたりしないでください。カセットデッキの故障の原因になります。

アンテナ

■引き出し式

ラジオを使用するときは、いっぱいに引き出します。

カセット一体AM／FMラジオ

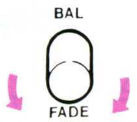


音量調整

●音量

左右音量はツマミを押し、とび出した状態で調整します。
前後音量は、ツマミをさらに手前に引いて調整します。

●左右音量



●前後音量

音質調整

アコースティックフレーバー

アコースティックボタンを押すごとに音質がかわります。

表示と働き

表　示	働　き
CLASSIC	フラットな音になります。
ROCK	低音が強調されます。
POPS	高音が強調されます。
JAZZ	低音と高音が強調されます。
VOCAL	中音域が強調されます。
DEFEAT	低音、高音の手動調整ができます。

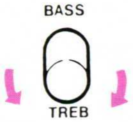
手動調整

低音はツマミを押し、とび出した状態で調整します。高音は、ツマミをさらに手前に引いて調整します。

DEFEAT 表示のときのみ調整できます。

●低音

●高音



ラジオを聞くには

①AM／FM切り替えボタンを押してAMまたはFM放送の選択をします。

②チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

■ラジオをとめるには

パワースイッチを押します。
もう一度押すと受信されます。

選局するには

■チューニングボタンで

∧側または∨側を押します。

ピッと音がするまで押し続ける(自動選局)

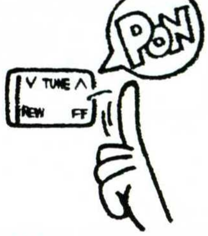
●受信したところでとまります。
●途中でとめたいときはもう一度押します。

アドバイス

受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

ポンと押す(手動選局)

1ステップずつ変化します。



■プリセットボタンで

通常よくお聞きになる放送局をあらかじめ記憶させておくことによりワンタッチで選局できます。

1～6までのボタンの1つを押します。

セットするには

①記憶させたい放送局をチューニングボタンで受信します。

②記憶させたいプリセットボタンをピッと音がするまで押し続けます。

アドバイス

●プリセットボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。
●バッテリーとの接続が断たれたときは記憶は消去されます。

交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域であらかじめセットしてある交通情報局が受信できます。

交通情報ボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。

アドバイス

●新車時には1620 kHzにセットしてあります。
●交通情報ボタンで受信中、チューニングボタン、プリセットボタンを押しても切り替わりません。

セットするには

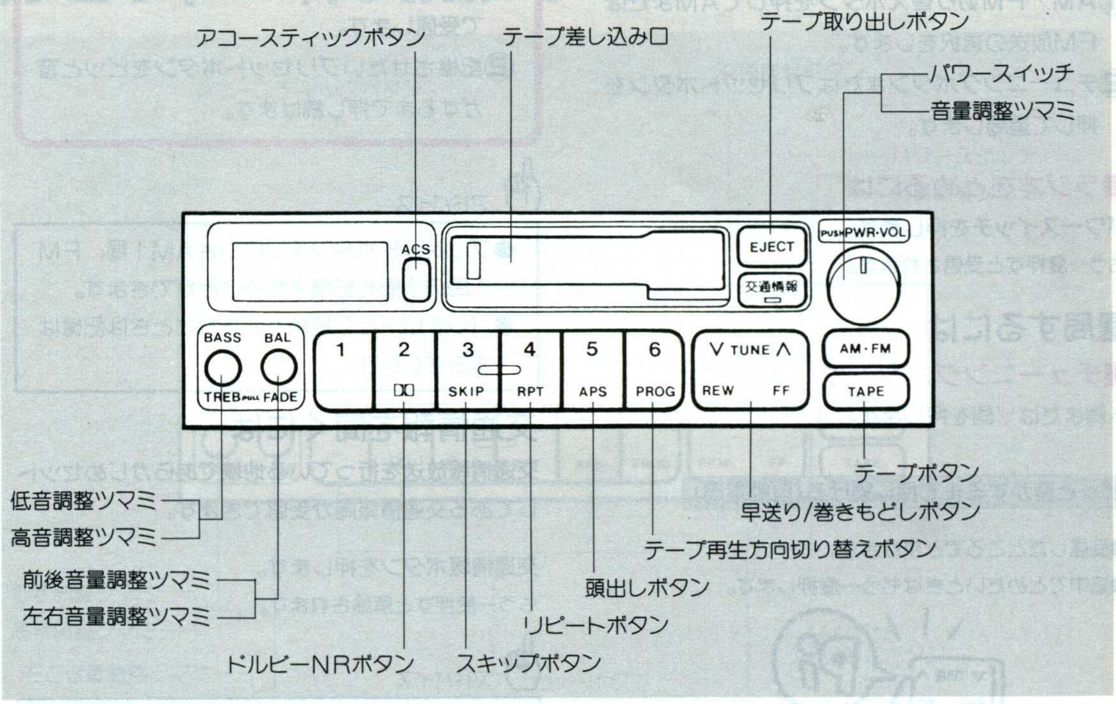
①チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせます。

②交通情報ボタンをピッと音がするまで押し続けます。

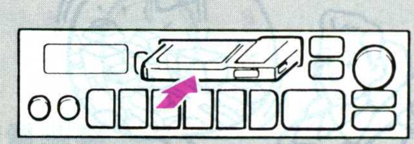
アドバイス

バッテリーとの接続が断たれたときは1620 kHzになります。

テープを聞くには



テープ差し込み口にテープを差し込みます。
テープが差し込まれているときは、テープボタンを押します。



■テープをとめるには

パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生されます。

■テープを取り出すには

テープ取り出しボタンを押します。
テープが自動的に押し出されます。

ドルビー※(B)NRで録音されたテープを使用するときは

ドルビーNRボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。
※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 ▯▯ は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

再生方向をかえるには

テープ再生方向切り替えボタンを押します。

早送り・巻きもどしをするには

早送りがしたいときは早送り／巻きもどしボタンのＦＦ側を、巻きもどしがしたいときはＲＥＷ側を押します。

とめるときはもう一度押すか、テープボタンを押します。

頭出しをするには

いまお聞きになっている曲の前後９曲の中から希望曲の頭出しができます。

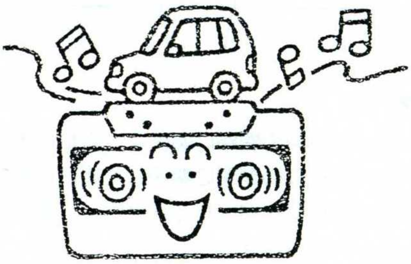
①頭出しをしたい曲までの曲数だけ（３曲目の場合は３回）頭出しボタンを押します。

巻きもどしのときは、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。

②早送り／巻きもどしボタンを押します。

- 早送りをするときはＦＦ側
- 巻きもどしをするときはＲＥＷ側

解除するときはもう一度押すか、テープボタンを押します。



アドバイス

> 次の場合は正常に作動しないことがあります。
> - 曲と曲の間の無音部分が約３秒以下のとき
> - 曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

アドバイス

> 次の場合は正常に作動しないことがあります。
> - 曲と曲の間の無音部分が約３秒以下のとき
> - 曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分をとばして聞くには

スキップボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

アドバイス

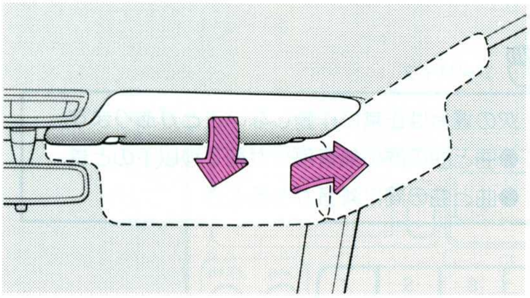
> 次の場合は正常に作動しないことがあります。
> - 曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
> - 曲と曲の間に雑音があるとき
> - 曲の始めと終わりが明確でないとき

とても便利な小物たち。

室内装備

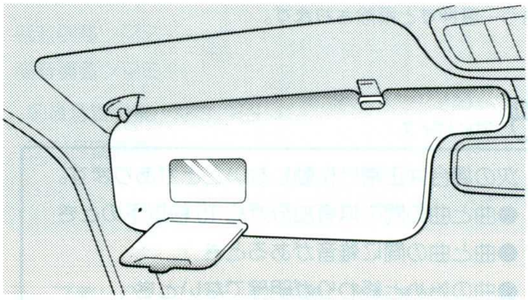
サンバイザー

横からの日差しがまぶしいときは側面にまわすこともできます。



バニティーミラー★

助手席サンバイザーの裏側にあります。

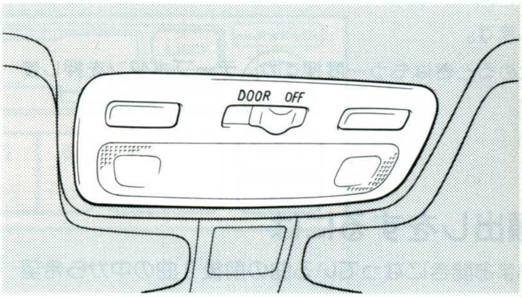


室内灯

フロント

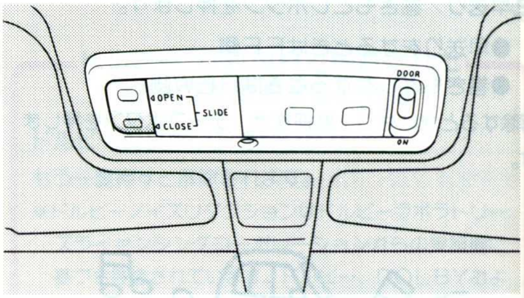
ムーンルーフなし車

OFF……ドアの開閉に関係なく消灯します。
DOOR……ドアを開けたとき点灯し、閉じると消灯します。



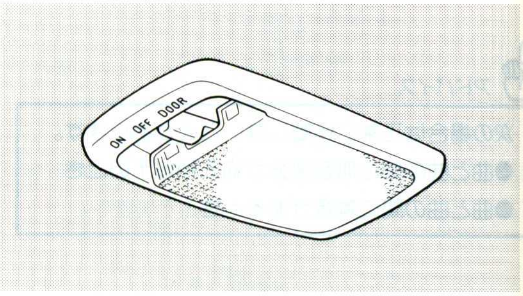
ムーンルーフ付き車

ON…………ドアの開閉に関係なく点灯します。
OFF(中立)…ドアの開閉に関係なく消灯します。
DOOR……ドアを開けたとき点灯し、閉じると消灯します。



リヤ

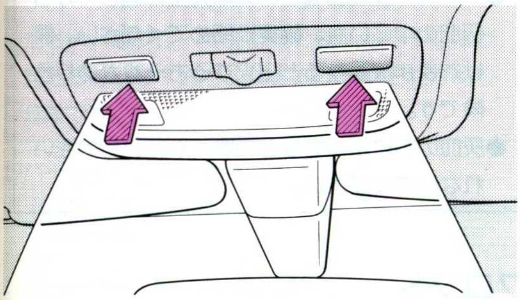
ON…………ドアの開閉に関係なく点灯します。
OFF………ドアの開閉に関係なく消灯します。
DOOR……ドアを開けたとき点灯し、閉じると消灯します。



★印はグレード等により装着の有無が異なります。

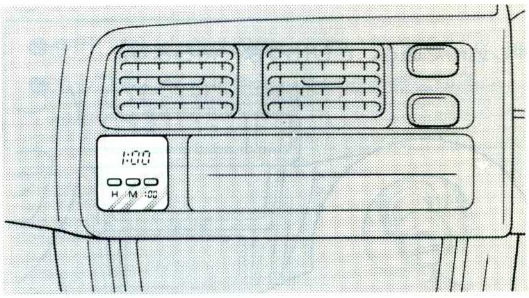
スポットライト★

スイッチを押すと点灯します。
もう一度押すと消灯します。



時計

エンジンスイッチがACCまたはONのとき時刻が表示されます。

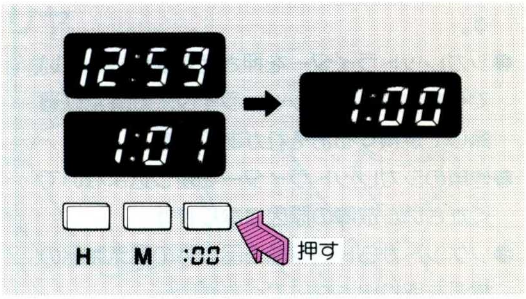


■時報にあわせるときは

:00 ボタンを押すと時刻は次のように修正されます。

● 0～29分は切り下げられます。

● 30～59分は切り上げられます。



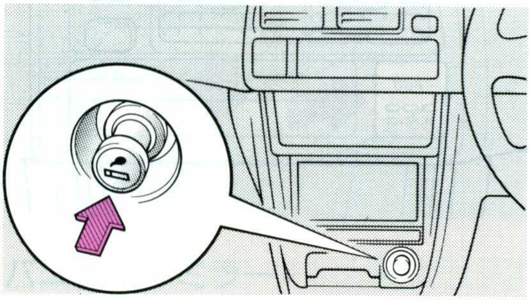
■"時""分"を調整するときは

Hボタンを押すと"時"、Mボタンを押すと"分"が早送りされます。

シガレットライター

エンジンスイッチがＡＣＣまたはＯＮのとき使用できます。

押し込んだあと、とび出すまで待ちます。



注　意

- シガレットライターの金属部分に触れないでください。やけどをするおそれがあり危険です。
- シガレットライターを押さえたままにしないでください。シガレットライターが異常に過熱して焼損するおそれがあります。
- 他車のシガレットライターを差し込まないでください。故障の原因になります。
- ソケットからトヨタ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。

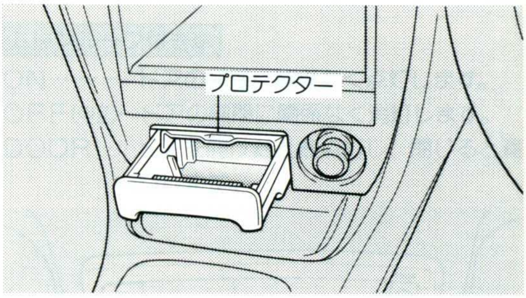
灰皿

注　意

- マッチ、タバコなどの火は完全に消してから灰皿の中にいれ、確実に閉めてください。開けたまま放置すると出火するおそれがあり危険です。
- 灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものをいれないでください。

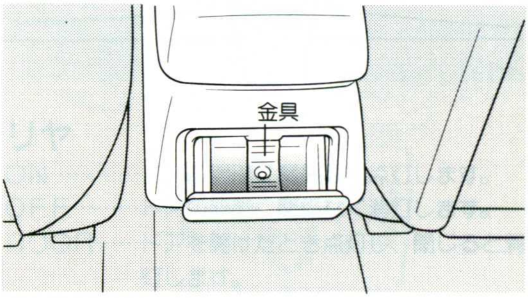
フロント

掃除をするときはプロテクターを下へ押したまま、ゆっくり引き出します。



リヤ

掃除をするときは金具を押さえて取りはずします。



アドバイス

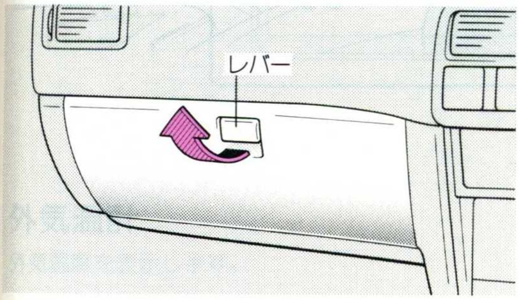
灰皿には吸いがらをためすぎないでください。

グローブボックス

注 意

グローブボックスを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたフタに体が当たるなどして思わぬケガをするおそれがあり危険です。

レバーを引くと開きます。



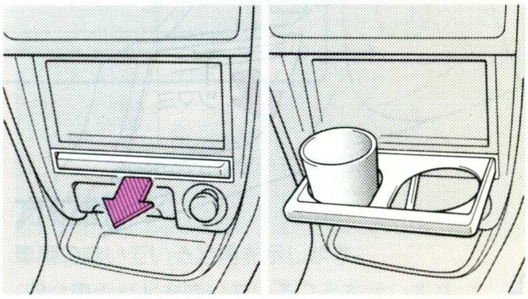
カップホルダー★

アドバイス

●使用しないときは収納しておいてください。
●カップホルダーを使用しているときは灰皿を使用できません。

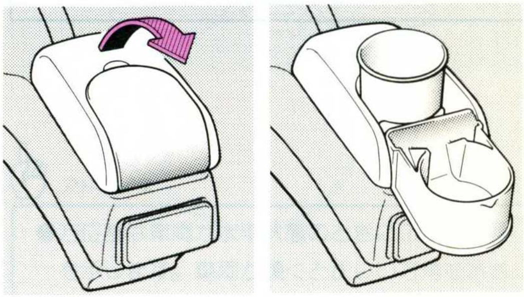
フロント

フタを引き出します。



リヤ

手前に引きます。



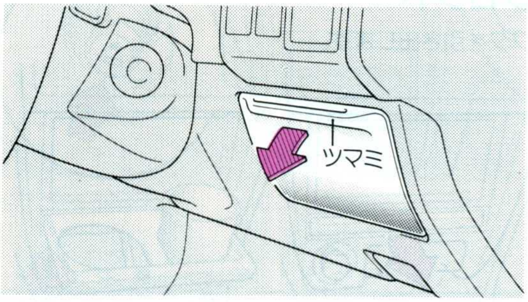
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

小物入れ

注 意

小物入れを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたフタに体が当たるなどして思わぬケガをするおそれがあり危険です。

ツマミを引くと開きます。



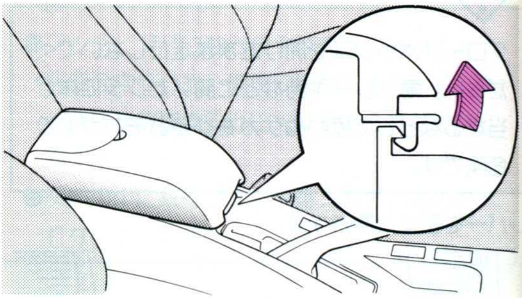
アドバイス

小物入れはヒューズのカバーもかねているため取りはずすことができます。

コンソールボックス

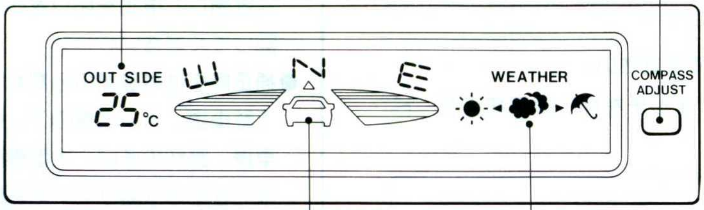
レバーを引きます。

閉じるときはカチッと音がするまで押します。



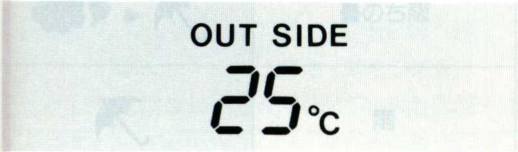
フィールドモニター(外気温計＋方位計＋天気モニター)★

エンジンスイッチがONのとき使用できます。



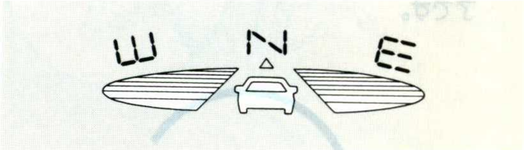
外気温計

外気温度を表示します。



方位計

車両の向いている方角を示します。
(図は車両が北を向いていることを示します。)



アドバイス

- 方位計は車両が水平状態のときに正しい方角を示します。車両が傾くと正しい方角を示さないことがあります。
- 次のような場所では地磁気が乱れているため、方位計が正しい方角を示さないことがあります。
  - 高架の下
  - 踏切
  - ビル街
  - 地下駐車場
  - 鉄橋
  - 大型車両の付近
  - トンネル
  - ビル屋外駐車場
  - 地下鉄の上
  - 変電所

  このような場所での補正作業を行わないでください。

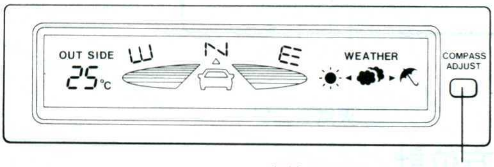
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

補正のしかた

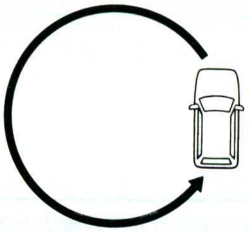
車両が着磁し、正しい方位を示さなくなったとき、図の車の絵が点滅します。

次の操作で補正してください。

①方位計補正用スイッチを押し旋回補正モードにします。



②車両をゆっくり旋回(1周半)させると補正終了です。

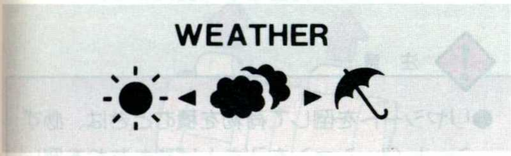


アドバイス

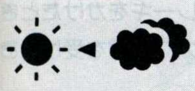
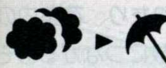
- 補正操作は駐車場のような広く平坦な場所で行ってください。
- 広い場所がない場合は、障害物がないことを確認して車両を切り返しながら1周半旋回してください。
- 補正操作は地磁気のみだれている場所（地下駐車場、テレビ塔の下、ビル街、屋上駐車場、踏切のそば、大型車両の近くなど）はできるだけ避けてください。
- バッテリーとの接続が断たれたときも同じ作業を行ってください。

天気モニター

現在より約 8 時間後の天気を予測して表示します。



■表示

	晴
	曇のち晴
	曇
	曇のち雨
	雨

アドバイス

バッテリーとの接続が断たれると、接続後約 24 時間は気圧変化を読みとるため、◀　▶ を表示します。

シートを倒せば、広い荷室に。

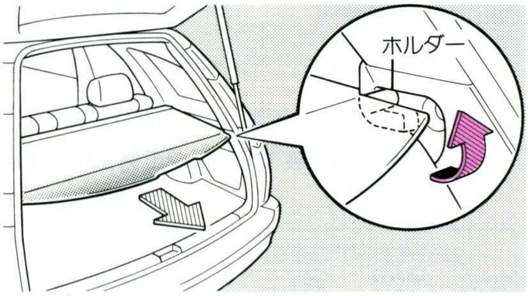
ラゲージスペース

トノカバー

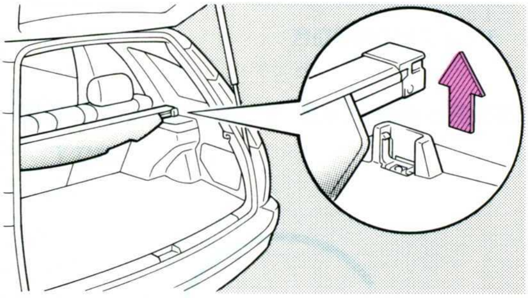
荷室をおおうためのものです。

カバーを引き出して、ホルダーにかけます。

格納するときはカバーをホルダーからはずし、ゆっくり巻き取らせます。



取りはずすときはカバー全体を上に持ち上げます。



注 意

トノカバーの上に荷物を置かないでください。急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、ケガをするおそれがあり危険です。

リヤシート

リヤシートを倒せば荷室として使えます。

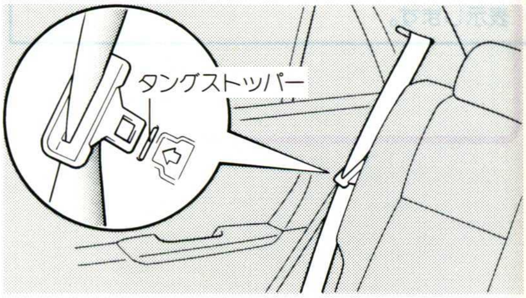
注 意

- リヤシートを倒して荷物を積むときは、必ずシートクッションを引き上げ背もたれを倒してから積んでください。背もたれだけを倒して荷物を積むと、急ブレーキで荷物が前方に飛び出すおそれがあり危険です。
- 倒した背もたれの上や荷室に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートをもとにもどしたときは、シートを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと急ブレーキ時などにシートが倒れたり、荷室内の物が飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。また、シートベルトがシートに引っかかっていないか確認してください。

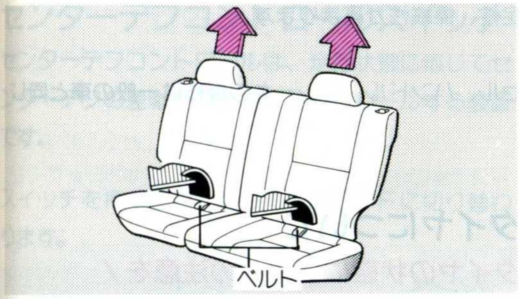
荷室の作り方

①フロントシートを前方に移動します。

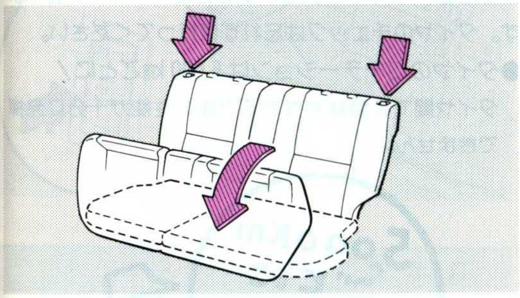
②シートベルトのプレートをタングストッパーに差し込みます。



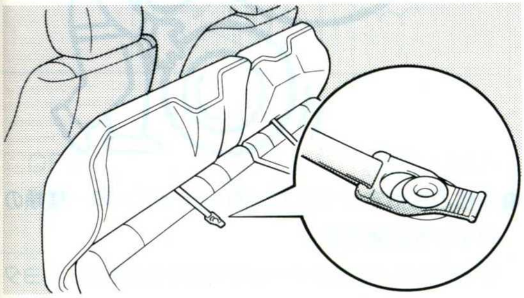
❸ヘッドレストをはずし、ベルトを引き上げてシートクッションを起こします。



❹固定ボタンを押して背もたれを前に倒します。

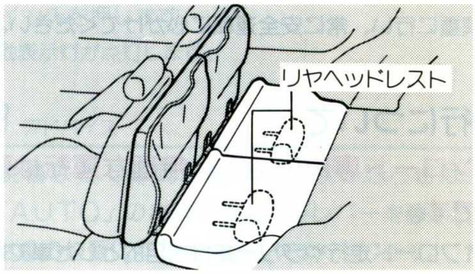


❺クッション上端を後方に押さえながら固定ベルトを背もたれ裏側のフックに引っかけます。



アドバイス

はずしたリヤヘッドレストは、フロアと背もたれの間に収納することができます。



フルタイム４WD

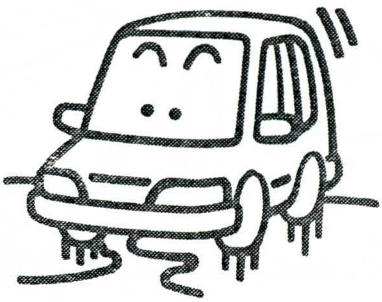
フルタイム４WDは常に４つのタイヤに駆動力が伝わるため、次のような走行に効果を発揮します。
- コーナーリング時の走行安定性、操縦性が高まります。
- 雪や雨などですべりやすい路面や急坂・悪路での走行安定性、操縦性が高まります。
- よりなめらかな発進、加速をすることができます。

フルタイム４WDといっても万能車ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転に心がけてください。

走行について

オンロード専用車です。無理な運転は禁物です。

- オフロード走行やラリー走行を目的とした車ではありません。必ず以下の点をお守りください。
  - 渡河などの水中走行はしない！
  - すべりやすい路面での走行は慎重に！

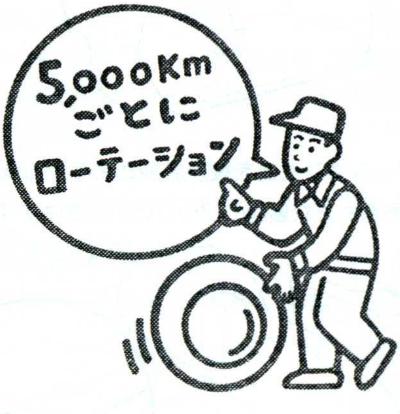


タイヤについて

タイヤの状態には細心の注意を！

フルタイム４WDは、４つのタイヤに常に駆動力がかかるため、タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤのチェックは忘れずに行ってください。

- タイヤのローテーションは5,000㎞ごとに！
  タイヤ間での摩耗差があると車の性能が十分に発揮できません。



- ４輪とも指定サイズで、同一サイズ・同一種類のタイヤを装着する！
  タイヤやディスクホイールを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- タイヤの空気圧の点検は定期的に！
  タイヤの空気圧が指定値と大きく異なるときは、車の性能が十分に発揮できません。
- タイヤチェーンは必ず前輪に！

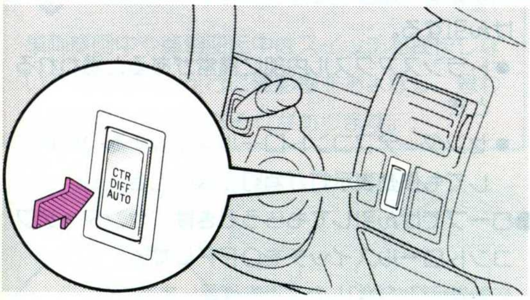
オートマチックトランスミッション車にお乗りのかたは次ページ、**マニュアルトランスミッション車（デフロック式）**にお乗りのかたは95ページ、**マニュアルトランスミッション車（ビスカスカップリング式）**にお乗りのかたは98ページよりお読みください。

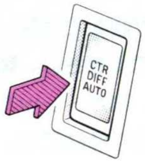
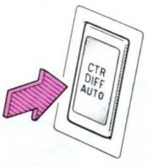
オートマチック車にお乗りのかた

センターデフコントロールスイッチ

センターデフコントロールは、走行状態に応じてセンターデフの差動を自動的にコントロールする装置です。

スイッチを押すごとにＡＵＴＯとＯＦＦに切り替わります。



	スイッチの状態	表　示　灯
AUTO		C. DIFF AUTO（点灯）
OFF		C. DIFF AUTO（消灯）

■AUTO

通常は、ＡＵＴＯで使用します。

スイッチを押します。

作動表示灯が点灯します。

アドバイス

> 脱輪などで車両が動けなくなったときは、「ＡＵＴＯ」のままでチェンジレバーを🅛または🅡の位置にすると脱出しやすくなります。

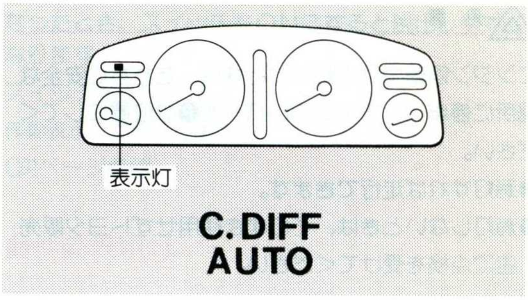
■OFF

応急用タイヤを装着したとき、またはロープでけん引してもらうときに使用します。

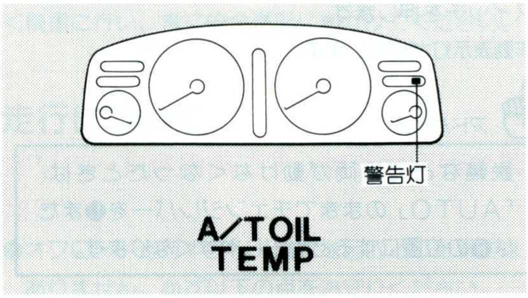
スイッチを押さない状態にします。

作動表示灯は点灯しません。

■作動表示灯



オートマチックトランスミッション油温警告灯



●エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけて消灯すれば正常です。

●エンジンがかかっているときに警告灯が点灯した場合は、トランスミッションオイルの温度が異常に高くなっていますので次の処置をしてください。

処置

エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、チェンジレバーをⓅの位置にしてください。

●消灯すれば走行できます。

●消灯しないときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で点検を受けてください。

けん引してもらうときは

駆動系の故障も考えられますので、まずトヨタ販売店へご連絡を！

けん引してもらうときは次の事項を必ず守ってください。

●**次の状態で故障したときは必ず4輪を持ち上げてけん引する。**

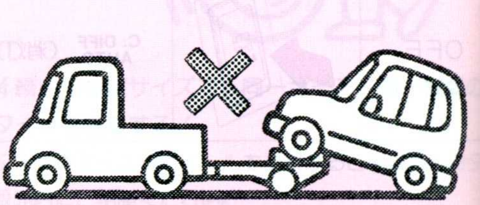
- トランスアクスル内部に異常があると思われるとき
- センターデフコントロールスイッチをOFFにしても作動表示灯が消灯しないとき

●**ロープでけん引してもらうときは、センターデフコントロールスイッチをOFFにする。**

作動表示灯が消灯したことを確認します。

注意

持ち上げたタイヤが回転できない状態でのけん引は絶対にしないでください。駆動装置が焼きつきを起こしたり、車がトレッカー(台車)からとび出すおそれがあり危険です。



※133ページの「**けん引してもらうときは**」もあわせてお読みください。

マニュアル車にお乗りのかた（デフロック式）

ABS付き車を除く

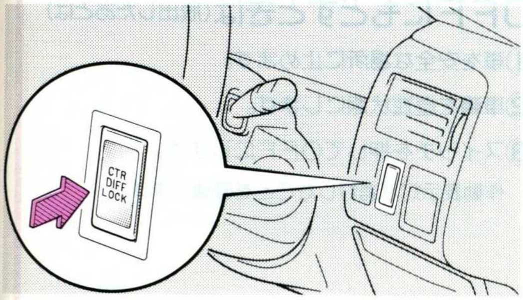
センターデフロックスイッチ

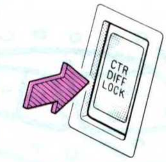
センターデフロックは、車輪が空転して車両が動けなくなったときに脱出を容易にする装置です。

スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

注　意

車両旋回中や車輪空転中はスイッチを操作しないでください。走行に悪影響をおよぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。



	スイッチの状態	表　示　灯
ON		C. DIFF LOCK（点灯）
OFF		C. DIFF LOCK（消灯）

■OFF

通常は、OFFで使用します。

スイッチを押さない状態にします。

作動表示灯は点灯しません。

■ON

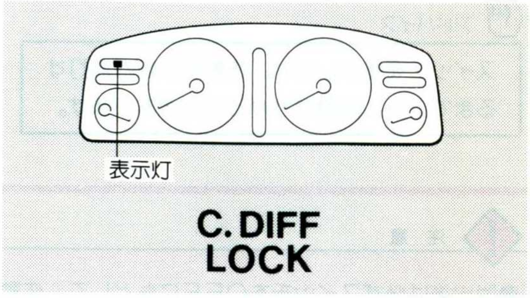
氷雪路や泥地などで車輪が空転して車両が動けなくなったとき、スイッチをONにすると脱出しやすくなります。

スイッチを押します。

作動表示灯が点灯します。

（次ページ参照）

■作動表示灯



こんなときはONで

すべりやすい路面での脱出

1輪が雪上で他の車輪がアスファルトなどで脱出できない場合。

脱輪時の脱出

1輪が宙に浮き空転して脱出できない場合。

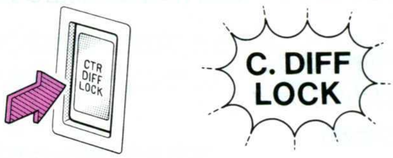
ONにするとき（脱出するときは）

①車輪の空転を確実に止めます。

②車輪を直進状態にします。

③スイッチを押してONにします。

作動表示灯が点灯していることを確認します。



アドバイス

スイッチを操作しても、作動表示灯が点灯するまでに少し時間がかかることがあります。

OFFにもどすときは（脱出したあとは）

①車を安全な場所に止めます。

②車輪を直進状態にします。

③スイッチを押してOFFにします。

作動表示灯が消灯したことを確認します。

アドバイス

解除後、すぐに作動表示灯が消灯しないときは、周囲の安全を確認して少し加減速または後退してください。

注　意

●脱出後は必ずスイッチをOFFにもどして、作動表示灯が消灯したことを確認してください。スイッチをONにしたまま、急旋回や車庫入れをするとタイトコーナーブレーキング現象（前後輪の回転差のために起きるブレーキがかかったような状態になる現象）を起こし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●応急用タイヤ装着時は、スイッチをONにしないでください。走行に悪影響をおよぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

けん引してもらうときは

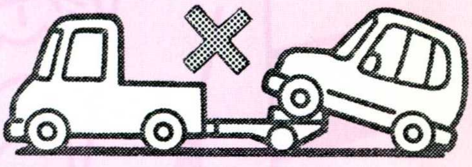
駆動系の故障も考えられますので、まずトヨタ販売店へご連絡を！

けん引してもらうときは次の事項を必ず守ってください。

- 次の状態で故障したときは必ず 4 輪を持ち上げてけん引する。
  - トランスアクスル内部に異常があると思われるとき
  - センターデフロックスイッチをＯＦＦにしても作動表示灯が消灯しないとき
  - デフロック機構がロック状態で故障したとき

注　意

持ち上げたタイヤが回転できない状態でのけん引は絶対にしないでください。駆動装置が焼きつきを起こしたり、車がトレッカー（台車）からとび出すおそれがあり危険です。



※ 133 ページの「**けん引してもらうときは**」もあわせてお読みください。

マニュアル車にお乗りのかた(ビスカスカップリング式)

ABS付き車

けん引してもらうときは

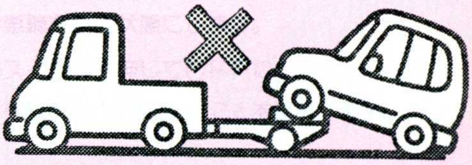
駆動系の故障も考えられますので、まずトヨタ販売店へご連絡を!

けん引してもらうときは次の事項を必ず守ってください。

●駆動系部品が故障したと思われるときは、必ず4輪を持ち上げてけん引する。

注 意

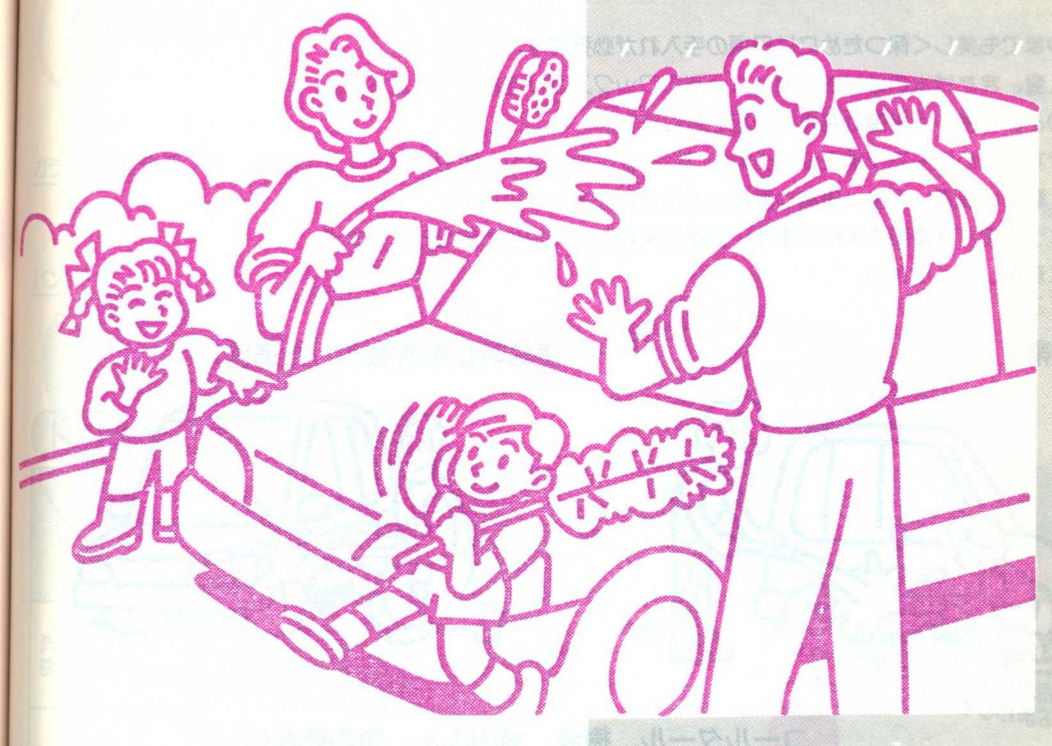
持ち上げたタイヤが回転できない状態でのけん引は絶対にしないでください。駆動装置が焼きつきを起こしたり、車がトレッカー(台車)からとび出すおそれがあり危険です。



※ 133ページの「けん引してもらうときは」もあわせてお読みください。

3

手入れ



日頃の手入れ…………100

外装の手入れ 101

内装の手入れ 103

消耗品の補給・交換…104

ウォッシャー液の補給 104

タイヤローテーション(タイヤ位置交換) 104

エンジンオイルについて 105

ヒューズの交換 106

車にいつもいたわりを。

日頃の手入れ

車をいつまでも美しく保つためには日頃の手入れが必要です。

- 月に1度、または水のはじきが悪くなったらワックスがけを行ってください。
- 塗装のとび石傷やかき傷は腐食の原因となります。
  見つけたら早めにトヨタ純正タッチアップペイントまたはタッチアップテープで補修してください。
- 保管・駐車は風通しのよい車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- 次のような場合は塗装の劣化や車体・部品の腐食などを早める原因となります。
  早めに洗車してください。

海岸地帯

海から帰ったらまず水洗い!!
下まわりも念入りに洗いましょう

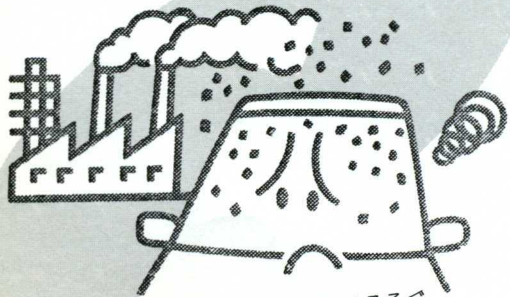
凍結防止剤を散布した道路

冬の道路は塩だらけ
下まわりも念入りに洗いましょう

コールタール、樹液、鳥のふん、虫の死がいなどの付着の多い場所

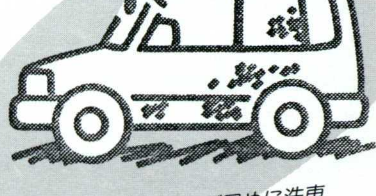
山などでのドライブは付着物がいっぱい

ばい煙、油煙、粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所



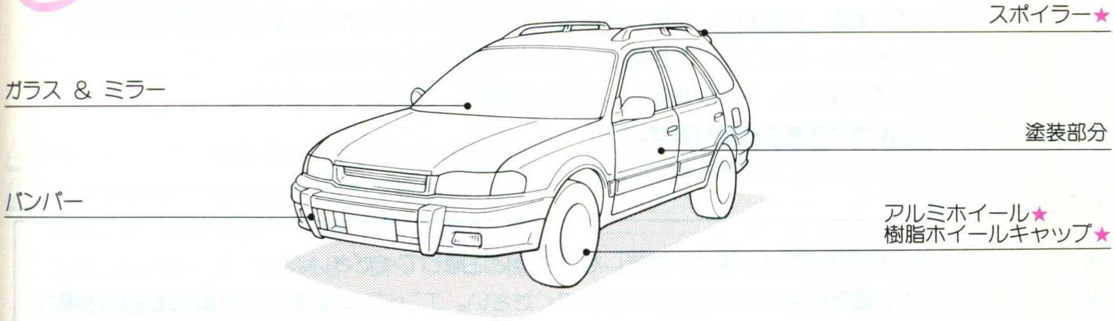
工業地域は見えないよごれが降りそそぐ

ほこり、泥などで著しくよごれたとき



ほおっておかず早めに洗車

外装の手入れ



トヨタ純正お手入れ用品

		車体		足まわり			ガラス ミラー
		塗装 バンパー(塗装部) スポイラー	バンパー(素地部)	アルミホイール	樹脂ホイールキャップ	タイヤ	
洗車で使う道具		セーム皮 ウォッシングスポンジ 洗車ブラシ(ボデー用)		セーム皮 ウォッシングスポンジ 洗車ブラシ(ボデー用)		洗車ブラシ(下回り用)	クリーニングクロス
ワックス	固形・半ネリ	A1ネオハード シャインコート A1ハード・タフ カルナバ A1ハード・カルナバ A1ハード トラット A1ソフト タフ ホワイト※ A1ソフト ホワイト※ A1ソフト メタリック &マイカ	――	塗装部分と同じワックス	――		
	液体	A1コートロングライフ A1イージー(リキッド) オールラウンド A1イージー (リキッド)ホワイト※ A1クリーナーワックス (リキッド)オールラウンド A1クリーナーワックス (リキッド)ホワイト※	――		――		
	ふき取り	ワックスダスタ グローブモップ	――		――		
クリーナー		カーシャンプー 水アカクリーナー むしクリン	カーシャンプー むしクリン	アルミホイールクリーナー	――	タイヤクリーナー	ガラスクリーナーリキッド ガラスクリーナーコンパウンド ガラスクリーナーエアゾール むしクリン
ツヤ出し剤		――	ポリテクター	――	ポリテクター		――

アドバイス

●※のワックスには微粒なコンパウンド（みがき粉）がはいっています。
よごれの落ちはよくなりますが、塗装面の光沢が失われる原因になりますのでよごれがひどく落ちにくいときにお使いください。

●バンパーの素地部に塗装用ワックスを使用しないでください。バンパーに塗装用ワックスが付着すると目地にはいり、白くなることがあります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

洗　車

1. 十分水をかけながら車体、足まわり、下回りの順番に上から下へとよごれを洗い落とします。
2. よごれのひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流してください。
   鳥のふん、虫の死がいなどは、トヨタ純正むしクリンを使用して除去してください。
3. はん点が残らないように水をふき取ります。

注　意

- 下回り、足まわりを洗うときは、手にケガをしないように注意してください。
- エンジンルーム内の電気部品に水などをかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 洗車するときは、ワイヤーブラシやたわしなど硬い物を使用しないでください。塗装などに傷がつきます。

自動洗車機を使用するときは

- ミラー、アンテナは格納し、前側から洗車してください。
- ときによりブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- スポイラー付き車は洗車機によってはひっかかり、洗車できないことがあります。

高圧洗車機を使用するときは

ノズルの先端をドアガラスなどに近づけすぎないでください。近づけすぎると水圧が高いため、室内に水がはいるおそれがあります。

ワックス

洗車後、車体の温度が冷えているとき(およそ体温以下を目安としてください)に行ってください。
トヨタ純正品（前ページ表参照）の取り扱い説明をよく読んでからお使いください。

ガラス、ミラーの油膜とり

油膜やタバコのヤニなどのガンコなよごれを取り除きたいときは、トヨタ純正品(前ページ表参照)の取り扱い説明をよく読んでからお使いください。

注　意

リヤウインドゥガラスの内側を清掃するときは、ガラスクリーナーなどを使用しないでください。熱線が断線し作動しなくなるおそれがあります。清掃は、熱線にそって、水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。

内装の手入れ

1. カークリーナーなどでほこりを取り除きます。
2. 水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふきとります。よごれの落ちにくい場合は、右表のトヨタ純正品の取り扱い説明をよく読んでからお使いください。

	布地部分	樹脂部分	ビニールレザー
ワックス	——	——	レザーワックス
クリーナー	シートクリーナー	——	レザークリーナー
ツヤ出し剤	——	ポリテクター	ポリテクター

注 意

- 室内の清掃などで車内に水をかけないでください。オーディオ類やフロアカーペット下の電気部品などに水がかかると故障の原因になるおそれがあります。
- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、十分な効果が発揮できなくなるおそれがあります。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。
- 内装の手入れをするときは、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみの原因になります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤をこぼさないように注意してください。含まれる成分によっては変色やしみ、塗装はがれの原因になるおそれがあります。

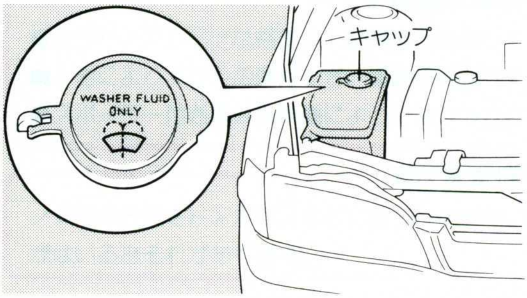
消耗品はトヨタ純正品を。

消耗品の補給・交換

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャータンクのキャップをはずし、トヨタ純正ウインドウォッシャー液を下表にしたがって補給します。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通　　常	原液１に水３	－７℃
温暖地の冬期	原液１に水２	－10℃
寒冷地の冬期	原液１に水１	－20℃
極寒地の冬期	原液のまま	－50℃以下



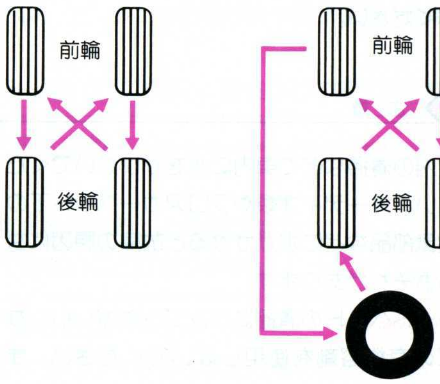
注　意

- エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときはウォッシャー液を補給しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあり危険です。
- ウォッシャー液のかわりに石けん水などをいれないでください。塗装のしみになるおそれがあります。

タイヤローテーション(タイヤ位置交換)

タイヤの偏摩耗を防ぎ寿命をのばすために、5,000㎞ごとに位置を交換します。

〈スペアタイヤが応急用タイヤの場合〉　〈スペアタイヤが標準タイヤの場合〉



アドバイス

搭載されているジャッキを使用してタイヤ位置交換を行うときは、スペアタイヤを使用して１輪ずつ交換してください。
ジャッキアップのしかたについては125ページを参照してください。

タイヤ空気圧について

タイヤ空気圧はときどき点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
空気圧は運転席ドアを開けたボデー側に貼られている「タイヤ空気圧」の表で正しい空気圧を確認のうえ調整してください。
空気圧が不足している場合や調整ができないときは、ひかえめな速度で走行してください。

新品と交換するときは

トヨタ販売店にご相談ください。
異なった種類のタイヤを混ぜて使用したり、指定サイズ以外のタイヤを使用することは、安全走行に悪影響をおよぼすことがあります。

エンジンオイルについて

エンジンオイルの量をときどき点検してください。なお、高速走行（80㎞/h以上での走行）を行う前には、必ず点検してください。（点検方法については**「メンテナンスノート」**を参照してください。）

アドバイス

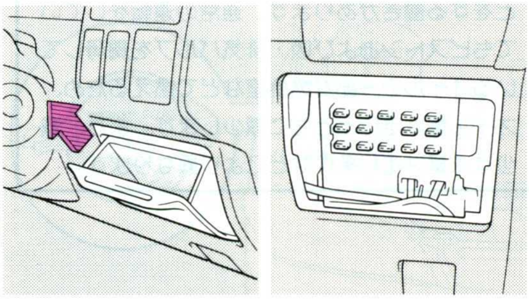
エンジンオイルはエンジン内部の潤滑、冷却などをする働きがあります。通常の運転をしていてもピストンおよび吸・排気バルブを潤滑しているオイルの一部が燃焼室などで燃えるため、オイル量は走行とともに減少します。また、減少する量は走行条件などにより異なります。

ヒューズの交換

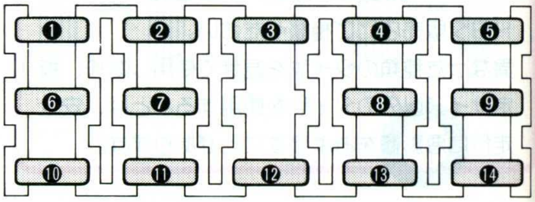
ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れやランプ自体の球切れが考えられます。

1. エンジンスイッチをＬＯＣＫの位置にします。
2. 故障の状況から点検すべきヒューズを下表で確認し、ヒューズはずしでヒューズを引き抜き、ヒューズが切れていないかを点検します。
   - ●ヒューズはずしはエンジンルーム内ヒューズボックスについています。
   - ●ヒューズの一部は車の仕様によりない場合があります。
   - ●各ヒューズの受け持つ装置は主なものについて記載しています。

■運転席ヒューズボックス



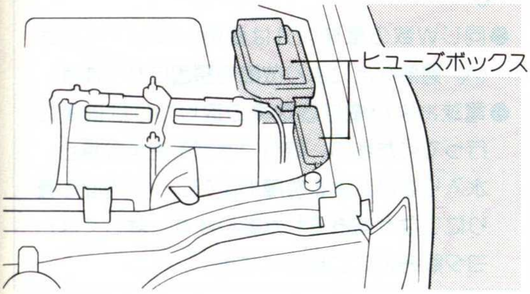
小物入れを開き、上に引き抜きます。

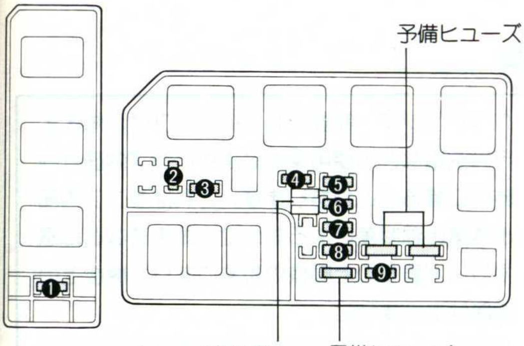


❶	フォグランプ	15 A	――――
❷	ストップランプ	15 A	制動灯、ＡＢＳ、シフトロック、ＥＦＩ
❸	エレクトロニクスＩＧ	10 A	ＡＢＳ
❹	スタータ	5 A	スタータ
❺	ライタ	15 A	シガレットライター、電動リモコンミラー、オーディオ、時計
❻	エレクトロニクスＢ	5 A	――――
❼	メータ	10 A	計器類

❽	ターン	7.5 A	方向指示灯、非常点滅灯
❾	イグニション	7.5 A	充電警告灯、ＥＦＩ
❿	テールランプ	15 A	尾灯、番号灯、車幅灯、計器類照明、オーディオ照明
⓫	ワイパ	20 A	ワイパー＆ウォッシャースイッチ
⓬	デフォガ	30 A	リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）
⓭	アイドルアップ	10 A	ＥＦＩ
⓮	ドアロック	30 A	電気式ドアロック

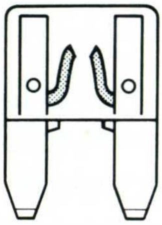
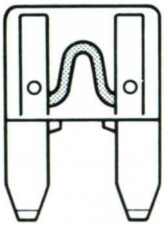
■エンジンルーム内ヒューズボックス





❶	CDS FAN	30 A	CDSファン
❷	ヘッド(左)	10 A	ヘッドランプ(左側)
❸	ヘッド(右)	10 A	ヘッドランプ(右側)
❹	AM2	15 A	点火系
❺	ハザード	10 A	非常点滅灯
❻	EFI	15 A	EFIコンピューター
❼	ルームランプ	15 A	室内灯、オーディオ
❽	ALT−S	5 A	オルタネーター
❾	HORN	10 A	警音器

3 下表のヒューズの状態にしたがって処置してください。

ヒューズの状態	処置方法
× 	ヒューズ切れです。 同容量の予備ヒューズと交換してください。 注　意 ●ヒューズのかわりに針金、銀紙などを使用しないでください。配線が過熱・焼損し、火災になるおそれがあり危険です。 ●取り替えてもまたヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。
○ 	ヒューズの他に原因が考えられます。 ランプがつかないときはランプ自体の球切れを確認してください。※ それ以外の電気系統の装置が働かないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

※電球の交換は次ペ--ジの規格にあわせて同容量のものにしてください。

■フロント側電球

注　意

ハロゲン電球はガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスが飛び散る場合がありますので十分注意して取り扱ってください。また、素手で触れずにきれいな手袋を着用してください。

●ヘッドランプ
　ハロゲン……………………………………60／55 W
●フォグランプ★ ……………………………35 W
●車幅灯…………………………………………5 W
●フロント方向指示灯(兼非常点滅灯) ………21 W

■リヤ側電球

●方向指示灯(兼非常点滅灯) …………………21 W
●制動灯／尾灯 ……………………………21／5 W
●後退灯 ………………………………………21 W
●番号灯…………………………………………5 W

■室内電球

●室内灯
　フロント
　ムーンルーフなし……………………………8 W
　ムーンルーフ付き ………………………10 W
　リヤ ……………………………………………8 W
●スポットライト★……………………………8 W
●ハイマウントストップランプ★ …………18 W

注　意

●同じW数の電球以外は使用しないでください。過熱などにより故障の原因になります。
●電球および電球固定具の取りつけは確実に行ってください。取りつけが不完全な場合、水入りなどによる故障およびレンズ内面の曇りにつながるおそれがあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

アドバイス

ヘッドランプ・制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。
ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内部に水がたまっているときは、トヨタ販売店にご相談ください。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

4

なるほどいいね!快適ドライブ

なるほど
インフォメーション … 110

安全・安心マインド 110

高速道路の走り方 110

雨の日もクリアな視界で 111

夏の避暑対策 ………… 112

冬のカーライフ ……… 113

シーズン前の冬じたく 113

お出かけまえに 114

雪道走行 115

冬の駐車ノウハウ 118

なるほどインフォメーション

安全・安心マインド

チャイルドシート、ジュニアシートが安心です。

予測できない子供の動き。専用シートにすわらせると安心です。

安全運転、結局お得！

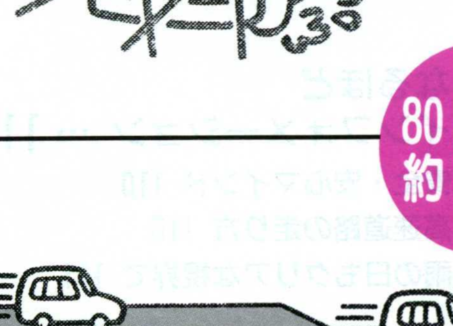
不必要な高速運転は燃料のムダ使い。
車間距離をゆったりとって、安全運転に心がけましょう。

キチンと整備、快適ドライブ

手入れ次第で故障も未然に防げるもの。
消耗品の補給・交換、定期点検をお忘れなく。

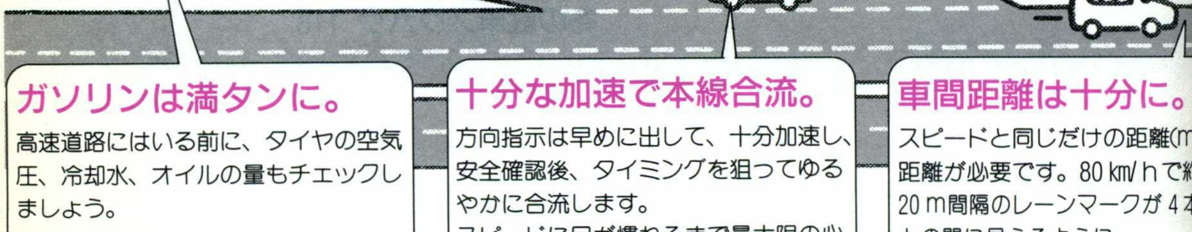
バッテリーだって疲れます。

雨天の夜の渋滞。エアコン、オーディオのフル回転でバッテリーもバテぎみ。
こまめな節電はもちろんのこと、万一のためにブースターケーブルを車に積んでおくと便利です。



高速道路の走り方

80 ㎞/
約 80



ガソリンは満タンに。

高速道路にはいる前に、タイヤの空気圧、冷却水、オイルの量もチェックしましょう。

十分な加速で本線合流。

方向指示は早めに出して、十分加速し、安全確認後、タイミングを狙ってゆるやかに合流します。
スピードに目が慣れるまで最大限の心くばりを。

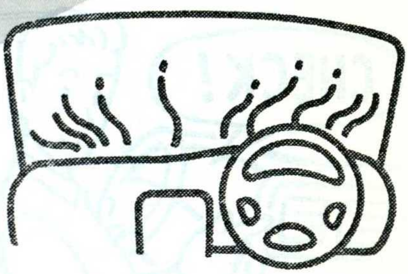
車間距離は十分に。

スピードと同じだけの距離(m
距離が必要です。80 ㎞/ｈで約
20 ｍ間隔のレーンマークが 4 本
との間に見えるように。

雨の日もクリアな視界で

フロントガラスが曇る。

エアコンで除湿しましょう。吹き出し口を か にし、内外気切り替えスイッチを外気導入にします。冬でも除湿としてエアコンを活用しましょう。

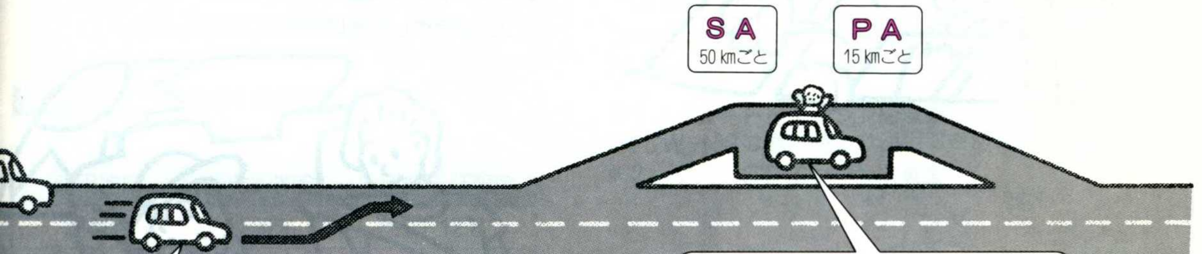


フロントガラスが油膜でギラギラ。

雨の夜は対向車のライトが乱反射。
ガラスクリーナーを使ってガラスの表面だけでなくワイパーゴムもきれいにしましょう。

ミラーが水滴で見づらい。

ガラスコートをぬっておけば、雨水やはね水をはじきます。



追い越しが終われば走行車線へ。

追い越し車線は追い越し専用です。
追い越した車がインナーミラーに全部写ってからすみやかに走行車線へもどります。

無理せず休もう。

疲れたり眠くなったら、SA(サービスエリア)、PA(パーキングエリア)でひと休み。1時間走ったら10分ぐらい、3時間走ったら30～60分ぐらいを目安に。SAは50㎞、PAは15㎞ごとにあります。

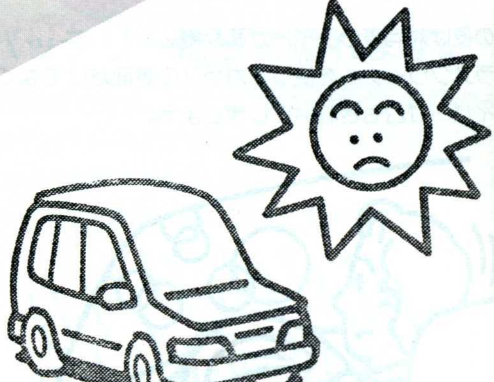
夏の避暑対策

シーズン前にエアコンチェック。

暑くなる前に点検・補充をしておきましょう。

ボディーカバーでサンシャワーカット。

炎天下の駐車では室内温度は予想外。
ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルをかけて、室内温度の上昇をおさえましょう。



熱気を逃してエアコンスタート。

車にもどりいきなりエアコンをかけるのは考えもの。まず窓を開けて熱気を逃してからエアコンを効かせるのが効果的です。

とかくエアコンは冷やしすぎ。

冷房に弱いかたはひざ掛けを、リヤシートにすわるかたには帽子を用意するのもひとつの方法です。エアコンの冷やしすぎには気をつけましょう。

冬のカーライフ

シーズン前の冬じたく

ウォッシャー液の濃度
➡データ1

寒冷地用ワイパーブレードの装着
（降雪地のみ）

水抜き剤などで
燃料タンクの水分排出

冷却水の濃度（トヨタ純正ロングライフクーラント）
➡データ2

外気温に応じた
エンジンオイル
➡データ3

タイヤチェーンの準備
冬用タイヤの装着
4輪とも指定サイズの
同一銘柄のものに交換

データ 1 （ウォッシャー液の濃度）

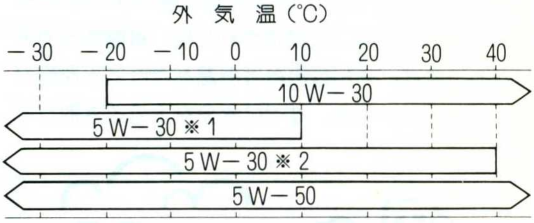
使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通　　常	原液1に水3	－7℃
温暖地の冬期	原液1に水2	－10℃
寒冷地の冬期	原液1に水1	－20℃
極寒地の冬期	原液のまま	－50℃以下

データ 2 （冷却水の濃度）

使用地域	希釈割合	凍結保証温度
温暖地	30%	－12℃
寒冷地	50%	－35℃

データ 3 （エンジンオイルの粘度）

SAE粘度



※1　4A－FEエンジン搭載車
（5W－30は寒冷時しか使用できません。）
※2　7A－FEエンジン搭載車

お出かけまえに

ガラスについた霜取り。

プラスティックの板を使うとガラスに傷をつけずに素早く落とすことができます。

足まわりの着氷。

車の下をのぞいて、足まわりに付着した氷塊を車体などに傷をつけないように取り除いてください。

車が凍ったら。

ワイパー、電動リモコンミラー、パワーウインドゥなどが凍って動かなくなることもあります。
無理に動かそうとしてスイッチを押し続けたりすると、装置をいためたり、バッテリーあがりをおこすおそれがあります。
またドアが凍結したときは無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、損傷するおそれがあります。そんなときはお湯をかけて氷を溶かしてください。なお、すぐに水分を十分ふき取ってください。

ペダル操作時のすべり防止。

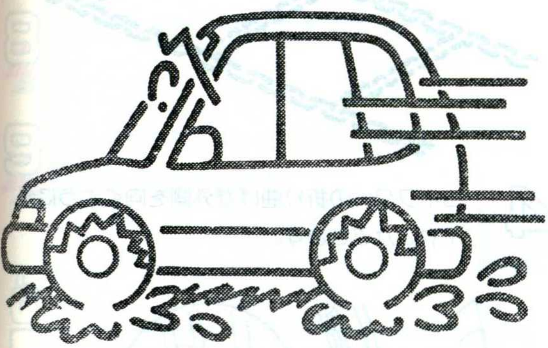
乗車時、靴についた雪をよく落としてください。

雪道走行

着氷のいたずら。

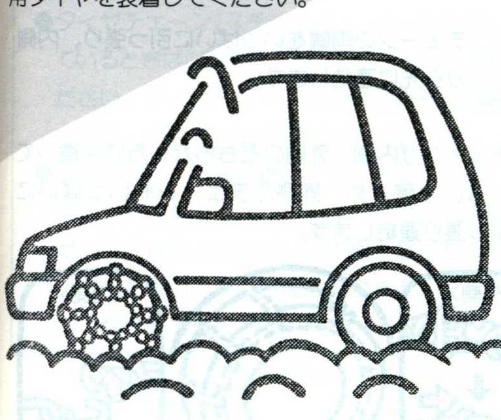
走行中にはね上げた雪や水は、車に付着して氷になります。フェンダー裏側に付着するとハンドル操作に影響しますのでときどき確認し、大きくなる前に取り除きましょう。

ブレーキ装置に付着するとブレーキの効きが悪くなる場合がありますので、ときどき軽くブレーキペダルを踏んでブレーキの効き具合を確認しましょう。



タイヤチェーン、冬用タイヤの装着

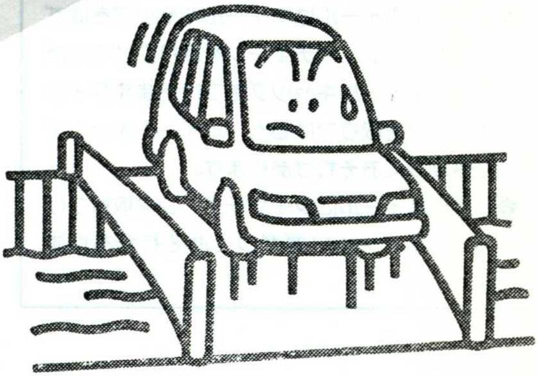
積雪路、凍結路では早めにタイヤチェーンまたは冬用タイヤを装着してください。



スリップにご用心。

ゆっくりスタート、ひかえめな速度で走行中も“急”のつく動作は厳禁です。

橋の上や日陰など凍結しやすい場所では減速を心掛けましょう。



寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。

アドバイス

高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなることがあります。その場合には速度を落としてください。

寒冷地用ワイパーブレードを必要としない降雪期以外は、通常のワイパーブレードを使用してください。

タイヤチェーンの取りつけ方

■タイヤチェーンは前 2 輪に取りつけます。
■タイヤチェーンはタイヤサイズにあったものを使用してください。
■タイヤチェーンの取りつけ、取り扱い方法は、タイヤチェーンに付属の取扱書に従ってください。

アドバイス

- スチールホイールはホイールキャップをはずしてから、タイヤチェーンを取りつけてください。ホイールキャップをつけたままタイヤチェーンを取りつけると、ホイールキャップに傷がつくおそれがあります。
- アルミホイールにタイヤチェーンを取りつけると、ホイールに傷がつくおそれがあります。

標準的なタイヤチェーン（スチールチェーン）の取りつけ方

タイヤチェーンを取りつける場合には輪止めが必要です。輪止めについては、トヨタ販売店で購入できますのでトヨタ販売店にご相談ください。
なお、輪止めは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

チェーンを取りつけるまえに

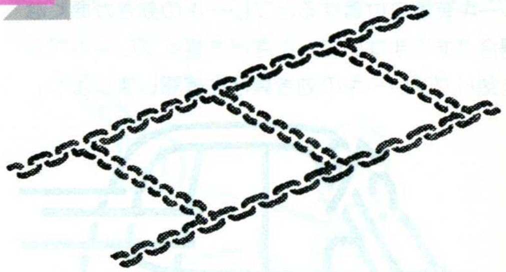
①安全に作業できる平らな場所に移動します。
- パーキングブレーキをしっかりかけ必ずエンジンを止めます。
- チェンジレバーをマニュアル車は 1 速、オートマチック車はⓅの位置にします。
- 非常点滅灯を点滅させ、停止表示板（または停止表示灯）を使用します。

②輪止め、ジャッキ、ジャッキハンドル、タイヤチェーンを用意します。
123 ページ参照

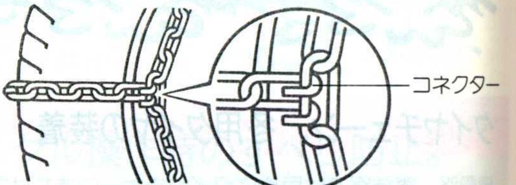
1 チェーンを取りつける前輪と対角の位置にある後輪のうしろ側に輪止めをします。

2 チェーンを取りつける前輪をジャッキアップします。
➡ 125 ページ参照

3 チェーンを路面にひろげて、ねじれがないことを確認します。

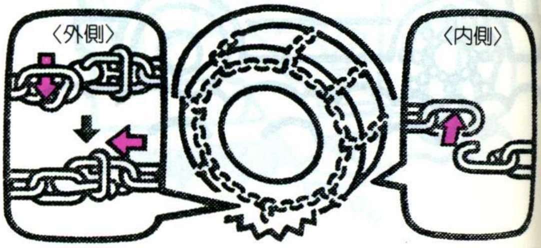


4 コネクターの折り曲げが外側を向くようにタイヤにかぶせます。



5 チェーンの両端をいっぱいに引っ張り、内側から先に連結します。

- チェーンが内側、外側のどちらか一方に片寄っていないか確かめ、外側のチェーンもいっぱいに引っ張り連結します。



6 余ったチェーンは車体にあたるのを防ぐため針金で固定します。

7 チェーンバンドはクリップの爪が外側を向くように均等にチェーンにかけます。

8 車体をおろし、輪止めをはずします。

9 2～3分走行し、チェーンのゆるみ、はずれがないか確認します。

アドバイス

チェーンを取りはずすときは外側からはずしてください。

注 意

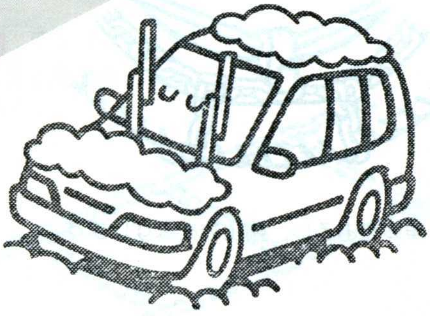
●タイヤチェーン(スチールチェーン)を装着しているときは、30㎞/h以上で走行しないでください。タイヤチェーンにかかる負荷が大きくなり、チェーンにが切れやすくなります。

●タイヤチェーンを装着して走行するときは、突起や穴を乗りこえたり、急ハンドルや車輪がロックするようなブレーキ操作などをしないでください。車両が思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

冬の駐車ノウハウ

ワイパーアームは立てて安心。

降雪時は寒さでワイパーゴムがガラスに凍りついたりします。
ワイパーアームは立てて駐車しましょう。

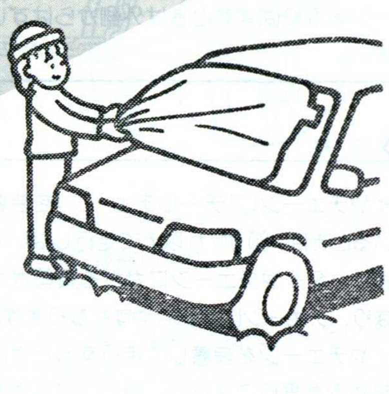


風下に向けて冷え込み対策。

風のあたる部分は、予想以上に低温となります。
バッテリーあがりを防ぐためにもボンネット側を風下に向けて駐車しましょう。
ラジエーター前面にカバーをつけるとエンジンの冷えすぎを防げます。

ウインドゥマスクは強い味方。

早朝のお出かけでも、フロントガラスの霜を取るわずらわしさがありません。



パーキングブレーキはかけちゃダメ。

寒冷時はパーキングブレーキをかけるとブレーキ装置が凍結してパーキングブレーキが解除できなくなるおそれがあります。
チェンジレバーをオートマチック車はⓅ、マニュアル車は❶またはⓇにいれておきましょう。

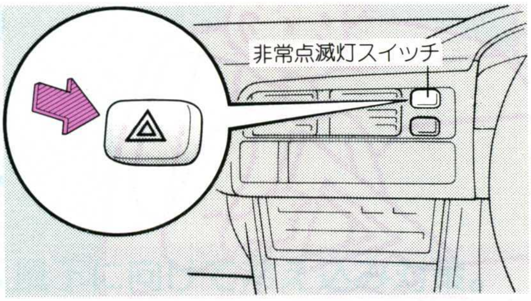
5

万一のとき、あわてないために

路上で故障したときは……………………………………120
エンストで始動できなくなったときは…………………121
走行中、警告灯が点灯したときは………………………122
工具・スペアタイヤ………………………………………123
パンクしたときは…………………………………………128
オーバーヒートしたときは………………………………131
バッテリーがあがったときは……………………………132
けん引してもらうときは…………………………………133
キーを閉じ込んでしまったときは………………………134
事故がおきたときは………………………………………134

路上で故障したときは

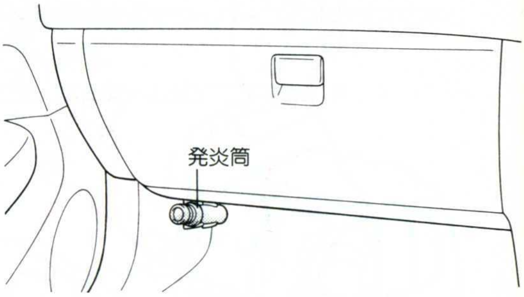
■車を路肩に寄せ、非常点滅灯を点滅させます。



高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板または停止表示灯を置いてください。

■緊急を要するときは発炎筒で合図します。

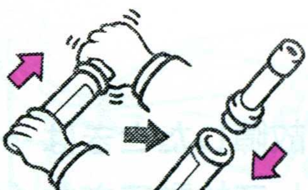
- 助手席足元に備えつけてあります。



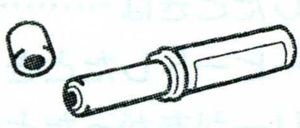
- 発炎時間は約５分間ですので非常点滅灯を併用してください。
- 発炎筒には有効期間があります。
  本体に表示してある有効期間のきれる前にトヨタ販売店でお求めください。

発炎筒の使い方

①本体をひねりながら取り出し、逆にして差し込みます。



②キャップ頭部のすり薬でこすると着火します。



注 意

●発炎筒をお子さまにはさわらせないでください。いたずらなどにより発火し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●発炎筒をガソリンなどの可燃物の近くで使用しないでください。引火するおそれがあり危険です。
●発炎筒を使用中は顔や体に向けたり、近づけたりしないでください。
●発炎筒をトンネル内などで使用しないでください。煙で視界を悪くするので危険です。トンネル内などでは非常点滅灯を使用してください。

■困ったときはトヨタ販売店へご連絡ください。

「メンテナンスノート」巻末のトヨタサービス網をご覧ください。

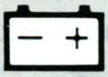
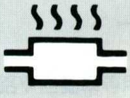
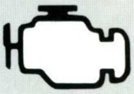
エンストで始動できなくなったときは

次の方法で安全な場所まで移動してください。
●付近に人がいるときは押してもらう。（チェンジレバーは🅝で。）
●マニュアル車はギヤを❶（❷でもよい）または🅡にいれて、クラッチを踏まずにエンジンスイッチをSTARTの位置で保持すれば、緊急避難的に車を動かすことができます。オートマチック車はできません。

処 置

踏切内で動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。
緊急を要するときは発炎筒を使用してください。

走行中、警告灯が点灯したときは

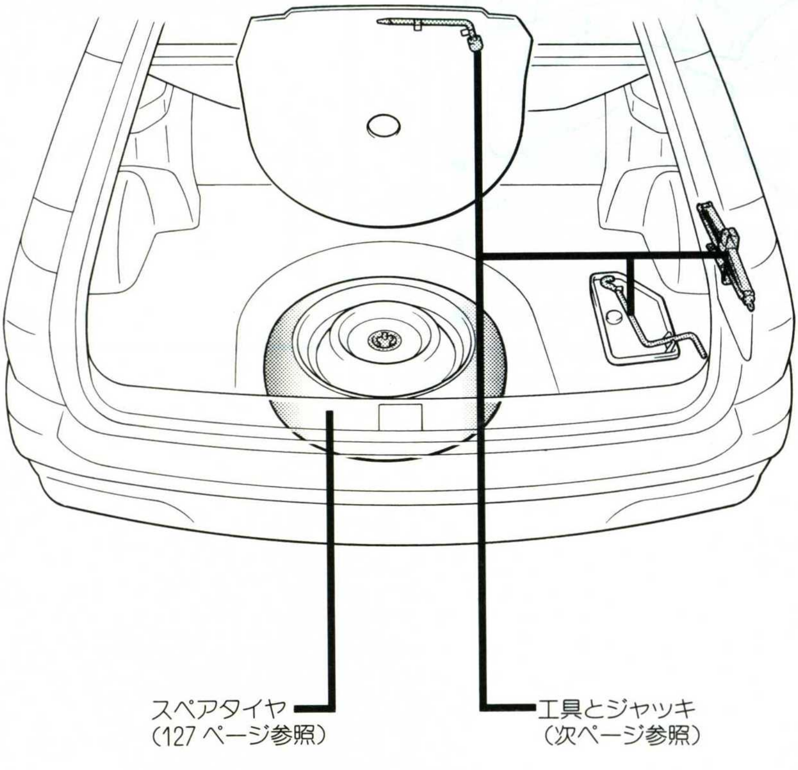
	充電警告灯	このまま走るとバッテリーあがりやオーバーヒートを招くため、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。
	油圧警告灯	このまま走るとエンジンを破損するおそれがあるため、ただちに安全な場所へ停車しエンジンを止め、トヨタ販売店へご連絡ください。
	排気温警告灯	枯れ草などの燃えやすいもののない場所に停車し、エンジンを止めて冷やします。再始動して消灯すれば走行できます。再び点灯する場合はそのまま使用せず、トヨタ販売店で点検を受けてください。
	エンジン警告灯	エンジン電子制御システムに異常があるため、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	ブレーキ警告灯	このまま走るとブレーキが効かなくなるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。
	ABS警告灯	システムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
A/T OIL TEMP	オートマチックトランスミッション油温警告灯	車を安全な場所に停車し、チエンジレバーをⓅ位置でエンジンをかけたままにしてください。消灯すれば走行できます。消灯しないときまたは再び点灯するときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で点検を受けてください。

工具・スペアタイヤ

工具、ジャッキ、ジャッキハンドル、スペアタイヤは、ラゲージルームに格納されています。

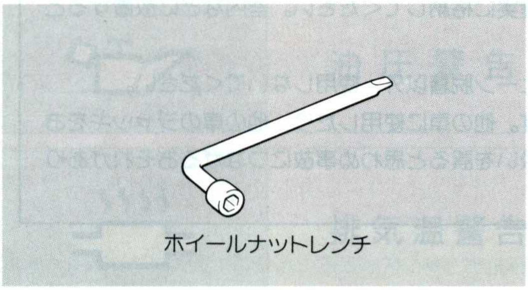
注　意

- 工具やジャッキを使用したあとは、決められた場所に確実に格納してください。室内などに放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車に搭載されているジャッキはタイヤ交換やタイヤチェーン脱着以外、使用しないでください。
- 車に搭載されているジャッキは、お客様のお車専用です。他の車に使用したり、他の車のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。ジャッキの取り扱いを誤ると思わぬ事故につながるおそれがあります。



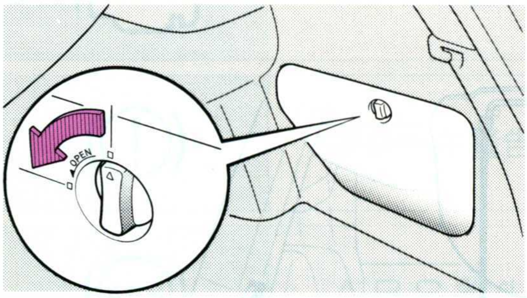
工具とジャッキ

ジャッキハンドルはジャッキカバーの裏に、ホイールナットレンチはスペアホイールカバーの裏に取りつけられています。

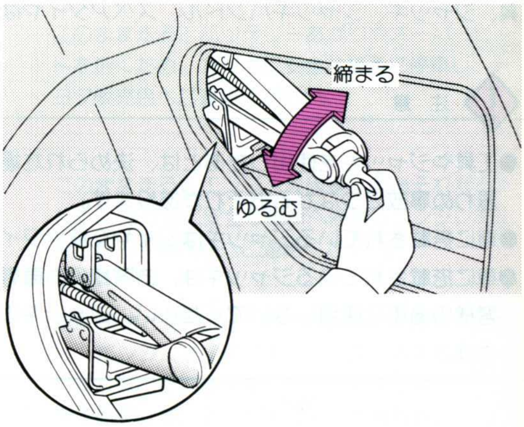


■工具の取り出し方

ツマミをまわしてロックをはずします。



■ジャッキの取り出し方



●ジャッキの図の部分をゆるめてはずします。

●格納するときはジャッキが固定するように締めます。

■ジャッキアップのしかた

ジャッキアップをする場合には輪止めが必要です。輪止めについては、トヨタ販売店で購入できますのでトヨタ販売店にご相談ください。

なお、輪止めは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

ジャッキアップをするまえに

①交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に移動します。

- ●パーキングブレーキをしっかりかけエンジンを止めます。
- ●チェンジレバーをマニュアル車は1速、オートマチック車はⓅの位置にします。
- ●非常点滅灯を点滅させ、人や荷物をおろし、停止表示板（または停止表示灯）を使用します。

②ジャッキとジャッキハンドルを取り出します。

●ジャッキハンドル

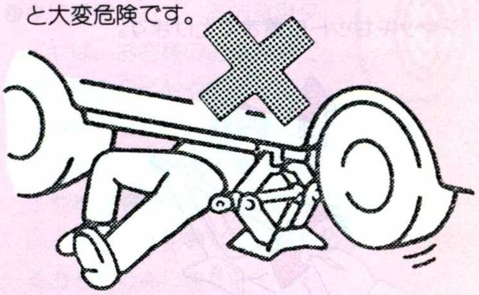
③輪止めを用意します。

注　意

●ジャッキアップするときは、平らな場所に車を止め、対角の位置にあるタイヤに必ず輪止めをしてください。車が動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ジャッキが確実に車体のジャッキセット位置にかかっていることを確認してください。ジャッキセット位置以外にかかっていると、車体がへこんだり、ジャッキが倒れてケガをするおそれがあり危険です。

●ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキがはずれると大変危険です。



●人を乗せたままジャッキアップしないでください。

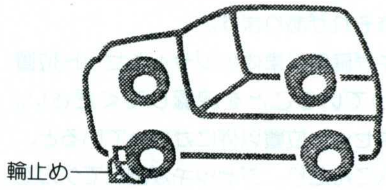
●ジャッキアップするときはジャッキの上や下に物をはさまないでください。

●ジャッキアップしているときはエンジンをかけないでください。

■車体を持ち上げるときは

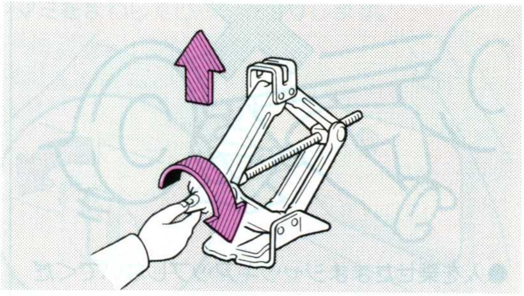
1. ジャッキアップする位置と対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。

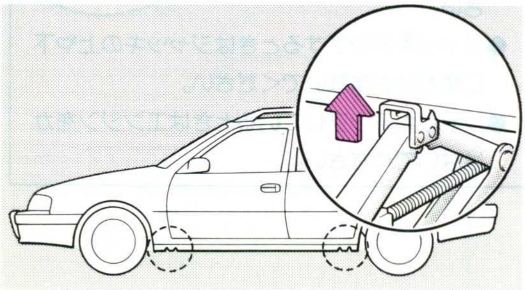
●前輪を持ち上げるときは後輪のうしろ側に後輪を持ち上げるときは前輪の前側に輪止めをします。



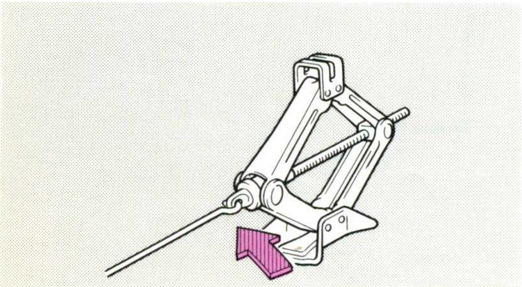
2. 地面の平らな固くて安定したところにジャッキをおきます。

3. ジャッキの図の部分を手で右にまわして車体のジャッキセット位置まで上げます。

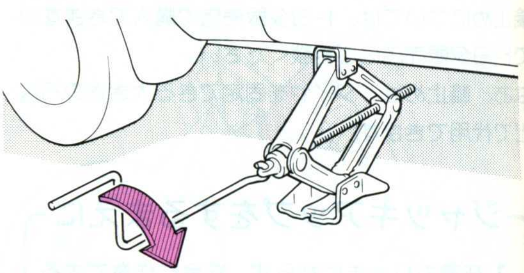




4. ジャッキハンドルをジャッキの穴部に確実に差し込みます。

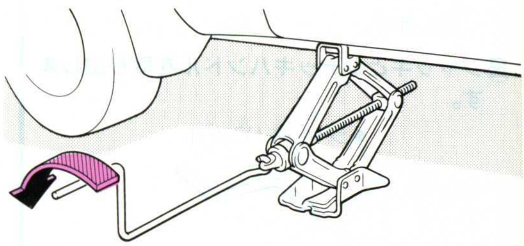


5. ジャッキハンドルを右にまわしてタイヤが地面から少し離れるまでジャッキアップします。



■車体を下げるときは

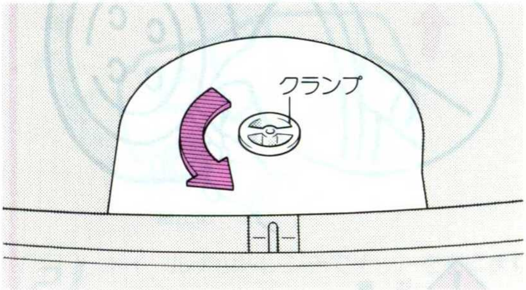
ジャッキハンドルを左にまわして車体をおろします。



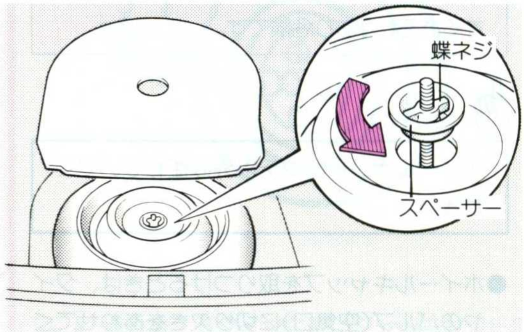
スペアタイヤ

■取り出し方

1 カバーを取ります。
クランプ付き車はクランプを左にまわしてカバーを取りはずします。



2 蝶ネジを左にまわしてスペーサーを取りはずし、タイヤを取り出します。

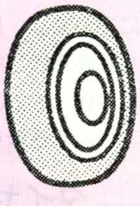


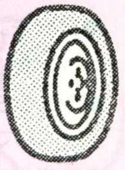
格納するときは逆の手順で取りつけます。
クランプ付き車はクランプを押し込むと固定されます。
タイヤが確実に固定されていることを確認します。

■応急用タイヤについて★

注 意

●応急用タイヤを装着しているときは100km/h以上で走行しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
応急用タイヤは、タイヤがパンクしたとき、一時的に使用するタイヤです。パンクしたタイヤはただちに修理して、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。


標準タイヤ


応急用タイヤ

●車に搭載されている応急用タイヤは、お客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使用したり、他の車の応急用タイヤをお客様のお車に使用しないでください。走行に悪影響がでて思わぬ事故につながるおそれがあります。

●応急用タイヤを装着して突起物などをのりこえるときは、標準タイヤを装着しているときと同じ感覚で運転しないでください。応急用タイヤ装着時は標準タイヤ装着時に対し車高が変化します。同じ感覚で運転すると車をぶつけるおそれがあります。

●応急用タイヤにタイヤチェーンを装着しないでください。タイヤチェーンが車体側に当たったり、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。雪道、凍結路で前輪がパンクした場合は、応急用タイヤを前輪に使用せず、後輪に使用し、はずした後輪を前輪につけてからタイヤチェーンを装着してください。

●応急用タイヤの空気圧はときどき点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
空気圧：4.2kg/cm²（走行前のタイヤが冷えているとき）
空気圧が不足している場合や調整ができないときは、ひかえめな速度で走行してください。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

パンクしたときは

スペアタイヤへの交換

タイヤ交換をする場合には輪止めが必要です。輪止めについては、トヨタ販売店で購入できますのでトヨタ販売店にご相談ください。

なお、輪止めは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

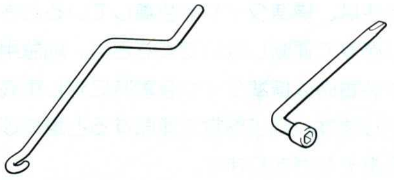
タイヤ交換をするまえに

①交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に移動します。

- パーキングブレーキをしっかりかけエンジンを止めます。
- チェンジレバーをマニュアル車は１速、オートマチック車はⓅの位置にします。
- 非常点滅灯を点滅させ、人や荷物をおろし、停止表示板（または停止表示灯）を使用します。

②ジャッキ、スペアタイヤ、以下の工具を取り出します。

- ジャッキハンドル
- ホイールナットレンチ

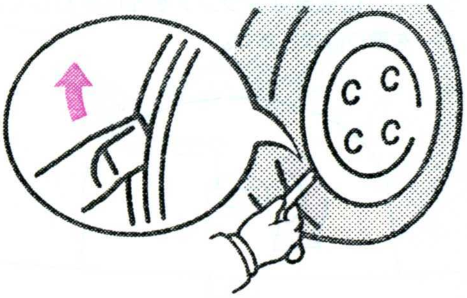


③輪止めを用意します。

④スチールホイール装着車はフルキャップをはずします。

フルキャップの取りはずし方★

- ホイールナットレンチの先を差し込み、タイヤ側にこじるとはずれます。（２～３カ所、場所をかえて繰り返すと楽にはずせます。）



注　意

直接手をかけて取らないでください。また、取り扱いには十分注意してください。ケガをするおそれがあり危険です。

アドバイス

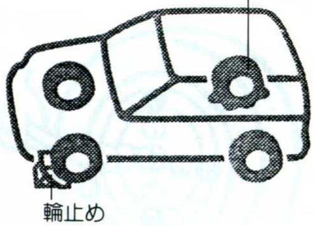
ホイールナットレンチ以外は使わないでください。

- ホイールキャップを取りつけるときは、タイヤのバルブ(空気口)に切り欠きをあわせてください。

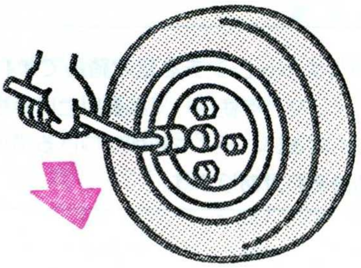
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

1 パンクしたタイヤと対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。

●前輪がパンクしたときは後輪のうしろ側に、後輪がパンクしたときは前輪の前側に輪止めをします。



2 ホイールナットレンチでナットを左にまわし、少しまわるくらいまでゆるめます。

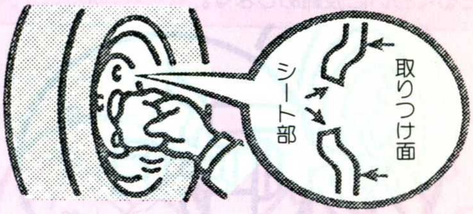


3 取り替えるタイヤに近いジャッキセット位置にジャッキをセットし、タイヤが地面から少し離れるまでジャッキアップし、ナットを取りはずします。

4 タイヤをスペアタイヤに取り替えます。

注 意

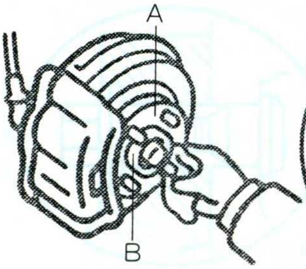
タイヤを取りつけるときは、ホイールのシート部やホイールの裏側の取りつけ面のよごれをふきとってから取りつけてください。
ホイールのシート部やホイール裏側の取りつけ面がほこりなどでよごれていると、走行中にナットがゆるみタイヤがはずれるおそれがあり危険です。

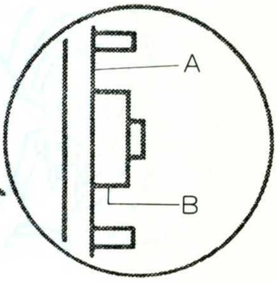


■アルミホイール装着車

●アルミホイールを取りつけるときは次の手順で行ってください。

①図のA、Bの面のよごれをふきとります。





②アルミホイールをBの部分に確実にはめます。

アルミホイールを直接地面に置くときは、傷がつかないように意匠面を上にして置いてください。

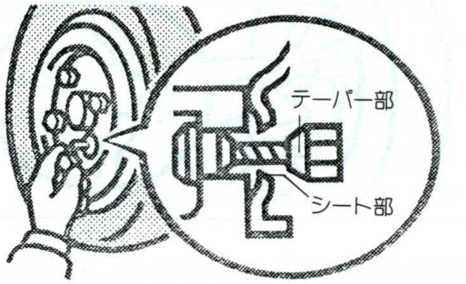
5 タイヤががたつかない程度まで、手でナットを右にまわして仮締めします。

注　意

タイヤを取りつけるナットやボルトにオイルやグリースをぬらないでください。必要以上に締めつけられてボルトが破損するおそれがあります。

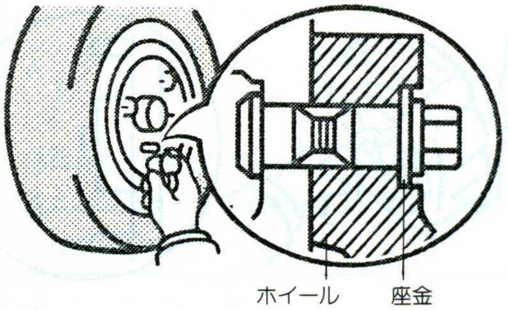
■スチールホイール装着車

ナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽くあたるぐらいに仮締めします。



■アルミホイール装着車

座金がホイールにあたるまでナットを右にまわして仮締めします。

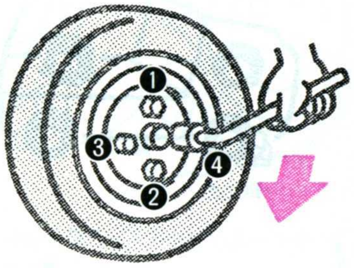


注　意

ナットはトヨタ純正アルミホイール専用品以外を使用しないでください。走行中にナットがゆるみタイヤがはずれるおそれがあり危険です。

6 ジャッキハンドルを左にまわし、車体をおろします。

7 ホイールナットレンチを使用して図の順序でナットを2～3度にわたり十分締めつけます。



注　意

ホイールナットレンチを足で踏んでまわしたり、パイプなどを使用して必要以上に締めつけないでください。タイヤを取りつけるボルトが折れるおそれがあります。

8 工具、ジャッキ、タイヤを片づけます。

アドバイス

- ●傷、変形があるものは再使用しないでください。
- ● 1,000 ㎞走行したあとに再度ナットを締めつけ、ゆるみがないことを確認してください。
- ●タイヤの空気圧を確認してください。運転席ドアを開けたボデー側に貼られている「タイヤ空気圧」の表を参照してください。
- ●タイヤを新品と交換するときは 105 ページを参照してください。

処　置

走行中、ハンドルや車体に振動が出た場合は、タイヤのバランスの点検をトヨタ販売店で受けてください。

オーバーヒートしたときは

注意

●ボンネットから蒸気がでているときは、蒸気がでなくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどをしたり、思わぬケガをするおそれがあり危険です。また、蒸気がでていない場合でも高温になっている部分があります。ボンネットを開けるときは十分注意してください。

●ラジエーターや補助タンクが熱いときはキャップをはずさないでください。蒸気や熱湯が吹き出してやけどをするおそれがあり危険です。キャップを開けるときは、ラジエーターや補助タンクが十分に冷えてから、布きれなどでキャップを包みゆっくりと開けてください。

●冷却水は、エンジンが熱いときにいれないでください。急に冷たい冷却水をいれると、エンジンが損傷するおそれがあります。冷却水は、エンジンが十分に冷えてからゆっくりといれてください。

処置

1 車を安全な場所に止めます。エアコンを使用しているときは、OFFにします。

2 ボンネットから蒸気がでていたらエンジンを止めます。蒸気がでていなければ、ボンネットを開けてそのままエンジンをかけておきます。

〈ボンネットから蒸気がでている場合のみ〉

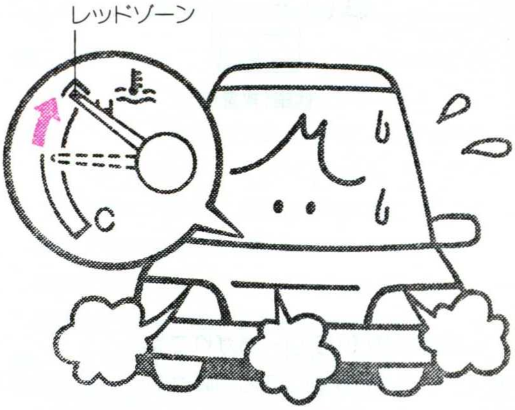
蒸気がでなくなったら、風通しをよくするためにボンネットを開けエンジンをかけます。

3 ラジエーター冷却用のファンが作動していることやファンベルト切れの有無を確認してください。万一、ファンが作動していないときやファンベルトが切れているときはただちにエンジンを止めてトヨタ販売店に連絡してください。

4 エンジンが十分に冷えてから、冷却水の有無、ラジエーターのコア部（放熱部）の著しいよごれ、ごみの付着の有無、ファンベルトのゆるみなどを点検します。

5 冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

6 早めに最寄りのトヨタ販売店で点検を受けてください。



こんな状態がオーバーヒートです。

●水温計の針がレッドゾーンにはいったら赤信号。

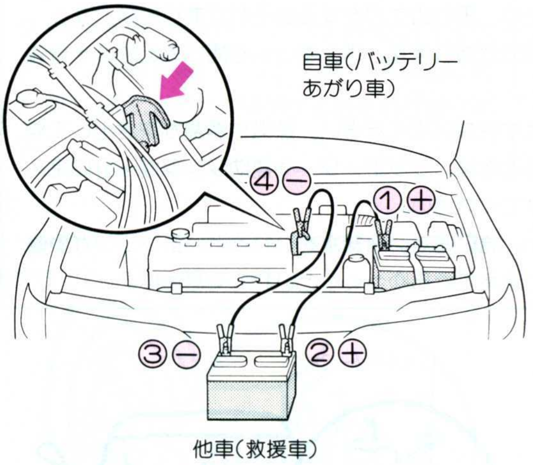
●ボンネットから蒸気が立ちのぼりエンジンの出力が低下。

オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量、地面に水漏れがないか日頃から点検を。

点検方法は「メンテナンスノート」をご覧ください。

バッテリーがあがったときは



こんな状態がバッテリーあがりです。

●スターターがまわっても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない。

●ヘッドランプがいつもより暗い。

●ホーンの音が小さい。または鳴らない。

バッテリーあがりを防ぐために

●エンジンを切ったままライトをつけたり、ラジオ、カセットを聞かない。

●エンジン回転中でも渋滞などで長時間止まっている場合は、ときどきエンジンの回転を上げてやる。

●バッテリー液量が減っていると充電能力が低下して、寿命が短くなります。ときどき点検して液の補充を。点検方法は「**メンテナンスノート**」をご覧ください。

押しがけによる始動はできません。

救援車を依頼しブースターケーブルでエンジンを始動しましょう。なお、救援車のバッテリーは12Vを使用してください。

1 ブースターケーブルを図の番号の順につなぎます。

注意

④の接続は自車バッテリーの⊖端子につながないでください。バッテリーに直接つなぐと、火花が発生しバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

2 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにし約5分間その回転を保持します。

アドバイス

救援車のバッテリーにより、自車(バッテリーあがり車)のバッテリーが充電されます。

3 自車のエンジンをかけます。

注意

バッテリーに近づかないでください。バッテリー液が吹き出すおそれがあり危険です。

4 ブースターケーブルをつないだときと逆の順にはずします。

注意

●ブースターケーブルを接続するとき、⊕と⊖端子を絶対に接触させないでください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

●火気をバッテリーに近づけないでください。爆発するおそれがあり危険です。

●ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

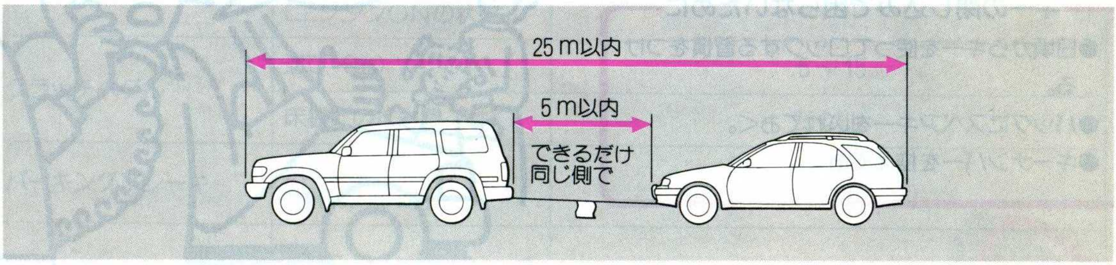
●応急処置をしても始動しない場合やバッテリーがあがりやすい場合はトヨタ販売店へご連絡ください。

けん引してもらうときは

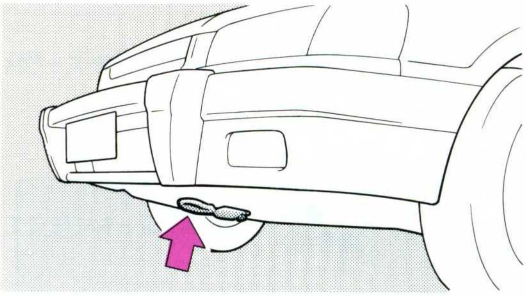
エンジンがまわっているのに車が動かなかったり、異常な音がする場合は、駆動系の故障が考えられますので けん引する前にまずトヨタ販売店へご連絡ください。

ロープによるけん引

1. ボデーに傷をつけないようにしてロープをフックにかけます。
けん引ロープには、0.3 メートル平方（0.3 m× 0.3 m）以上の白い布を必ずつけてください。



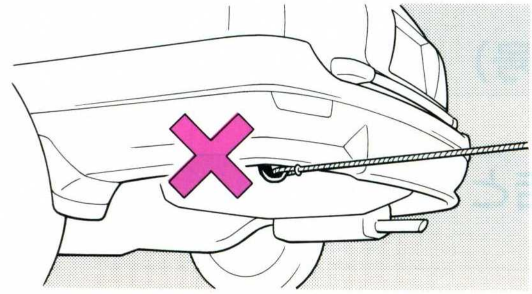
フロント側フックの位置



2. チェンジレバーをⓃにします。
3. エンジンスイッチをACCまたはONにします。
4. けん引ロープをたるませないように前の車の制動灯に注意してください。

リヤ側フックについて

このフックは船舶固縛などで車両を輸送するときに固定するためのものです。けん引には絶対使用しないでください。けん引用として使用すると車両を損傷するおそれがあります。この車で他車をけん引することはできません。



注　意

- ●ワイヤーロープは使用しないでください。バンパーに傷がつくおそれがあります。
- ●エンジンキーを抜いたり、エンジンスイッチをLOCK位置にしないでください。キーが抜けているとハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。また、エンジンスイッチがLOCK位置だとキーが抜けるおそれがあります。
- ●A／T車の場合、けん引速度は 30 km/h 以下、けん引距離は 80 km以内にしてください。 この速度、距離を超えるとトランスミッションに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。
- ●長坂路を下るときは、レッカー車でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。
- ●けん引される車は慎重に運転してください。エンジンがかかっていないとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなるため、通常と同じ感覚で運転すると事故につながるおそれがあります。

※ 4WD車のオートマチックトランスミッション車にお乗りのかたは 93 ページ、マニュアルトランスミッション車(デフロック式)にお乗りのかたは 95 ページ、マニュアルトランスミッション車(ビスカスカップリング式)にお乗りのかたは 98 ページもあわせてお読みください。

キーを閉じ込んでしまったときは

処置

- ●ＪＡＦを呼ぶ。
- ●キーナンバーをトヨタ販売店に知らせキーを作る。

キーの閉じ込みで困らないために

- ●日頃からキーを使ってロックする習慣をつける。
- ●バッグにスペアキーをいれておく。
- ●キーナンバーを控えておく。

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしましょう。

1. 続発事故防止
2. 負傷者の救護
3. 警察への届け出
4. 相手方の確認とメモ（氏名・住所・電話番号）
5. ご購入された販売店と保険会社への連絡

サービスデータ

項目			サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び（mm）〔負圧なしの状態〕		1〜6	
	床板とのすき間（mm） ［踏力 50 kg］ 〔エンジンONの状態〕		75 以上	
クラッチペダル	遊び（mm）		5〜15	
	床板とのすき間（mm）		25 以上	
パーキングブレーキ	引きしろ（ノッチ） ［操作力 20 kg］		4〜7	
ファンベルト	たわみ量（mm） ［約 10 kgの荷重］		11.5〜13.5	
パワーステアリングベルト	たわみ量（mm） ［約 10 kgの荷重］		6〜8	
エンジンオイル	容量（ℓ） 〈参考値〉	オイルのみ交換	4A−FE搭載車	2.8
			7A−FE搭載車	3.5
		オイルとフィルター交換	4A−FE搭載車	3.0
			7A−FE搭載車	3.7
冷却水	容量（ℓ） 〈参考値〉	4A−FE搭載車	M/T	5.4
			A/T	6.1
		7A−FE搭載車	M/T	5.6
			A/T	6.3

さくいん

ア

アジャスタブルショルダーベルトアンカー …… 44
アルミホイール 手入れ …… 101
取り扱い …… 129

イ

ECT−Sパターンセレクトスイッチ …… 62

ウ

ウォッシャー液 濃度 …… 104,113
補給 …… 104
ウォッシャースイッチ …… 54

エ

エアコンの使い方 …… 72,75
エンジンオイル …… 105,113
エンジンがかからないときは
(バッテリーがあがったときは) …… 132
エンジンスイッチ …… 58
エンジンフード(ボンネット) …… 34
エンスト …… 121
ABS …… 63
SRSエアバッグ …… 64

オ

オーディオ …… 77
上手な使い方 …… 77
アンテナ …… 77
オートエアコンの使い方 …… 69
オートマチックトランスミッション …… 16,60
オーバードライブ(O／D)スイッチ …… 61
オーバーヒート …… 131

カ

カップホルダー …… 85
ガラスが曇ったときは …… 56,69,74,76,111
寒冷地での取り扱い(冬のカーライフ) …… 113

キ

キー …… 26
キーを閉じ込んでしまったときは …… 134

ク

グローブボックス …… 85

ケ

警告灯 …… 48
けん引 …… 133

コ

工具 …… 123
故障したときは …… 120
小物入れ …… 86
コンソールボックス …… 86

サ

サービスデータ …… 135
サンバイザー …… 82

シ

シート …… 36
シートベルト …… 42
シガレットライター …… 84
事故がおきたときは …… 134
室内灯 …… 82
シフトロックシステム …… 21
ジャッキ …… 124

ス

スペアタイヤ …… 127
スポイラー …… 101
スポットライト …… 83

セ

洗車 …… 102

タ

タイヤ
新品と交換するときは …… 104
タイヤチェーン …… 116
タイヤローテーション(タイヤ位置交換) …… 104
パンクしたときは …… 128
タコメーター …… 46

チ

チルトステアリング …… 38
チャイルドプロテクター …… 27

テ
手入れ …… 99
電気式ドアロック …… 28
電球の交換 …… 108
電動リモコンミラー …… 40

ト
ドア …… 26
　チャイルドプロテクター …… 27
　電気式ドアロック …… 28
時計 …… 83
トノカバー …… 90
トリップメーター …… 46

ネ
熱線入りフロントウインドゥ
　シールドガラススイッチ …… 55
燃料 …… 8
　燃料計 …… 46
　燃料補給口・容量 …… 34

ハ
灰皿 …… 84
パーキングブレーキ …… 59
発炎筒 …… 120
バックドア …… 29
バッテリーあがり …… 132
パワーウインドゥ …… 31
パンク …… 128

ヒ
非常点滅灯スイッチ …… 56
ヒーターの使い方 …… 75
ヒューズの交換 …… 106
表示灯 …… 47

フ
フィールドモニター …… 87
フォグランプスイッチ …… 53
フューエルリッド …… 34
フルキャップ …… 128
フルタイム4WD …… 92
フロントシート …… 36
ブースターケーブル …… 132

ヘ
ヘッドランプ …… 52

ホ
方向指示レバー …… 53
ホーン …… 59
ボンネット …… 34

マ
マニュアルトランスミッション …… 60
万一のとき …… 119

ミ
ミラー …… 39,40

ム
ムーンルーフ …… 33

メ
メーター …… 45

ユ
油膜とり …… 102,111

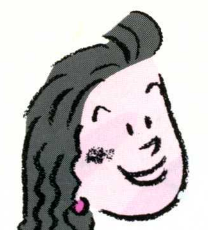
ラ
ライトスイッチ …… 52

リ
リヤウインドゥデフォッガー
　（曇り取り）スイッチ …… 56
リヤシート …… 38,90

ル
ルーフレール …… 8

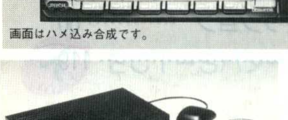
レ
冷却水 …… 113

ワ
ワイパー ＆ ウオッシャースイッチ …… 54
　ウオッシャー液の補給 …… 104
　寒冷地用ワイパーブレード …… 113,115
ワイヤレスドアロック …… 30
ワックス …… 101



トヨタ純正 オリジナルアクセサリーズ

画面はハメ込み合成です。



■トヨタボイスナビゲーションシステム★1
いつでも鮮明画像の低反射画面、引出し・収納にスムーズなモータードライブ機構を採用。音声は純正オーディオにダイレクトイン。オーディオの空きスペース取付タイプ。

■ボイスナビゲーション　■AVワンボディ★2
147,000円＋**164,000円**

システム合計価格 **311,000円**（全必要部品代）

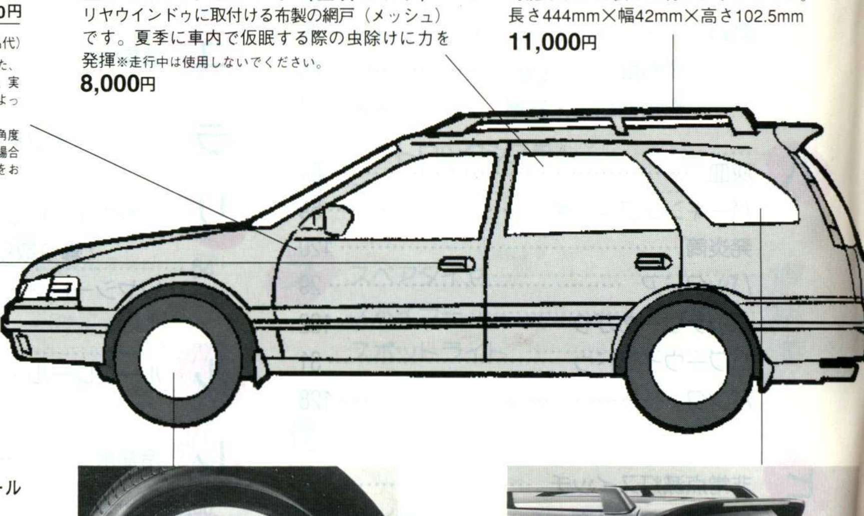
★1安全のため、運転者は走行中絶対に操作しないでください。また、道路の変更、一方通行その他の交通規制は表示されませんので、実際の交通規則を守ってください。ナビゲーション画面は機種によって、異なる場合があります。
★2テレビ放送は、安全のため、走行中運転者から画面が見える角度ではテレビ画面が消え、音声だけとなります。（1DINテレビの場合は、画面角度の調整により、助手席側では走行中もテレビ画像をお楽しみいただけます。）

■CDチェンジャー6
差し替えの手間をかけず、CDを次々にお楽しみいただけるCDチェンジャー。お買い得の6枚タイプ。
〈HDT-060〉**39,000円**

■メッシュウインドゥ（左右セット）
リヤウインドゥに取付ける布製の網戸（メッシュ）です。夏季に車内で仮眠する際の虫除けに力を発揮※走行中は使用しないでください。
8,000円

■マルチシステムラックRV（ベースラックセット）
オールアルミブラックアウト。許容積載荷重は60kg。豊富なアタッチメントが使えます。手締めノブは大型で扱いやすく、ビームの裏側にプレートが装着してあり走行中の静粛性も確保しています。長さ1100mm、ルーフレール上端より高さ58.5mm
16,000円

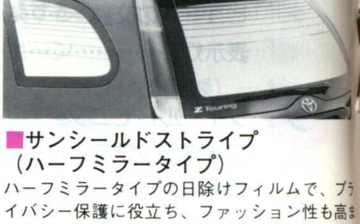
■スキー＆スノーボードラックアタッチメント
スキー3セットまたはスノーボード1セット積載可能なアルミ製キー付アタッチメント。
長さ444mm×幅42mm×高さ102.5mm
11,000円



（オモテ）　（ウラ）

■ワイヤレスドアロックリモートコントロール（ベーシックタイプ）
車の周囲2m以内の場所からキーを使わずドアのロック／アンロックが可能。スペア（送信機）は2個まで追加可能。
14,000円 0.5H

■アルミホイール(TOM'S) (14インチ)
スポーティな太身の5本スポークデザイン、画期的な軽量化と低価格を実現。センター部は特長あるクロームメッキのキャップを採用。
1本分　**28,000円** 0.9H
1台分　**112,000円** 2.2H



■サンシールドストライプ（ハーフミラータイプ）
ハーフミラータイプの日除けフィルムで、プライバシー保護に役立ち、ファッション性も高まります。貼りつけ性も考慮した二分割タイプ。リヤ＆クォーター左右セット。
14,000円 0.7H

（助手席はフリース部を装着した状態です。）

■フルシートカバー（RVタイプ）
フロント席センター部に脱着式フリース素材を採用し、冬は暖かく、夏はセンター部を取り外して爽快なメッシュ素材を採用した2Wayタイプ。（リヤ席はメッシュのみ）
25,000円 0.4H

●価格は特に注記のある場合を除き取付費を含まないメーカー希望小売価格（消費税抜き）です。
●▬内の数字は標準取付時間です。記載商品につきましては別途取付費が必要です。取付費の詳細は販売店にお問い合わせください。

快適なクォリティーカーライフを演出する
トヨタ純正
カーケア&オイル

カーケア

Wax A1 SERIES

用途にあわせてフルバリエーション。

①

②

③

④

CLEANER SERIES

⑤

⑥

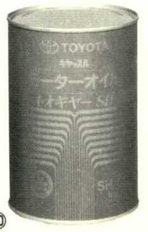
⑦

⑧

オイル

トヨタの技術が開発した
高性能高品質オイル

⑨



⑩

⑪

⑫

WAX A1 SERIES

A1ネオハードシャインコート……¥3,500
①A1ハードタフカルナバ…………¥2,400
A1ソフトタフホワイト…………¥2,000
A1ハードカルナバ………………¥2,200
A1ソフトホワイト………………¥1,800
A1ソフトメタリック&マイカ……¥1,800
A1ハードトラッド………………¥1,500
②A1コートロングライフ…………¥3,200
※③A1イージー(リキッド)オールラウンド ¥1,800
※④A1クリーナーワックス(リキッド)オールラウンド……¥1,500

※印はホワイト車用も別に用意しております。

ウィンドウォッシャー液

⑤強力油膜とり……¥600(500mℓ)¥1,000(1ℓ)

水アカクリーナー

⑥オールラウンド……………………¥1,300
スーパーホワイト……………………¥1,300

ガラスクリーナー

⑦ガラスコートセット………………¥1,600

多目的保護ツヤ出し剤

⑧ポリテクター(200mℓ)……………¥1,300

キャッスル・モーターオイル・ディーゼルオイル

⑨キャッスル・クリーンSH
(ガソリン車用)……………………1ℓ ¥730
⑩キャッスル・ネオギヤーSH
(ガソリン車用)……………………1ℓ ¥750
⑪キャッスル・クリーンSG
(ガソリン車用)……………………1ℓ ¥700
⑫キャッスル・ディーゼルオイルニュースペシャルII
(ディーゼル車用)…………………1ℓ ¥550

トヨタ車にはトヨタ純正オイルをご使用ください。

※上記のほかにトヨタでは数々のトヨタ純正品をとり揃えより快適なカーライフをお届けしています。詳しくはお近くのトヨタの販売店におたずねください。
※価格は1995年8月現在のものであり、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
※オイルの価格には交換手数料は含まれておりません。
※取扱書に記載してあるメーカー希望小売価格は消費税抜きの価格です。
※消費税は別途申し受けます。

スプリンター カリブ　ス-5

シートベルトを締めましょう

森林資源保護のため再生紙を使用いたしました。

お問い合わせ、ご相談は
右記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター
全国共通・フリーダイヤル 0120-462000
所在地　〒461 名古屋市東区泉一丁目23の22

トヨタ自動車株式会社

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

●印刷　NA－1995年11月29日　●発行－1995年8月28日　初版
1995年12月6日　3版

M13008
01999—13008